

Lenovo

Microsoft Windows Admin Center 対応 Lenovo XClarity Integrator

インストールおよびユーザー・ガイド



バージョン 4.6

注:

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、[79 ページの付録 A「特記事項」](#)に記載されている情報をお読みください。

第 20 版 (2024 年 1 月)

© Copyright Lenovo 2018, 2024.

Portions © Copyright IBM Corporation 1999, 2023

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが米国一般調達局 (GSA: General Services Administration) 契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。

目次

目次	i	すべての管理対象サーバーの保証情報の表示	19
本書について	iii	単一のサーバーのサービス・データの収集	19
規則および用語	iii	すべてのサーバーのサービス・データの収集	20
Web リソース	iv	サーバーの削除	20
第 1 章 . 概要	1	サーバーの管理	21
システム要件	1	「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」 ページへのログイン	21
第 2 章 . Lenovo XClarity Integrator のインストール	5	サーバーの全体情報の表示	22
Lenovo XClarity Integrator のインストール	5	サーバーのインベントリーの同期	22
Windows Admin Center Feed からの Lenovo XClarity Integrator のインストール	5	サーバーのファームウェア更新	22
ローカル共有フォルダーからの Lenovo XClarity Integrator のインストール	6	複数のサーバーのファームウェア更新	24
ローカル・ファイル・システム・フォルダーからの Lenovo XClarity Integrator のインストール	6	永続的なジョブの表示	27
Lenovo XClarity Integrator の更新	7	「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」 ページでのリモート制御の起動	27
Lenovo XClarity Integrator のアンインストール	7	1 つ以上のサーバーの電源オン、電源オフ、およびサーバーの再起動	27
Lenovo XClarity Integrator の設定の更新	8	サーバーの管理コントローラー・インターフェースの起動	28
更新の確認およびインストール	8	インベントリーの管理	28
Lenovo Web サイトからの最新の更新の確認とインストール	8	アラートの管理	29
ローカル更新のインストール	9	イベント・ログの管理	29
変更履歴の確認	9	監査ログの管理	30
第 3 章 . Lenovo XClarity Integrator の構成	11	電力消費量および温度の表示	30
使用データの収集	11	Feature on Demand キーの表示	31
HTTP プロキシ設定の構成	11	サーバーのサービス・データの管理	31
ログ設定の構成	11	第 5 章 . Server Manager を使用したサーバーの管理	33
ネイティブ OS 管理の構成	12	Server Manager での Lenovo XClarity Integrator への接続	33
資格情報の管理	13	Lenovo XClarity Administrator を使用したサーバーの管理	33
システムの言語/地域の構成	13	Lenovo XClarity Administrator を使用しないサーバーの管理	34
第 4 章 . Lenovo XClarity Integrator を使用したサーバーとシャーシの管理	15	管理対象サーバーの詳細の表示	35
Lenovo XClarity Administrator への接続	15	サーバーのファームウェア/ドライバーの更新	35
新規または既存の Lenovo XClarity Administrator への接続	15	システム更新リポジトリの管理	39
Lenovo XClarity Administrator の削除	16	第 6 章 . Cluster Manager を使用したサーバーの管理	41
Lenovo ラック・サーバーまたはタワー・サーバーの追加	16	Cluster Manager での Lenovo XClarity Integrator への接続	41
Lenovo シャーシの追加	17	Lenovo XClarity Administrator を使用したクラスター・ノードの管理	41
1 つ以上のサーバーの電源オン、電源オフ、および再起動	17	Lenovo XClarity Administrator を使用しないクラスター・ノードの管理	43
リモート制御の起動	18	Disk Manager のクラスター・ノードによって使用されるドライブの管理	43

「Disk Manager (ディスク・マネージャー) ページへのログイン	44
クラスタのプール、ドライブ、およびサーバーの全体情報の表示	44
サーバーのロケーション LED のオン/オフ	45
ドライブのロケーション LED のオン/オフ	45
ストレージ・プールのドライブの交換	46
サーバーからのドライブの取り外し	46
ストレージ・プールへのドライブの追加	47
Lenovo Cluster Dashboard の操作	48
クラスタ・ノードの管理	48
アラートの管理	48
ファームウェアの整合性の管理	49
クラスタの電力消費量の管理	49
システム温度の管理	49
パワー・サプライの管理	49
ファンの管理	50
クラスタ・ノードのファームウェア/ドライバの更新	50
Azure Stack HCI クラスタを作成する場合のファームウェア/ドライバの更新	54
「Install hardware updates (ハードウェア更新のインストール) ページへのログイン	54
Lenovo XClarity Administrator を使用した Azure Stack HCI クラスタ・ノードの管理	55
Lenovo XClarity Administrator を使用しない Azure Stack HCI クラスタ・ノードの管理	56
Azure Stack HCI クラスタ・ノードのファームウェア/ドライバの更新	56
Cluster Manager でのクラスタ対応更新ツールを使用したファームウェア/ドライバの更新	60

「Hardware updates (ハードウェア更新) ページへのログイン	60
クラスタ対応更新ツールを使用したクラスタ・ノード用ファームウェア/ドライバの更新	61
システム更新リポジトリの管理	63
プロセッサ・コアの管理	63

第 7 章 . Lenovo サーバーのファームウェア/ドライバの更新 67

第 8 章 . システム更新リポジトリの管理 69

「System Updates Repository (システム更新リポジトリ)」を開く	69
システム更新のダウンロード	69
システム更新のバックアップ	70
システム更新の復元	70
システム更新の削除	71
システム更新のフィルタリング	71

第 9 章 . Lenovo への問題の報告 73

コール・ホーム連絡先の管理	73
問題の報告	73
サービス・チケットの管理	75
問題の自動報告の設定	76

付録 A. 特記事項 79

商標	80
重要事項	80

本書について

本書では、Microsoft® Windows Admin Center 対応 Lenovo® XClarity Integrator (これ以降 WAC 対応 LXCI と呼びます) のインストール方法、およびユーザーの環境で統合機能を使用してサーバーを管理する方法について説明します。

規則および用語

太字の「注」で始まっているパラグラフは、重要な情報を強調する固有の意味を持つ注意書きです。

注：これらの特記事項は重要なヒント、ガイダンス、またはアドバイスを提供します。

本書で使用されている用語および頭字語のいくつかについて、下の表で説明します。

用語	頭字語	定義
ベースボード管理コントローラー	BMC	センサーの使用およびシステム管理者との通信によって、コンピュータ、ネットワーク・サーバー、またはその他のハードウェア・デバイスの物理的な状況を監視する、特殊なサービス・プロセッサ。BMC は、Intelligent Platform Management Interface (IPMI) の一部であり、モニター対象のデバイスのシステム・ボードまたは主回路ボードに含まれています。
Chassis Management Module	CMM	Flex シャーシ内のコンポーネントの構成と管理に使用されるサービス・プロセッサ。
計算ノード	/	Flex シャーシでサポートされる独立したサーバー。計算ノードには、1つ以上のマイクロプロセッサ、メモリー、ストレージ、およびネットワーク・コントローラーが含まれています。このサーバーには、独自のオペレーティング・システムとアプリケーションが搭載されています。
Features on Demand	FoD	ハードウェアのインストールや、他のデバイスへの接続を必要とせず機能をアクティブ化するツール。
ホスト・バス・アダプター	HBA	コンピュータを他のネットワークおよびストレージ・デバイスに接続するホスト・システム。
Integrated Management Module	IMM	Lenovo が開発したカスタム BMC。IMM はサービス・プロセッサ機能、Super I/O、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能をサーバー・システム・ボードの単一のチップに統合します。
Lenovo XClarity Administrator	LXCA	Lenovo サーバーまたはネットワーク製品を監視および管理するためのアプライアンスとしてパッケージ化された、ハードウェア管理ツール。
Lenovo XClarity Integrator	LXCI	IT 管理者が Lenovo サーバーの管理機能を Microsoft Admin Center に統合して使用できるようにするツール・スイート。
Unified Extensible Firmware Interface	UEFI	オペレーティング・システムとプラットフォーム・ファームウェア間のブート時のインターフェースに関する詳細仕様。プロセッサ・アーキテクチャーによって異なります。

用語	頭字語	定義
Windows Admin Center	WAC	Windows Server インボックス管理ツールの進化版。WAC は、ローカルおよびリモート・サーバー管理のすべての側面を統合した単一のペインです。
XClarity Controller	XCC	Lenovo が開発した次世代カスタム BMC。XCC は、IMM の現在の機能を拡張し、さらに多くの機能を提供します。たとえば、HTML、拡張リモート・プレゼンス機能、REST API (Redfish スキーマ) などがその例です。

Web リソース

以下の Web サイトには、Lenovo XClarity Integrator、Lenovo XClarity Administrator、Flex System サーバー、および System x サーバーの理解、使用、およびトラブルシューティングに役立つリソースが提供されています。

Windows Admin Center 対応 Lenovo XClarity Integrator

この Web サイトでは、Windows Admin Center 対応 Lenovo XClarity Integrator に関する最新情報を提供しています。

- [Lenovo XClarity Integrator for Windows Admin Center Web site](#) (Windows Admin Center 対応 Lenovo XClarity Integrator Web サイト)

Lenovo XClarity Solutions でのシステム管理

この Web サイトでは、Lenovo XClarity ソリューションの概要について説明します。このソリューションは、System x および Flex System ハードウェアを統合し、システム管理機能を提供します。

- [Lenovo XClarity Solution を使用したシステム管理についての Web サイト](#)

Lenovo テクニカル・サポート・ポータル

この Web サイトは、ハードウェアおよびソフトウェアのサポートを見つけるのに役立ちます。

- [Lenovo Support Portal Web site](#) (Lenovo サポート・ポータル Web サイト)

Lenovo ServerProven ページ

以下の Web サイトは、ユーザーがハードウェア互換性に関する情報を取得するのに役立ちます。

- [Lenovo ServerProven: ハードウェア、アプリケーション、およびミドルウェアの互換性](#)

Microsoft Windows Admin Center Web サイト

この Web サイトには、Microsoft Windows Admin Center (WAC) に関する詳細情報が提供されています。

- [Microsoft Windows Admin Center Web サイト](#)

ThinkAgile MX Certified Node Best Recipe (ThinkAgile MX 認定ノードの最良レシピ)

この Web サイトは、ThinkAgile MX 認定ノードの Best Recipe (最良レシピ) を提供しています。

- [ThinkAgile MX Certified Node Best Recipe](#) (ThinkAgile MX 認定ノードの最良レシピ)

第 1 章 概要

Microsoft Windows Admin Center 対応 Lenovo XClarity Integrator (WAC 対応 LXCI) は、Lenovo サーバーとそのコンポーネントを管理、監視、および更新する機能を Windows OS またはソフトウェア・アプリケーション管理システムと統合するプラグインです。Lenovo サーバー・ハードウェアとファームウェアのインベントリ、イベント、アラート、正常性ステータスの表示、ファームウェア/ドライバの更新、Windows クラスタ・ノード用のファームウェア/ドライバのクラスタ対応ローリング更新、Lenovo ThinkAgile MX サーバー・トポロジー・ビューの表示、ウィザードでのストレージ・プール操作の実行がサポートされています。Lenovo XClarity Administrator (LXCA) (オプション) を使用すると、特に大規模なデプロイメントでの Lenovo サーバー管理ジョブが簡素化されます。

システム要件

このトピックでは、Lenovo XClarity Integrator のシステム要件をリスト表示します。

ユーザーの環境の準備

Lenovo XClarity Integrator は Windows Admin Center の拡張機能です。Windows Admin Center と同じ環境で動作します。詳しくは、[Windows Admin Center](#) および [Windows Admin Center のインストール](#) を参照してください。

サポートされるソフトウェア

ソフトウェアの種類	ソフトウェアのバージョン
Windows Admin Center	2110, 2110.2, 2211, 2306, 2311
Lenovo XClarity Administrator	3.0.0、3.1.0、3.1.1、3.2.0、3.3.0、3.4.0、3.5.0、3.6.0、4.0.x

サポートされているオペレーティング・システム

サーバー・タイプ	Windows バージョン	Windows Server バージョン	Azure Stack HCI バージョン
管理サーバー (LXCI をインストール済み)	10, 11	2016, 2019, 2022	/
管理対象サーバー (LXCI によって管理)	/	2016, 2019, 2022	20H2、21H2、22H2、23H2

サポートされる Web ブラウザー

Web ブラウザーの種類	Web ブラウザーのバージョン
Google Chrome	93.0.4577.82 以降のバージョン
Microsoft Edge	93.0.961.52 以降のバージョン

注：WAC 対応 LXCI は、ブラウザーのローカル・データベースにいくつかの設定を保存します。保存した設定が失われるのを防ぐために、Cookie およびサイト・データを消去できません。

ポートの要件

ご使用の環境のファイアウォールに応じて、いくつかのポートを使用できます。これらのポートがブロックされているか、別のプロセスによって使用されている場合は、一部の Lenovo XClarity Integrator の機能が動作しないことがあります。

- Windows Admin Center で初期化されたすべてのアウトバウンド接続が許可されます。
- Lenovo XClarity Integrator では、Windows Admin Center によって必要とされる接続以外に追加のインバウンド接続は必要ありません。

サポートされるハードウェア

サポートされるハードウェアは、以下の表にリストされています。

注：一部の機能は、特定のサーバー・モデルでのみサポートされています。「[特定のサーバー・モデルでサポートされる機能](#)」を参照してください。

表 1. サポートされるハードウェア

システム	サーバー・モデル	
Lenovo ThinkSystem	<ul style="list-style-type: none"> • SD530 (7X20, 7X21, 7X22) • SD630 V2 (7D1K) • SD650 (7X58) • SD650 V2 (7D1M) • SD650-N V2 (7D1N) • SE350 (7Z46, 7D1X, 7D27, 7D1R) • SN550 (7X16) • SN550 V2 (7Z69) • SN850 (7X15) • SR150 (7Y54) (中国のみ) • SR158 (7Y55) • SR250 (7Y51, 7Y52) (インドを除く全世界) • SR250 (7Y72, 7Y73) (インドのみ) • SR250 V2 (7D7Q, 7D7R, 7D7S) • SR258 (7Y53) • SR530 (7X07, 7X08) • SR550 (7X03, 7X04) • SR570 (7Y02, 7Y03) • SR590 (7X98, 7X99) • SR630 (7X01, 7X02) • SR630 V2 (7Z70, 7Z71) • SR630 V3 (7D72, 7D73, 7D74) • SR635 (7Y98, 7Y99) • SR635 V3 (7D9H, 7D9G) • SR645 (7D2X, 7D2Y) • SR645 V3 (7D9C, 7D9D) 	<ul style="list-style-type: none"> • SR650 (7X05, 7X06) • SR650 V2 (7Z72, 7Z73) • SR650 V3 (7D75, 7D76, 7D77) • SR655 (7Y00, 7Z01) • SR655 V3 (7D9E, 7D9F) • SR665 (7D2V, 7D2W) • SR665 V3 (7D9A, 7D9B) • SR670 (7Y36, 7Y37, 7Y38) • SR670 V2 (7Z22, 7Z23) • SR850 (7X18, 7X19) • SR850 V2 (7D31, 7D32, 7D33) • SR850 V3 (7D96, 7D97, 7D98) • SR850P (7D2F, 7D2G, 7D2H) • SR860 (7X69, 7X70) • SR860 V2 (7Z59, 7Z60, 7D42) • SR860 V3 (7D93, 7D94, 7D95) • SR950 (7X11, 7X12, 7X13) • ST250 (7Y45, 7Y46) • ST250 V2 (7D8F, 7D8G, 7D8H) • ST258 (7Y47) • ST550 (7X09, 7X10) • ST558 (7Y15, 7Y16) (中国のみ) • ST650 V2/ST658 V2 (中国のみ) (7Z74, 7Z75, 7Z76) • ST650 V3 (7D7A, 7D7B, 7D7C)
Lenovo ThinkAgile	<ul style="list-style-type: none"> • MX シリーズ・アプライアンス・サーバー (7D19, 7D1B, 7D2U, 7D5R, 7D5S, 7D5T, 7D6U, 7D6S, 7D66, 7D67, 7D6B, 7Z20) 	<ul style="list-style-type: none"> • SXM シリーズ・アプライアンス・サーバー (9565, 7Y34)
Lenovo ThinkServer	<ul style="list-style-type: none"> • nx360 M5 (5465) 	<ul style="list-style-type: none"> • sd350 M5 (5493)
Lenovo ThinkEdge	<ul style="list-style-type: none"> • SE450 (7D8T) 	<ul style="list-style-type: none"> • SE455 V3 (7DBY)
Lenovo Flex System	<ul style="list-style-type: none"> • x240 計算ノード (7162, 2588) • x240 M5 計算ノード (2591, 9532) 	<ul style="list-style-type: none"> • x440 計算ノード (7167, 2590) • x280, x480, x880 X6 計算ノード (7196, 4258)
Lenovo System x	<ul style="list-style-type: none"> • x3250 M6 (3633, 3943) • x3500 M5 (5464) • x3550 M5 (5463, 8869) • x3630 M4 (8103) 	<ul style="list-style-type: none"> • x3650 M5 (8871, 5462) • x3750 M4 (8753) • x3850 X6 (6241) • x3950 X6 (6241)

特定のサーバー・モデルでサポートされる機能

次の表は、特定のサーバー・モデルでのみサポートされる機能をリストしています。

表 2. 特定のサーバー・モデルでサポートされる機能

機能	この機能をサポートするサーバー・モデル	
ストレージ・ス ペース・ ダイレク ト (Azure Stack HCI) クラス ター・ ディスク 管理	<ul style="list-style-type: none"> SR650 (7D5R) の ThinkAgile MX3520 アプライアンス SR650 (7Z20) の ThinkAgile MX 認定ノード ThinkSystem SR650 (7X05、7X06) 	<ul style="list-style-type: none"> ThinkSystem SR650 V2 (7Z72、7Z73) ThinkSystem SR650 V3 (7D75、7D76、7D77)
最良レシ ピのある システム 更新	<ul style="list-style-type: none"> SE350 (7D5S、7D5T) の ThinkAgile MX1020 アプライアンス SE350 (7D1B、7D2U) の ThinkAgile MX1021 認定ノード SR630 V2 (7D19) の ThinkAgile MX3330 アプライアンス SR630 V2 (7D67) の ThinkAgile MX3331 認定ノード SR650 V2 (7D6B) の ThinkAgile MX3530 アプライアンス 	<ul style="list-style-type: none"> SR650 V2 (7D66) の ThinkAgile MX3531 認定ノード SR650 (7D5R) の ThinkAgile MX3520 アプライアンス SR650 (7Z20) の ThinkAgile MX 認定ノード ThinkAgile MX630 V3 (7D6U) ThinkAgile MX650 V3 (7D6S)
Azure Stack HCI クラ スターの デプロイ メント ^{注1}	<ul style="list-style-type: none"> SE350 (7D5S、7D5T) の ThinkAgile MX1020 アプライアンス SE350 (7D1B、7D2U) の ThinkAgile MX1021 認定ノード SR630 V2 (7D19) の ThinkAgile MX3330 アプライアンス SR630 V2 (7D67) の ThinkAgile MX3331 認定ノード SR650 (7D5R) の ThinkAgile MX3520 アプライアンス SR650 V2 (7D6B) の ThinkAgile MX3530 アプライアンス SR650 V2 (7D66) の ThinkAgile MX3531 認定ノード 	<ul style="list-style-type: none"> SR650 (7Z20) の ThinkAgile MX 認定ノード ThinkAgile MX630 V3 (7D6U) ThinkAgile MX650 V3 (7D6S) ThinkSystem SE350 (7Z46、7D1X、7D27、7D1R) ThinkSystem SR630 V2 (7Z70、7Z71) ThinkSystem SR650 (7X05、7X06) ThinkSystem SR650 V2 (7Z72、7Z73) ThinkSystem SR650 V3 (7D75、7D76、7D77)
Cluster-Aware Updating (CAU) ^{注1}	<ul style="list-style-type: none"> SE350 (7D5S、7D5T) の ThinkAgile MX1020 アプライアンス SE350 (7D1B、7D2U) の ThinkAgile MX1021 認定ノード SR630 V2 (7D19) の ThinkAgile MX3330 アプライアンス SR630 V2 (7D67) の ThinkAgile MX3331 認定ノード SR650 (7D5R) の ThinkAgile MX3520 アプライアンス SR650 V2 (7D6B) の ThinkAgile MX3530 アプライアンス 	<ul style="list-style-type: none"> SR650 V2 (7D66) の ThinkAgile MX3531 認定ノード SR650 (7Z20) の ThinkAgile MX 認定ノード ThinkSystem SE350 (7Z46、7D1X、7D27、7D1R) ThinkSystem SR630 V2 (7Z70、7Z71) ThinkSystem SR650 (7X05、7X06) ThinkSystem SR650 V2 (7Z72、7Z73) ThinkSystem SR650 V3 (7D75、7D76、7D77)
ネイティ ブ OS 管理 ^{注2 および3}	ThinkServer または ThinkSystem SR635 (7Y98、7Y99)/SR655 (7Y00、7Z01) サーバー以外のすべてのサーバー。	
注：		

表 2. 特定のサーバー・モデルでサポートされる機能 (続き)

1. この機能をサポートするには、Microsoft Azure Stack HCI オペレーティング・システムを使用する必要があります。
2. この機能をサポートするには、IPMI over KCS アクセス、Ethernet Over USB、および REST/CIM Over HTTPS が有効になっている必要があります。
3. デフォルトでは、ネイティブ OS 管理は Storage Spaces Direct が有効になっているサーバーに対して、無効になっています。ユーザーは、[12 ページの「ネイティブ OS 管理の構成」](#)を参照して有効にできます。

第 2 章 Lenovo XClarity Integrator のインストール

この章では、Lenovo XClarity Integrator をインストール、更新およびアンインストールする方法について説明します。

Lenovo XClarity Integrator のインストール

このセクションでは、Lenovo XClarity Integrator をインストールする方法について説明します。

Lenovo XClarity Integrator を拡張機能としてインストールできます。以下のインストール方法から、いずれかを選択します。

- Windows Admin Center Feed から Lenovo XClarity Integrator をインストールする。5 ページの「[Windows Admin Center Feed からの Lenovo XClarity Integrator のインストール](#)」を参照してください。
- ローカル共有フォルダーから Lenovo XClarity Integrator をインストールする。6 ページの「[ローカル共有フォルダーからの Lenovo XClarity Integrator のインストール](#)」を参照してください。
- ローカル・ファイル・システム・フォルダーから Lenovo XClarity Integrator をインストールします。6 ページの「[ローカル・ファイル・システム・フォルダーからの Lenovo XClarity Integrator のインストール](#)」を参照してください。


Windows Admin Center Feed からの Lenovo XClarity Integrator のインストール

このセクションでは、Windows Admin Center Feed から Lenovo XClarity Integrator をインストールする方法について説明します。

注：詳しくは、[拡張機能のインストールと管理](#) を参照してください。

手順

ステップ 1. Windows Admin Center にログインします。

ステップ 2. 右上隅の「設定」アイコン  をクリックします。
「Settings (設定)」ページが表示されます。

ステップ 3. 「Settings (設定)」ページの左側のナビゲーション・ペインで「**Extensions (拡張機能)**」をクリックします。
「**Extensions (拡張機能)**」ペインが表示されます。

ステップ 4. 「**Extensions (拡張機能)**」ペインで、以下の操作を行います。

- a. 「**Feeds (フィード)**」タブをクリックします。
- b. 「**Feeds (フィード)**」タブで、「**Add (追加)**」をクリックします。右側に「**Add package source (パッケージ・ソースの追加)**」ペインが表示されます。
- c. 「**Add package source (パッケージ・ソースの追加)**」ペインで、<https://aka.ms/sme-extension-feed> と入力し、「**Add (追加)**」をクリックします。

注：この Web サイトが「**Package feeds (パッケージ配信)**」領域にある場合は、この Web サイトを選択します。

ステップ 5. 「**Extensions (拡張機能)**」ペインに戻り、以下の操作を行います。


- a. 「**Available extensions (使用可能な拡張機能)**」タブをクリックします。
- b. 「**Available extensions (使用可能な拡張機能)**」タブで、リストから「**Lenovo XClarity Integrator**」を選択します。ライセンス情報が表示されます。
- c. ライセンス情報を読みます。ユーザーがライセンス情報に同意する場合は、「**Install (インストール)**」をクリックします。

- d. 「この拡張機能をインストールしますか?」ウィンドウが表示されたら、**Confirm (確認)** をクリックして続行します。通知により Lenovo XClarity Integrator がインストールされたことを示すプロンプトが表示されたら、Lenovo XClarity Integrator を使用できます。

ローカル共有フォルダーからの Lenovo XClarity Integrator のインストール

このセクションでは、ローカル共有フォルダーから Lenovo XClarity Integrator をインストールする方法について説明します。


手順

- ステップ 1. windows-admin-center-feed サイト、または Lenovo WAC の「ホーム」ページでインストール・パッケージ (lnvgy_sw_xclarity_integrator_for_wac.*.nupkg) をダウンロードします。
- ステップ 2. インストール・パッケージを共有フォルダーに入れます。たとえば、//localhost/sharedFolder などです。
- ステップ 3. Windows Admin Center にログインします。
- ステップ 4. 右上隅の「設定」アイコン  をクリックします。
「Settings (設定)」ページが表示されます。
- ステップ 5. 「Settings (設定)」ページの左側のナビゲーション・ペインで「**Extensions (拡張機能)**」をクリックします。
- ステップ 6. 「**Extensions (拡張機能)**」ペインで、以下の操作を行います。
 - a. 「**Feeds (フィード)**」タブをクリックし、「**Add (追加)**」をクリックします。
 - b. 共有フォルダーのパスを入力し、**Add (追加)** をクリックします。
- ステップ 7. 「**Extensions (拡張機能)**」ペインに戻り、以下の操作を行います。
 - a. 「**Available extensions (使用可能な拡張機能)**」タブをクリックします。
 - b. 「**Available extensions (使用可能な拡張機能)**」タブで、リストから「**Lenovo XClarity Integrator**」を選択します。ライセンス情報が表示されます。
 - c. ライセンス情報を読みます。ライセンス情報に同意するには、**Install (インストール)** をクリックします。
 - d. 「この拡張機能をインストールしますか?」ウィンドウが表示されたら、**Confirm (確認)** をクリックして続行します。通知により Lenovo XClarity Integrator がインストールされたことを示すプロンプトが表示されたら、Lenovo XClarity Integrator を使用できます。

ローカル・ファイル・システム・フォルダーからの Lenovo XClarity Integrator のインストール

このセクションでは、ローカル・ファイル・システム・フォルダーから Lenovo XClarity Integrator をインストールする方法について説明します。

手順

- ステップ 1. windows-admin-center-feed サイト、または Lenovo WAC の「ホーム」ページでインストール・パッケージ (lnvgy_sw_xclarity_integrator_for_wac.*.nupkg) をダウンロードします。
- ステップ 2. インストール・パッケージをローカル・ファイル・システム・フォルダーに置きます。
例: c:\lenovo\。
- ステップ 3. Windows Admin Center にログインします。
- ステップ 4. 右上隅の「設定」アイコン  をクリックします。
「Settings (設定)」ページが表示されます。
- ステップ 5. 「Settings (設定)」ページの左側のナビゲーション・ペインで「**Extensions (拡張機能)**」をクリックします。

ステップ 6. 「**Extensions (拡張機能)**」 ペインで、以下の操作を行います。

- a. 「**Feeds (フィード)**」 タブをクリックし、「**Add (追加)**」をクリックします
- b. 共有フォルダーのパスを入力し、「**Add (追加)**」をクリックします。

ステップ 7. 「**Extensions (拡張機能)**」 ペインに戻り、以下の操作を行います。


- a. 「**Available extensions (使用可能な拡張機能)**」 タブをクリックします。
- b. 「**Available extensions (使用可能な拡張機能)**」 タブで、リストから「**Lenovo XClarity Integrator**」を選択します。ライセンス情報が表示されます。
- c. ライセンス情報を読みます。ライセンス情報に同意するには、「**Install (インストール)**」をクリックします。
- d. 「この拡張機能をインストールしますか?」ウィンドウが表示されたら、**Confirm (確認)** をクリックして続行します。通知により Lenovo XClarity Integrator がインストールされたことを示すプロンプトが表示されたら、Lenovo XClarity Integrator を使用できます。

Lenovo XClarity Integrator の更新

このセクションでは、Lenovo XClarity Integrator を更新する方法について説明します。

手順

ステップ 1. Windows Admin Center にログインします。

ステップ 2. 右上隅の「設定」アイコン  をクリックします。
「Settings (設定)」ページが表示されます。

ステップ 3. 「Settings (設定)」ページの左側のナビゲーション・ペインで「**Extensions (拡張機能)**」をクリックします。
「**Extensions (拡張機能)**」ペインが表示されます。

ステップ 4. 「**Extensions (拡張機能)**」ペインで、以下の操作を行います。


- a. 「**Installed extensions (インストール済み拡張機能)**」タブをクリックします。
- b. 「**Installed extensions (インストール済み拡張機能)**」タブで、ステータスが「**アップデート可能 (バージョン)**」の Lenovo XClarity Integrator を選択します。
- c. 「**Update (更新)**」をクリックします。
- d. 「この拡張機能から更新しますか?」ウィンドウが表示されたら、「**Confirm (確認)**」をクリックして続行します。

Lenovo XClarity Integrator のアンインストール

このセクションでは、Lenovo XClarity Integrator をアンインストールする方法について説明します。

手順

ステップ 1. Windows Admin Center にログインします。

ステップ 2. 右上隅の「設定」アイコン  をクリックします。
「Settings (設定)」ページが表示されます。

ステップ 3. 「Settings (設定)」ページの左側のナビゲーション・ペインで「**Extensions (拡張機能)**」をクリックします。
「**Extensions (拡張機能)**」ペインが表示されます。

ステップ 4. 「**Extensions (拡張機能)**」ペインで、以下の操作を行います。


- a. 「**Installed extensions (インストール済み拡張機能)**」タブをクリックします。

- b. 「**Installed extensions** (インストール済み拡張機能)」タブで、リストから「**Lenovo XClarity Integrator**」を選択します。
- c. 「**Uninstall** (アンインストール)」をクリックします。
- d. 「この拡張機能をアンインストールしますか？」ウィンドウが表示された場合は、「**Confirm** (確認)」をクリックします。

Lenovo XClarity Integrator の設定の更新

このセクションでは、サポートされている LXCA バージョンおよびサポートされている Lenovo サーバーに関する情報を含む、Lenovo XClarity Integrator 設定の更新方法について説明します。

手順

- ステップ 1. Lenovo のいずれかの拡張機能で、右上隅の「詳細」アイコン  をクリックします。
メニューが表示されます。
- ステップ 2. メニューで、「**Settings** (設定)」をクリックします。
- ステップ 3. 「**Update** (更新)」ページで、「**Check Updates** (更新の確認)」をクリックしてオンラインで確認するか、「**here** (ここ)」リンクをクリックして更新ファイルを手動でダウンロードおよびインポートします。
- ステップ 4. 設定が更新されたら、「**Close** (閉じる)」をクリックします。

更新の確認およびインストール

このセクションでは、更新を検査およびインストールする方法について説明します。

ユーザーは、この機能を使用して、Lenovo Web サイトから使用可能なコンポーネント更新を確認してダウンロードし、その更新をインストールできます。これらの更新は、Lenovo XClarity Integrator の機能や、バグ修正機能の改善のために使用されます。たとえば、Lenovo XClarity Administrator 互換性構成ファイルを更新して Lenovo XClarity Administrator のより新しいバージョンをサポートできます。


以下のインストール方法から、いずれかを選択します。

- [8 ページの「Lenovo Web サイトからの最新の更新の確認とインストール」](#)
- [9 ページの「ローカル更新のインストール」](#)
- [9 ページの「変更履歴の確認」](#)

注：WAC は、Lenovo 拡張機能の入力後に更新が使用可能かどうか自動的に確認します。

Lenovo Web サイトからの最新の更新の確認とインストール

手順


- ステップ 1. Lenovo のいずれかの拡張機能で、右上隅の「詳細」アイコン  をクリックします。
メニューが表示されます。
- ステップ 2. メニューで、「**Settings** (設定)」 → 「**Update** (更新)」をクリックします。
- ステップ 3. 「**Update** (更新)」ページで、以下の 1 つ以上の操作を行うことができます。
 - 「**Check update automatically** (更新の自動確認)」または「**Install update automatically** (更新の自動インストール)」を有効または無効にします。

注：デフォルトでは、「**Check update automatically** (更新の自動確認)」が無効になっている場合、「**Install update automatically** (更新の自動インストール)」は無効になり、非表示になります。

- 「**Check Updates** (更新の確認)」をクリックして最新の更新をインポートします。
- 「**Install Updates** (更新をインストールします。)」をクリックして、更新をダウンロードおよびインストールします。


ローカル更新のインストール

手順

- ステップ 1. Lenovo のいずれかの拡張機能で、右上隅の「詳細」アイコン  をクリックします。メニューが表示されます。
- ステップ 2. メニューで、「Settings (設定)」 → 「Update (更新)」をクリックします。
- ステップ 3. 「Update (更新) ページ」で、「Manually download and import updates (更新の手動ダウンロードおよびインポート)」をクリックして更新ファイルを手動でダウンロードおよびインポートします。
「Install an update (更新のインストール)」ページが表示されます。
- ステップ 4. 「Install an update (更新のインストール)」ページで、ダウンロード・リンクを右クリックして、「Save link as... (名前を付けて保存)」を選択し、更新ファイルをダウンロードします。
- ステップ 5. Lenovo Web サイトからダウンロードした更新ファイルを選択します。
- ステップ 6. 「Install Updates (更新をインストールします。)」をクリックしてインストールします。

変更履歴の確認

手順

- ステップ 1. Lenovo のいずれかの拡張機能で、右上隅の「詳細」アイコン  をクリックします。メニューが表示されます。
- ステップ 2. メニューの「Settings (設定)」 → 「Update (更新)」 → 「Change history (変更履歴)」をクリックします。
- ステップ 3. 「Change history (変更履歴)」ページでは、コンポーネントの更新時刻、方法、元のバージョン、およびターゲット・バージョンを確認します。

第 3 章 Lenovo XClarity Integrator の構成


この章では、Lenovo XClarity Integrator 設定の構成方法について説明します。

使用データの収集

このセクションでは、使用データを送信して製品を改善する方法について説明します。

製品の使用方法および Windows Admin Center の管理対象のサーバーに関する基本的な統計についての情報が収集されます。機密情報や個人的な情報が収集されることは決してありません。この情報は、製品のユーザー・エクスペリエンスの向上に役立ちます。ユーザーは、以下の手順を実行して、情報を送信するかどうかを選択できます。


手順

- ステップ 1. Lenovo のいずれかの拡張機能で、右上隅の「詳細」アイコン  をクリックします。メニューが表示されます。
- ステップ 2. メニューで、「Settings (設定)」をクリックします。
- ステップ 3. 「Privacy (プライバシー)」ページで、使用データを送信するかどうかを選択します。
- ステップ 4. 「Apply (適用)」をクリックします。

HTTP プロキシ設定の構成

このセクションでは、インターネット・アクセス用に HTTP プロキシ設定を構成する方法について説明します。

手順

- ステップ 1. Lenovo のいずれかの拡張機能で、右上隅の「詳細」アイコン  をクリックします。メニューが表示されます。
- ステップ 2. メニューで、「Settings (設定)」をクリックします。
- ステップ 3. 「Internet Access (インターネット・アクセス)」ページで、次の手順を実行します。
 - HTTP プロキシを使用する必要がない場合:
 1. HTTP プロキシ構成はデフォルトのままにします。
 2. 「Test URL (テスト URL)」をクリックします。


インターネット・アクセス・テストにパスすると、成功メッセージが表示されます。
 3. 「Close (閉じる)」をクリックします。
 - HTTP プロキシを有効化するには、以下を実行します。
 1. HTTP プロキシを有効にします。
 2. プロキシ・サーバーのホスト名およびポートを指定します。
 3. 必要に応じて、認証を有効にします。
 4. 認証が有効な場合、ユーザー名とパスワードを指定します。
 5. 「Test URL (テスト URL)」をクリックします。

インターネット・アクセス・テストにパスすると、成功メッセージが表示されます。
 6. 「Apply (適用)」をクリックします。

ログ設定の構成

このセクションでは、ログ設定の構成方法について説明します。

Windows Admin Center プラグインのログ・レベルおよびログが占有する最大ディスク・スペースを構成するには、以下を行います。

ステップ 1. Lenovo のいずれかの拡張機能で、右上隅の「詳細」アイコン  をクリックします。メニューが表示されます。

ステップ 2. メニューで、「Settings (設定)」をクリックします。

ステップ 3. 「Log Configuration (ログの構成)」ページで、以下の操作を行います。

- a. ログ・レベルを構成します。ログ・レベルには「FATAL (致命的)」、「ERROR (エラー)」、「WARN (警告)」、「INFO (情報)」、または「DEBUG (デバッグ)」があります。

注：「FATAL (致命的)」が最も高く、「DEBUG (デバッグ)」が最も低いログ・レベルです。構成したログ・レベルより高いレベルのログはすべて、ログ・ファイルにも報告されます。

- b. ディスク容量に基づいて、ディスク上の最大ログ・サイズを構成します。
- c. 「Apply (適用)」をクリックします。

ステップ 4. 「Download (ダウンロード)」をクリックして、提供されたログ・ファイルをダウンロードします。

Windows Admin Center プラグインのログ設定を構成した後、Cluster-Aware Updating プラグインのログ・レベルも構成する必要があります。


ネイティブ OS 管理の構成

このセクションでは、Storage Spaces Direct を使用して有効になっているサーバーのネイティブ OS 管理を有効または無効にする方法について説明します。

ネイティブ OS 管理は、Lenovo XClarity Administrator が利用できない場合にハードウェアを管理する方法です。この機能を使用するには、XCC Web GUI にログインし、IPMI over KCS アクセス、Ethernet Over USB、REST/CIM Over HTTPS を有効にしてください。

ネイティブ OS 管理は ThinkServer および ThinkSystem SR635/SR655 サーバーには適用できません。Storage Spaces Direct を使用して有効になっているサーバーの場合、ネイティブ OS 管理はデフォルトで無効になっていますが、以下の手順を実行して、ネイティブ OS 管理を有効にすることができます。

手順

ステップ 1. Lenovo のいずれかの拡張機能で、右上隅の「詳細」アイコン  をクリックします。メニューが表示されます。

ステップ 2. メニューで、「Settings (設定)」をクリックします。

ステップ 3. 「Native OS Management (ネイティブ OS 管理)」で、以下の 1 つ以上を実行します。

- Storage Spaces Direct select で有効になっているサーバーのネイティブ OS 管理を有効または無効にするには、Yes (はい) または No, thanks (いいえ、結構です) を選択し、Apply (適用) をクリックします。
- インベントリ・キャッシュ・データの有効期間を設定するには、分数を入力して Apply (適用) をクリックします。

注：


- 有効期間の範囲は 10 分から 525600 分です。
- デフォルトの値は 10080 分です。

資格情報の管理

このセクションでは、Windows システム、クラスター、Lenovo XClarity Controller、Lenovo XClarity Administrators などのユーザー・アカウント資格情報を追加、編集、および削除する方法について説明します。

手順

ステップ 1. 以下のいずれかを実行して、「Credential Manager (資格情報マネージャー)」ページに移動します。

- Lenovo のいずれかの拡張機能で、右上隅の「その他」アイコン  をクリックして、メニューから「Settings (設定)」 → 「Credential Manager (資格情報マネージャー)」をクリックします。
- 「Report Problem (問題の報告)」ページで、「Specify your credentials (資格情報の指定)」ページに移動し、「Open credential manager (資格情報マネージャーを開く)」をクリックします。詳しくは、73 ページの「問題の報告」を参照してください。

ステップ 2. 「Credential Manager (資格情報マネージャー)」ページで、以下の 1 つ以上を実行します。


- 資格情報を追加するには、次のようにします。
 1. 「Add (追加)」をクリックします。「Add a credential (資格情報を追加)」ページが表示されます。
 2. 「Add a credential (資格情報を追加)」ページで、ユーザー名、パスワード、および説明を入力し、「Apply (適用)」をクリックします。
- 資格情報を編集するには、次のようにします。
 1. 資格情報リストからターゲットの資格情報を選択します。
 2. 「Edit (編集)」をクリックします。「Edit a credential (資格情報を編集)」ページが表示されます。
 3. 「Edit a credential (資格情報を編集)」ページで、パスワードまたは説明を更新し、「Apply (適用)」をクリックします。
- 資格情報を削除するには、次のようにします。
 1. 資格情報リストからターゲットの資格情報を選択します。
 2. 「Delete (削除)」をクリックします。「Delete Credentials (資格情報の削除)」ウィンドウが表示されます。
 3. 「Delete Credentials (資格情報の削除)」ウィンドウで、「OK」をクリックします。

システムの言語/地域の構成

このセクションでは、システムの言語と地域の切り替え方法について説明します。現在サポートされている言語には、ドイツ語、英語、スペイン語、フランス語、イタリア語、日本語、韓国語、ブラジル・ポルトガル語、ロシア語、中国語 (簡体字)、中国語 (繁体字) が含まれます。

手順

ステップ 1. Windows Admin Center にログインします。

ステップ 2. 右上隅の「設定」アイコン  をクリックします。「Settings (設定)」ページが表示されます。

ステップ 3. 「Settings (設定)」ページの左側のナビゲーション・ペインで「Language/Region (言語/地域)」をクリックします。「Language/Region (言語/地域)」が表示されます。

ステップ 4. 「Language/Region (言語/地域)」で目的の言語と地域を選択し、「Save and reload (保存および再ロード)」をクリックします。

その後、システムが再ロードされ、選択された言語で表示されます。

第 4 章 Lenovo XClarity Integrator を使用したサーバーとシャーシの管理

この章では、Lenovo XClarity Integrator を使用してサーバーおよびシャーシを管理する方法について説明します。

ターゲット・サーバーが OS なしでインストールされている場合は、Lenovo XClarity Integrator を使用して管理することをお勧めします。ユーザーはまず Lenovo XClarity Administrator に接続する必要があります。15 ページの「[新規または既存の Lenovo XClarity Administrator への接続](#)」を参照してください。

ターゲット・サーバーに OS が既にインストールされている場合は、Server Manager または Cluster Manager を使用して管理することをお勧めします。33 ページの第 5 章「[Server Manager を使用したサーバーの管理](#)」または 41 ページの第 6 章「[Cluster Manager を使用したサーバーの管理](#)」を参照してください。

Lenovo XClarity Administrator への接続

この章では、Lenovo XClarity Administrator に接続する方法、および Lenovo XClarity Administrator を取り外す方法を説明します。


Lenovo XClarity Administrator のインストールとセットアップについての詳細は、[Lenovo XClarity Solution を使用したシステム管理 Web サイト](#)を参照してください。

新規または既存の Lenovo XClarity Administrator への接続

このセクションでは、Lenovo XClarity Integrator の新規または既存の Lenovo XClarity Administrator への接続方法について説明します。

手順

ステップ 1. Windows Admin Center にログインします。

ステップ 2. 左上隅で、「Windows Admin Center」の右側にあるドロップダウン・リストの矢印  をクリックします。

ステップ 3. 「Lenovo XClarity Integrator」をクリックします。
「All Connections (すべての接続)」ページが表示されます。

ステップ 4. 「All Connections (すべての接続)」ページでは、ユーザーは以下の 1 つ以上の操作を行います。

- 新しい Lenovo XClarity Administrator に接続するには:
 1. 「Add (追加)」をクリックします。「Add a Connection (接続を追加)」ペインが右側に表示されます。
 2. 「Add a Connection (接続を追加)」ペインで、「Connect to a Lenovo XClarity Administrator (Lenovo XClarity Administrator への接続)」を選択します。
 3. 「Connect to Lenovo XClarity Administrator (Lenovo XClarity Administrator に接続)」ペインで、IP アドレス、ユーザー名、およびパスワードを入力します。その後、「Submit (送信)」をクリックします。接続済みの Lenovo XClarity Administrator を選択します。
- 既存の Lenovo XClarity Administrator に接続するには:
 1. ステータス列で「Credential Needed (資格情報が必要です)」をクリックします。右側に「Connect to Lenovo XClarity Administrator (Lenovo XClarity Administrator に接続)」ペインが表示されます。
 2. 「Connect to Lenovo XClarity Administrator (Lenovo XClarity Administrator に接続)」ペインで、ユーザー名およびパスワードを入力します。
 3. 「Submit (送信)」をクリックします。接続済みの Lenovo XClarity Administrator を選択します。


注：

- 「Connect to Lenovo XClarity Administrator (Lenovo XClarity Administrator に接続)」 ペインにユーザー名とパスワードを入力する際は、特定の操作についてユーザー権限または許可要件を参照してください。指定されたユーザーに、目的の操作を実行するための十分なアクセス許可があることを確認します。
- LDAP ユーザーがログインするには、Lenovo XClarity Administrator のバージョンは v2.3.6、v2.4、v2.6 以降である必要があります。

Lenovo XClarity Administrator の削除

このセクションでは、Lenovo XClarity Administrator を削除する方法について説明します。

手順

- ステップ 1. Windows Admin Center にログインします。
- ステップ 2. 左上隅で、「Windows Admin Center」の右側にあるドロップダウン・リストの矢印  をクリックします。
- ステップ 3. 「Lenovo XClarity Integrator」をクリックします。
「All Connections (すべての接続)」 ページが表示されます。
- ステップ 4. 「All Connections (すべての接続)」 ページで、以下の操作を行います。
 - a. 1 つ以上のターゲット Lenovo XClarity Administrators を選択します。
 - b. 「Remove (削除)」 をクリックします。


注：Lenovo XClarity Administrator を Lenovo XClarity Integrator から削除した後、Lenovo XClarity Administrator で管理されているサーバーは Lenovo XClarity Administrator から削除されません。

Lenovo ラック・サーバーまたはタワー・サーバーの追加

このセクションでは、Lenovo XClarity Administrator に 1 つ以上の Lenovo ラック・サーバーまたはタワー・サーバーを追加する方法について説明します。

手順

- ステップ 1. Lenovo XClarity Administrator に接続します。15 ページの「新規または既存の Lenovo XClarity Administrator への接続」を参照してください。
- ステップ 2. 「All Connections (すべての接続)」 ページに戻り、「Add (追加)」をクリックします。
「Add a Connection (接続を追加)」 ペインが右側に表示されます。
- ステップ 3. 「Add a Connection (接続を追加)」 ペインで、「Manage Lenovo Rack or Tower Servers (Lenovo ラックまたはタワー・サーバーの管理)」を選択します。
「Choose a Lenovo XClarity Administrator (Lenovo XClarity Administrator を選択)」 ペインが表示されます。
- ステップ 4. 接続済みの Lenovo XClarity Administrator を選択します。

注：Lenovo XClarity Administrator が接続されていない場合は、エラー・メッセージが表示されます。
- ステップ 5. 「Manage Lenovo Rack or Tower Servers (Lenovo ラックまたはタワー・サーバーの管理)」 ペインで、以下の操作を実行します。
 - a. BMC IP アドレスを入力してから、「追加」アイコン  をクリックし、別の BMC IP アドレスを入力します。すべてのラック・サーバーまたはタワー・サーバーが追加されるまで、このステップを繰り返します。
 - b. ユーザー名およびパスワードを入力します。
 - c. 「Manage (管理)」 をクリックします。

Lenovo シャーシの追加

このセクションでは、Lenovo XClarity Administrator に Lenovo シャーシを追加する方法について説明します。

注：Lenovo シャーシ内の Flex 計算ノードを、個別に検出または管理することはできません。

手順

- ステップ 1. Lenovo XClarity Administrator に接続します。15 ページの「[新規または既存の Lenovo XClarity Administrator への接続](#)」を参照してください。
- ステップ 2. 「All Connections (すべての接続)」ページに戻り、「Add (追加)」をクリックします。「Add a Connection (接続を追加)」ペインが右側に表示されます。
- ステップ 3. 「Add a Connection (接続を追加)」ペインで、「Manage a Lenovo Chassis (Lenovo シャーシの管理)」を選択します。「Choose a Lenovo XClarity Administrator (Lenovo XClarity Administrator を選択)」ペインが表示されます。
- ステップ 4. 接続済みの Lenovo XClarity Administrator を選択します。

注：Lenovo XClarity Administrator が接続されていない場合は、エラー・メッセージが表示されます。
- ステップ 5. 「Manage a Lenovo Chassis (Lenovo シャーシの管理)」ペインで、以下の操作を行います。
 - a. CMM IP アドレス、ユーザー名、およびパスワードを入力します。
 - b. CMM リカバリー ID のリカバリー・パスワードを 2 回入力します。
 - c. 「Manage (管理)」をクリックします。


注：

- CMM は、シャーシを管理する際に Lenovo XClarity Administrator を使用してユーザーを認証するよう構成されています (CMM のローカル・ユーザー・アカウントは無効になります)。Lenovo XClarity Administrator に問題がある場合に、ユーザーが CMM に直接アクセスできるようにするため、RECOVERY_ID は重要です。指定したパスワードが安全な場所に保管されていることを確認してください。
- リカバリー・パスワードは CMM のパスワード・ポリシーを満たしている必要があります。
- シャーシが追加された後、このシャーシのサーバーのみが Lenovo XClarity Integrator に表示されます。ユーザーは、ラック・サーバーまたはタワー・サーバーを表示および管理するのと同じ方法で、サーバーを表示および管理できます。

1 つ以上のサーバーの電源オン、電源オフ、および再起動

このセクションでは、1 つ以上のサーバーの電源オン、電源オフ、および再起動の方法について説明します。


注：

- このプロセスには数分かかることがあります。ジョブはプロセスの開始時に作成されます。結果を表示するには、右上隅で「ジョブ」アイコンをクリックしてから、**Persistent Jobs (永続的ジョブ)** をクリックします。
- ステータスが「不明」、「オフライン」、または「保留中」のサーバーは、オンにしたり、オフにしたり、再起動することができません。

手順

- ステップ 1. Lenovo XClarity Administrator に接続します。15 ページの「[新規または既存の Lenovo XClarity Administrator への接続](#)」を参照してください。

ステップ 2. 「All Connections (すべての接続)」 ページに戻り、Lenovo XClarity Administrator IP アドレスの

左側にあるドロップダウン・リストの矢印  をクリックします。
すべての管理対象サーバーが表示されます。

ステップ 3. 以下の操作を 1 つ以上実行できます。

- サーバーを電源オン、電源オフ、および再起動するには:
 1. 1 つのサーバーを選択します。
 2. 「Power On (電源オン)」、 「Power Off (電源オフ)」、または「Reboot (リブート)」をクリックします。

注：または、ユーザーは、「Lenovo Server」 ページでサーバーの電源オン、電源オフ、および再起動を行うこともできます。詳しくは、[27 ページの「1 つ以上のサーバーの電源オン、電源オフ、およびサーバーの再起動」](#) を参照してください。

- 複数のサーバーを電源オン、電源オフ、および再起動するには:
 1. 複数のサーバーを選択します。
 2. 「Power On (電源オン)」、 「Power Off (電源オフ)」、または「Reboot (リブート)」をクリックします。

ステップ 4. 「Warning (警告)」 ウィンドウが表示された後、「Yes (はい)」 をクリックして続行します。

リモート制御の起動

Lenovo XClarity Integrator では、ユーザーは ThinkSystem、ThinkAgile、ThinkServer、NeXtScale、Converge、Flex System、および System x サーバーなどのリモート制御セッションを使用して Lenovo サーバーをリモートで管理できます。たとえば、サーバーの電源オン、電源オフ、ローカルまたはリモート・ドライブのローカル・コンソールへのマウントなどです。このセクションでは、サーバーのリモート制御を起動する方法について説明します。

注：

- 代わりに、ユーザーは「Lenovo Server」 ページでサーバーのリモート制御を起動することもできます。詳しくは、[27 ページの「Lenovo Server \(Lenovo サーバー\)」 ページでのリモート制御の起動](#) を参照してください。
- 「不明」、「オフライン」、または「保留中」ステータスのサーバーの場合は、リモート制御を起動することはできません。

始める前に


サーバーが ThinkServer、Converged、Flex System、NeXtScale、または System x サーバーである場合、以下のことを確認します。

- このサーバーがネットワークに接続されている。
- このサーバーが以下のオペレーティング・システム (32 ビットまたは 64 ビット) で実行中である。
 - Microsoft Windows 7
 - Microsoft Windows 8
 - Microsoft Windows 10
 - Microsoft Windows 11
- Java WebStart サポートがある Java Runtime Environment (JRE) がインストールされている。サポートされる JRE は次のとおりです。
 - Oracle JRE 7 ([Oracle Java download Web site](#) (Oracle Java ダウンロード Web サイト) を参照)
 - 有料ライセンスが必要な Oracle JRE 8 ([Oracle Java download Web site](#) (Oracle Java ダウンロード Web サイト) を参照)
 - Adopt OpenJDK 8 with the IcedTea-Web v1.8 プラグイン ([Adopt OpenJDK Web site](#) (Adopt OpenJDK Web サイト)、[IcedTea-Web Web site](#) (IcedTea-Web Web サイト) および [IcedTea-Web usage Web site](#) (IcedTea-Web 使用 Web サイト) を参照)

注：ThinkSystem サーバーと ThinkAgile サーバーでは、JRE は不要です。

- ThinkServer System Manager Premium Upgrade の FoD キーが ThinkServer サーバーにインストールされている。詳しくは、31 ページの「[Feature on Demand キーの表示](#)」を参照してください。
- Converged、NeXtScale、および System x サーバーにリモート・プレゼンスの FoD キーがインストールされている。詳しくは、31 ページの「[Feature on Demand キーの表示](#)」を参照してください。


手順

- ステップ 1. Lenovo XClarity Administrator に接続します。15 ページの「[新規または既存の Lenovo XClarity Administrator への接続](#)」を参照してください。
- ステップ 2. 「All Connections (すべての接続)」ページに戻り、Lenovo XClarity Administrator IP アドレスの左側にあるドロップダウン・リストの矢印  をクリックします。すべての管理対象サーバーが表示されます。
- ステップ 3. サーバーを選択します。
- ステップ 4. 「Launch Remote Control (リモート制御の起動)」をクリックします。
- ステップ 5. セキュリティの警告プロンプトが出されたら、「Accept (同意する)」をクリックします。

すべての管理対象サーバーの保証情報の表示

このセクションでは、すべての管理対象サーバーの保証情報を表示する方法について説明します。

手順

- ステップ 1. Lenovo XClarity Administrator に接続します。15 ページの「[新規または既存の Lenovo XClarity Administrator への接続](#)」を参照してください。
- ステップ 2. 「All Connections (すべての接続)」ページに戻り、Lenovo XClarity Administrator IP アドレスの前にある  をクリックします。Lenovo XClarity Administrator によって管理されているすべてのサーバーがリストされます。
- ステップ 3. サーバー・リストで、ユーザーは、すべての管理対象サーバーの「Warranty Status (保証ステータス)」および「Warranty Expired Date (保証の有効期限が切れた日付)」を表示できます。

注：また、ユーザーは、「Lenovo Server」ページで、(保証情報を含む)サーバー全体の情報を表示することもできます。詳しくは、22 ページの「[サーバーの全体情報の表示](#)」を参照してください。

単一のサーバーのサービス・データの収集

このセクションでは、1つ以上の単一サーバーのサービス・データを収集する方法について説明します。

手順

- ステップ 1. vSphere Client Web ページから、ターゲット・サーバーを選択します。
- ステップ 2. サーバー・ページで、「Lenovo XClarity Integrator」 → 「Native OS Management/Lenovo XClarity Administrator (ネイティブ OS 管理/Lenovo XClarity Administrator)」 → 「Service Data (サービス・データ)」を選択します。
- ステップ 3. 「Service Data (サービス・データ)」ページで、1つ以上のターゲット・ファイルを選択し、「Collect Service Data (サービス・データの収集)」をクリックします。
- ステップ 4. 「Select Service Data Type (サービス・データ・タイプの選択)」ウィンドウで、以下を実行します。
 - a. (オプション)「Optional Log (オプションのログ)」を選択します。

注：デフォルトでは、必要なログは LXCI によって収集されます。ユーザーは、オプションのログを選択して問題を絞り込むこともできます。

- b. 「**Credential Needed** (資格情報が必要です)」をクリックして既存の資格情報を選択するか、ユーザー名、パスワード、Windows 管理者アカウントの説明を追加して、「**Apply** (適用)」 / 「**Close** (閉じる)」をクリックします。

注：

- クラスター・ノードの場合、アカウントは、ローカル Administrators グループに含まれる Active Directory ドメイン・アカウントである必要があります。
- 非クラスター・サーバーの場合、アカウントは、ローカル Administrators グループに含まれる Active Directory ドメイン・アカウント、または組み込み管理者アカウントである必要があります。
- 以下の操作が1つ以上必要な場合は、OS 資格情報が必要です。
 - ネイティブ OS 管理モードでのファームウェア/ドライバーの更新
 - クラスター化されたロールの移行

- c. 「**OK**」をクリックします。

ステップ 5. 「Specify your credentials (資格情報の指定)」ウィンドウで、資格情報の種類を選択し、ユーザー名とパスワードを入力して、「**OK**」をクリックします。


ステップ 6. 「Select Service Data Type (サービス・データ・タイプの選択)」ウィンドウで、「**OK**」をクリックします。

ステップ 7. 「Warning (警告)」ウィンドウが表示された後、「**Yes** (はい)」をクリックして続行します。

すべてのサーバーのサービス・データの収集

このセクションでは、すべてのサーバーのサービス・データを収集する方法について説明します。

手順

ステップ 1. Lenovo のいずれかの拡張機能で、右上隅の「詳細」アイコン  をクリックします。メニューが表示されます。

ステップ 2. メニューで、「**Collect Service Data (サービス・データの収集)**」をクリックします。

ステップ 3. 「Service Data (サービス・データ)」ページで、「**Collect Service Data (サービス・データの収集)**」 → 「**OK**」をクリックします。

ステップ 4. 「Warning (警告)」ウィンドウが表示された後、「**Yes** (はい)」をクリックして続行します。すべてのサーバーのサービス・データがダウンロードされます。


サーバーの削除

このセクションでは、Lenovo XClarity Integrator および Lenovo XClarity Administrator からサーバーを削除する方法について説明します。

手順

ステップ 1. Lenovo XClarity Administrator に接続します。15 ページの「[新規または既存の Lenovo XClarity Administrator への接続](#)」を参照してください。

ステップ 2. 「All Connections (すべての接続)」ページに戻り、Lenovo XClarity Administrator IP アドレスの

左側にあるドロップダウン・リストの矢印  をクリックします。
すべての管理対象サーバーが表示されます。

ステップ 3. 1つ以上のサーバーを選択します。

ステップ 4. 「**Unmanage** (管理解除)」をクリックします。

ステップ 5. 「Warning (警告)」ウィンドウが表示されたら、「**Yes** (はい)」をクリックして続行します。

注：1つ以上のFlex サーバーが削除されると、その親シャーシと、このシャーシの他の管理対象サーバーも削除されます。

サーバーの管理

このセクションでは、「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」 ページでサーバーとそのコンポーネントを管理する方法について説明します。

このセクションでは、以下の1つ以上を実行します。

- サーバーの全体情報を表示する。22 ページの「サーバーの全体情報の表示」を参照してください。
- インベントリを同期する。22 ページの「サーバーのインベントリの同期」を参照してください。
- サーバーのファームウェアを更新する。22 ページの「サーバーのファームウェア更新」を参照してください。
- 複数のサーバーのファームウェアを更新する。24 ページの「複数のサーバーのファームウェア更新」を参照してください。
- 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」 ページでリモート制御を起動する。27 ページの「Lenovo Server (Lenovo サーバー) ページでのリモート制御の起動」を参照してください。
- サーバーの電源オン、電源オフ、および再起動する。27 ページの「1つ以上のサーバーの電源オン、電源オフ、およびサーバーの再起動」を参照してください。
- 管理コントローラー・インターフェースを起動する。28 ページの「サーバーの管理コントローラー・インターフェースの起動」を参照してください。
- インベントリ・データを管理する。28 ページの「インベントリの管理」を参照してください。
- アラートを表示する。29 ページの「アラートの管理」を参照してください。
- イベント・ログを表示する。29 ページの「イベント・ログの管理」を参照してください。
- 監査ログを表示する。30 ページの「監査ログの管理」を参照してください。
- 電力消費量および温度を表示する。30 ページの「電力消費量および温度の表示」を参照してください。
- FoD キーを表示する。31 ページの「Feature on Demand キーの表示」を参照してください。
- サービス・データを管理する。31 ページの「サーバーのサービス・データの管理」を参照してください。


「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」 ページへのログイン

特定のサーバーを管理する前に、ユーザーはまず「Lenovo Server」 ページにログインする必要があります。このセクションでは、サーバーの「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」 ページにログインする方法について説明します。

手順

ステップ 1. Lenovo XClarity Administrator に接続します。15 ページの「新規または既存の Lenovo XClarity Administrator への接続」を参照してください。

ステップ 2. 「All Connections (すべての接続)」 ページに戻り、Lenovo XClarity Administrator IP アドレスの

左側にあるドロップダウン・リストの矢印  をクリックします。
すべての管理対象サーバーが表示されます。

ステップ 3. リストにあるサーバーの名前をクリックします。このサーバーの「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」 ページが表示されます。

注：

- Lenovo XClarity Administrator がサーバーから切断されている場合、サーバーのステータスが「不明」または「オフライン」になる可能性があります。ユーザーは、「Lenovo Server」 ページにはログインできません。この場合は、このサーバーを Lenovo XClarity Administrator に再度追加します。
- サーバーが Lenovo XClarity Administrator に追加されると、ステータスが数分間「保留になる」可能性があります。このプロセスが完了したら、ユーザーはこのサーバーの名前をクリックして「Lenovo Server」 ページにログインできます。

- サーバー・ステータスが「オフライン」の場合、ユーザーは「Lenovo Server」ページにログインできません。

サーバーの全体情報の表示

このセクションでは、「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページで管理対象サーバーの全体情報を表示する方法について説明します。

手順

- ステップ 1. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページにログインします。21 ページの「[「Lenovo Server \(Lenovo サーバー\)」ページへのログイン](#)」を参照してください。
- ステップ 2. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページの「Summary (要約)」ペインで、以下の操作を 1 つ以上実行できます。
 - 製品名、ユーザー定義の名前、ステータス、タイプ・モデル、ホスト名 (BMC)、および IP アドレス (BMC) を表示するには、「Summary (要約)」タブをクリックします。
 - プロセッサ、メモリー、および PCI カードの情報を表示するには、「Installed Devices (取り付けられているデバイス)」タブをクリックします。
 - 保証番号、開始日、有効期限、およびステータスを表示するには、「Warranty (保証)」タブをクリックします。

注：または、ユーザーは「All Connections (すべての接続)」ページで、すべての管理対象サーバーの保証情報を表示できます。詳しくは、19 ページの「[すべての管理対象サーバーの保証情報の表示](#)」を参照してください。

サーバーのインベントリーの同期

サーバーでは、インベントリーの同期はインベントリーの更新とは異なります。Lenovo XClarity Integrator はインベントリーを同期するときに、サーバー管理モジュールからインベントリー情報を取得します。このプロセスには数分かかることがあります。Lenovo XClarity Integrator は、インベントリーを更新する際、カスタマー・エクスペリエンスとパフォーマンス上の問題への対処のために、キャッシュからインベントリー情報を取得します。このセクションでは、「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページで管理対象サーバーのコンポーネントのインベントリーを同期する方法について説明します。

手順

- ステップ 1. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページにログインします。21 ページの「[「Lenovo Server \(Lenovo サーバー\)」ページへのログイン](#)」を参照してください。
- ステップ 2. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページの「Summary (要約)」ペインで、「Sync Inventory (インベントリの同期)」をクリックします。
コンポーネントの最新のインベントリー情報が表示されます。

サーバーのファームウェア更新

サーバーが OS なしでインストールされている場合でも、Lenovo XClarity Integrator を使用してサーバーでファームウェア更新ジョブを実行できます。


「Updates (更新)」ペインでは、以下の機能がサポートされています。

- 「Compliance Policies (コンプライアンス・ポリシー)」
コンプライアンス・ポリシーを使用する場合も、ユーザーは、クラスター内の特定のサーバーまたはすべてのサーバーについて、ポリシー内で更新するコンポーネントを判別できます。サーバーが Lenovo XClarity Administrator によって管理されている場合にのみ使用できます。
- 「Latest Updates (最新の更新)」
この方式ではポリシーは使用されません。ユーザーは、更新するコンポーネントごとにターゲット・バージョンを選択する必要があります。ターゲット・バージョンは、現行のインストール済みバージョンより新しいものである必要があります。


- 「Update Logs (ログの更新)」

「Update Logs (ログの更新)」ペインでは、現在のクラスター・ノードまたはサーバーの更新ジョブの削除、キャンセル、再試行がサポートされています。

手順

- ステップ 1. Lenovo XClarity Administrator に接続します。15 ページの「新規または既存の Lenovo XClarity Administrator への接続」を参照してください。
- ステップ 2. 「All Connections (すべての接続)」ページに戻り、Lenovo XClarity Administrator IP アドレスの左側にあるドロップダウン・リストの矢印  をクリックします。すべての管理対象サーバーが表示されます。
- ステップ 3. リストにあるサーバーの名前をクリックします。このサーバーの「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページが表示されます。「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページの「Menu (メニュー)」ペインで、「Update (更新)」をクリックします。
- ステップ 4. 「Updates (更新)」ペインで、以下の更新方式のいずれかを選択します。
 - ファームウェア更新のためにコンプライアンス・ポリシーを割り当てるには:
 1. 「Compliance Policies (コンプライアンス・ポリシー)」をクリックします。
 2. ドロップダウン・リストからポリシーを選択します。

注：



- 「Show Compliance Policy Definition (コンプライアンス・ポリシーの定義の表示)」をクリックして、ポリシーのファームウェア更新を表示できます。
- デバイスの前面の  をクリックして、ポリシーに該当するファームウェア更新を表示できます。コンポーネントの「Compliance (コンプライアンス)」が「Compliant (適合)」の場合、インストール済みバージョンは既にポリシー内のターゲット更新バージョンと同じかそれより上になっています。そのため、「Compliance (コンプライアンス)」が「Not Compliant (非適合)」のコンポーネントを更新することをお勧めします。
- 3. 「Install Updates (更新のインストール)」をクリックします。
- 更新する各コンポーネントのターゲット・バージョンを選択するには:
 1. 「Latest Updates (最新の更新)」をクリックします。
 2. 次のいずれかを行います。
 - 最新のファームウェアおよびドライバ更新を表示するには、「Reload local repository (ローカル・リポジトリの再ロード)」をクリックします。
 - ファームウェアおよびドライバ更新を実行するには、ターゲット・カタログまたはターゲット更新パッケージを選択し、「Install Updates (更新のインストール)」をクリックします。
 - ローカル・リポジトリを管理するには、「Manage local repository (ローカル・リポジトリの管理)」をクリックして、以下のいずれかを行います。
 - カatalogを最新の情報に更新するには、1つ以上のターゲット・カタログを選択し、「Refresh Catalog (カタログを最新の情報に更新)」をクリックします。
 - 更新パッケージをダウンロードするには、1つ以上のターゲット・カタログまたは更新パッケージを選択して、「Download (ダウンロード)」をクリックします。
 - 更新パッケージを削除するには、1つ以上のターゲット・マシン・タイプまたは更新パッケージを選択して、「Delete (削除)」をクリックします。
 - ファームウェア更新またはドライバ更新のみをフィルタリングするには、「Firmware & Driver (ファームウェアとドライバ)」をクリックし、「Firmware (ファームウェア)」または「Driver (ドライバ)」を選択します。
 - Windows または Linux の更新のみをフィルタリングするには、「Windows & Linux (Windows と Linux)」をクリックして、「Windows」または「Linux」を選択します。

- 現在のクラスター・ノードまたはサーバーの更新ジョブを削除、キャンセル、または再試行するには、以下を行います。
 1. 「Update Logs (ログの更新)」をクリックします。
 2. 次のいずれかを行います。
 - 更新ジョブを削除するには、1つ以上の更新ジョブを選択し、「Delete (削除)」をクリックします。
 - 更新ジョブをキャンセルするには、1つ以上のスケジュールされた更新ジョブを選択して、「Cancel (キャンセル)」をクリックします。
 - 更新ジョブを再試行するには、「Failed (失敗)」ステータス、「Stopped (停止)」ステータス、または「Cancelled (キャンセル済み)」ステータスで更新ジョブを選択し、「Retry (再試行)」をクリックします。

ステップ 5. 「Update Selection (更新の選択)」タブで、更新するコンポーネントを選択または選択解除します。

- a. 「Select Items (項目の選択)」ペインで、更新するコンポーネントを選択または選択解除します。

注：

- 「Select Items (項目の選択)」ペインの右上隅で  をクリックして、「Preview (プレビュー)」ペインを展開するか、 をクリックして、コンポーネントを削除できます。
 - 「Select Items (項目の選択)」ペインおよび「Preview (プレビュー)」ペインの操作がリアルタイムで同期されます。
- b. (オプション) インストール済みバージョンの更新がすでに最新のものであるか、ターゲット・バージョン以降である場合でも、選択したコンポーネントのファームウェアを更新する場合は、「Forced update (強制更新)」を有効にします。

注：

- 以前のバージョンのファームウェアをデバイス・オプション、アダプター、またはディスク・ドライブに適用できない点に注意してください。
- 「Latest Updates (最新の更新)」が使用されている場合、強制更新は使用できません。

- c. 「Next (次へ)」をクリックします。

ステップ 6. 「Update Download (更新のダウンロード)」タブで、必要に応じて更新パッケージをダウンロードまたはインポートし、「Next (次へ)」をクリックします。

ステップ 7. 「Options (オプション)」タブで、更新ジョブに名前を付け、スケジュールします。その後、「Next (次へ)」をクリックします。

ステップ 8. 更新するコンポーネント、ジョブ名、スケジュール、および割り当てられたポリシーがある場合は、「Summary (要約)」タブで、更新ジョブに関する情報を確認します。

ステップ 9. 「Submit (送信)」をクリックします。

次に、システムは「Persistent Job (永続的なジョブ)」ページにナビゲートし、ユーザーは更新ジョブのステータスを確認できます。

注：

- 「Persistent Job (永続的なジョブ)」ページ、または更新ウィザードが閉じると、更新ウィザードが開く前にシステムが元のページにナビゲートします。
- いずれかの拡張機能から更新履歴を表示するには、[27 ページの「永続的なジョブの表示」](#)を参照してください。

複数のサーバーのファームウェア更新

Lenovo XClarity Integrator により、OS なしでインストールされているサーバーを含む、複数のサーバーのファームウェアのバッチ更新ジョブを実行できます。

ファームウェアのバッチ更新ジョブを実行する前に、サーバーが同じマシン・タイプに属し、同じ Lenovo XClarity Administrator によって管理されていることを確認します。

「Updates (更新)」ペインでは、以下の機能がサポートされています。

- 「Compliance Policies (コンプライアンス・ポリシー)」

コンプライアンス・ポリシーを使用する場合も、ユーザーは、クラスター内の特定のサーバーまたはすべてのサーバーについて、ポリシー内で更新するコンポーネントを判別できます。サーバーが Lenovo XClarity Administrator によって管理されている場合にのみ使用できます。

- 「Latest Updates (最新の更新)」

この方式ではポリシーは使用されません。ユーザーは、更新するコンポーネントごとにターゲット・バージョンを選択する必要があります。ターゲット・バージョンは、現行のインストール済みバージョンより新しいものである必要があります。


- 「Update Logs (ログの更新)」

「Update Logs (ログの更新)」ペインでは、現在のクラスター・ノードまたはサーバーの更新ジョブの削除、キャンセル、再試行がサポートされています。

手順

ステップ 1. Lenovo XClarity Administrator に接続します。15 ページの「[新規または既存の Lenovo XClarity Administrator への接続](#)」を参照してください。

ステップ 2. 「All Connections (すべての接続)」ページに戻り、Lenovo XClarity Administrator IP アドレス


の左側にあるドロップダウン・リストの矢印  をクリックします。すべての管理対象サーバーが表示されます。

ステップ 3. バッチ更新するサーバーを選択し、サーバー・リストの上にあるアクション・ペインから、「Firmware Update (ファームウェア更新)」をクリックします。ファームウェア更新ウィザードが表示されます。

ステップ 4. 以下のいずれかの更新方法を選択してください。

- ファームウェア更新のためにコンプライアンス・ポリシーを割り当てるには:
 1. 「Compliance Policies (コンプライアンス・ポリシー)」をクリックします。
 2. ドロップダウン・リストからポリシーを選択します。

注：



- 「Show Compliance Policy Definition (コンプライアンス・ポリシーの定義の表示)」をクリックして、ポリシーのファームウェア更新を表示できます。
- デバイスの前面の  をクリックして、ポリシーに該当するファームウェア更新を表示できます。コンポーネントの「Compliance (コンプライアンス)」が「Compliant (適合)」の場合、インストール済みバージョンは既にポリシー内のターゲット更新バージョンと同じかそれより上になっています。そのため、「Compliance (コンプライアンス)」が「Not Compliant (非適合)」のコンポーネントを更新することをお勧めします。
- 3. 「Install Updates (更新のインストール)」をクリックします。
- 更新する各コンポーネントのターゲット・バージョンを選択するには:
 1. 「Latest Updates (最新の更新)」をクリックします。
 2. 次のいずれかを行います。
 - 最新のファームウェアおよびドライバー更新を表示するには、「Reload local repository (ローカル・リポジトリの再ロード)」をクリックします。
 - ファームウェアおよびドライバー更新を実行するには、ターゲット・カタログまたはターゲット更新パッケージを選択し、「Install Updates (更新のインストール)」をクリックします。
 - ローカル・リポジトリを管理するには、「Manage local repository (ローカル・リポジトリの管理)」をクリックして、以下のいずれかを行います。

- カタログを最新の情報に更新するには、1つ以上のターゲット・カタログを選択し、「**Refresh Catalog (カタログを最新の情報に更新)**」をクリックします。
 - 更新パッケージをダウンロードするには、1つ以上のターゲット・カタログまたは更新パッケージを選択して、「**Download (ダウンロード)**」をクリックします。
 - 更新パッケージを削除するには、1つ以上のターゲット・マシン・タイプまたは更新パッケージを選択して、「**Delete (削除)**」をクリックします。
 - ファームウェア更新またはドライバー更新のみをフィルタリングするには、「**Firmware & Driver (ファームウェアとドライバー)**」をクリックし、「**Firmware (ファームウェア)**」または「**Driver (ドライバー)**」を選択します。
 - Windows または Linux の更新のみをフィルタリングするには、「**Windows & Linux (Windows と Linux)**」をクリックして、「**Windows**」または「**Linux**」を選択します。
- 現在のクラスター・ノードまたはサーバーの更新ジョブを削除、キャンセル、または再試行するには、以下を行います。
 1. 「**Update Logs (ログの更新)**」をクリックします。
 2. 次のいずれかを行います。
 - 更新ジョブを削除するには、1つ以上の更新ジョブを選択し、「**Delete (削除)**」をクリックします。
 - 更新ジョブをキャンセルするには、1つ以上のスケジュールされた更新ジョブを選択して、「**Cancel (キャンセル)**」をクリックします。
 - 更新ジョブを再試行するには、「**Failed (失敗)**」ステータス、「**Stopped (停止)**」ステータス、または「**Cancelled (キャンセル済み)**」ステータスで更新ジョブを選択し、「**Retry (再試行)**」をクリックします。

ステップ 5. 「**Update Selection (更新の選択)**」タブで、更新するコンポーネントを選択または選択解除します。

- a. 「**Select Items (項目の選択)**」ペインで、更新するコンポーネントを選択または選択解除します。

注：

- 「**Select Items (項目の選択)**」ペインの右上隅で  をクリックして、「**Preview (プレビュー)**」ペインを展開するか、 をクリックして、コンポーネントを削除できます。
 - 「**Select Items (項目の選択)**」ペインおよび「**Preview (プレビュー)**」ペインの操作がリアルタイムで同期されます。
- b. (オプション) インストール済みバージョンの更新がすでに最新のものであるか、ターゲット・バージョン以降である場合でも、選択したコンポーネントのファームウェアを更新する場合は、「**Forced update (強制更新)**」を有効にします。

注：

- 以前のバージョンのファームウェアをデバイス・オプション、アダプター、またはディスク・ドライブに適用できない点に注意してください。
- 「**Latest Updates (最新の更新)**」が使用されている場合、強制更新は使用できません。

- c. 「**Next (次へ)**」をクリックします。

ステップ 6. 「**Update Download (更新のダウンロード)**」タブで、必要に応じて更新パッケージをダウンロードまたはインポートし、「**Next (次へ)**」をクリックします。

ステップ 7. 「**Options (オプション)**」タブで、更新ジョブに名前を付け、スケジュールします。その後、「**Next (次へ)**」をクリックします。

ステップ 8. 更新するコンポーネント、ジョブ名、スケジュール、および割り当てられたポリシーがある場合は、「**Summary (要約)**」タブで、更新ジョブに関する情報を確認します。


ステップ 9. 「**Submit (送信)**」をクリックします。

次に、システムは「**Persistent Job (永続的なジョブ)**」ページにナビゲートし、ユーザーは更新ジョブのステータスを確認できます。

注：

- 「Persistent Job (永続的なジョブ)」ページ、または更新ウィザードが閉じると、更新ウィザードが開く前にシステムが元のページにナビゲートします。
- いずれかの拡張機能から更新履歴を表示するには、[27 ページの「永続的なジョブの表示」](#)を参照してください。

永続的なジョブの表示

Lenovo のいずれかの拡張機能で、右上隅の「ジョブ」アイコンをクリックしてから、**Persistent Jobs (永続的ジョブ)** をクリックします。

右側に「Jobs (ジョブ)」ペインが表示されます。

「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページでのリモート制御の起動

このセクションでは、「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページで ThinkSystem、ThinkAgile、ThinkServer、NeXtScale、Converge、Flex System、および System x サーバーのリモート制御を起動する方法について説明します。

注：

- 代わりに、ユーザーは「All Connections (すべての接続)」ページでリモート制御を起動することもできます。詳しくは、[18 ページの「リモート制御の起動」](#)を参照してください。
- 「不明」、「オフライン」、または「保留中」ステータスのサーバーの場合は、リモート制御を起動することはできません。

始める前に

詳しくは、[18 ページの「リモート制御の起動」](#)を参照してください。


手順

- ステップ 1. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページにログインします。[21 ページの「「Lenovo Server \(Lenovo サーバー\)」ページへのログイン」](#)を参照してください。
- ステップ 2. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページの「Summary (要約)」ペインで、「Launch Remote Control (リモート制御の起動)」をクリックします。
- ステップ 3. セキュリティの警告プロンプトが出されたら、「Accept (同意する)」をクリックします。

1 つ以上のサーバーの電源オン、電源オフ、およびサーバーの再起動

このセクションでは、「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページでサーバーの電源オン、電源オフ、および再起動の方法について説明します。

注：

- または、ユーザーは、「All Connections (すべての接続)」ページでサーバーの電源オン、電源オフ、および再起動を行うこともできます。詳しくは、[17 ページの「1 つ以上のサーバーの電源オン、電源オフ、および再起動」](#)を参照してください。
- このプロセスには数分かかることがあります。ジョブは、プロセスの開始時に作成されます。結果を表示するには、「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページの右上隅にある「ジョブ」アイコンをクリックしてから、**Persistent Jobs (永続的ジョブ)** をクリックします。

手順

- ステップ 1. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページにログインします。[21 ページの「「Lenovo Server \(Lenovo サーバー\)」ページへのログイン」](#)を参照してください。
- ステップ 2. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページの「Summary (要約)」ペインで、「Power On (電源オン)」、「Power Off (電源オフ)」、または「Reboot (リブート)」をクリックします。

ステップ3. 「Warning (警告)」ウィンドウが表示された後、「Yes (はい)」をクリックして続行します。

サーバーの管理コントローラー・インターフェースの起動

このセクションでは、「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページでサーバーの管理コントローラー・インターフェースを起動する方法について説明します。

手順

ステップ1. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページにログインします。21 ページの「[「Lenovo Server \(Lenovo サーバー\)」ページへのログイン](#)」を参照してください。

ステップ2. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページの「Summary (要約)」ペインで、以下の操作を行います。

- a. 「Summary (要約)」タブをクリックします。
- b. 「Summary (要約)」タブで、「IP address (BMC) (IP アドレス (BMC))」領域の IP アドレスを選択します。
管理コントローラー・インターフェースが表示されます。
- c. 管理コントローラー・インターフェースで、BMC ユーザー名とパスワードを入力し、「Log In (ログイン)」をクリックします。

インベントリーの管理

このセクションでは、「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページでインベントリー・データを表示、同期、およびダウンロードし、サーバーのファームウェア更新を確認する方法について説明します。

手順

ステップ1. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページにログインします。21 ページの「[「Lenovo Server \(Lenovo サーバー\)」ページへのログイン](#)」を参照してください。

ステップ2. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページで、左側のナビゲーション・ペインにある「Inventory (インベントリー)」をクリックします。
「Inventory (インベントリー)」ペインが表示されます。

ステップ3. 「Inventory (インベントリー)」ペインで、以下の操作を1つ以上実行します。

- 最新のインベントリー・データを取得するには、「Sync Inventory (インベントリーの同期)」をクリックします。
- ファームウェア更新を確認するには、「Reload Local Repository (ローカル・リポジトリーの再ロード)」をクリックし、「Firmware (ファームウェア)」領域の「Latest in Repository (リポジトリー内の最新)」列で使用可能な最新のローカル・ファームウェア更新を表示します。Web で最新のファームウェア更新を表示するには、69 ページの第8章「[システム更新リポジトリーの管理](#)」を参照してください。

注：

- このプロセスでは、インターネットにアクセスする必要があります。ネットワークでファイアウォールがアクティブ化されている場合は、Lenovo XClarity Administrator で管理されているサーバーでこれらの操作を実行できるファイアウォールを構成します。
Lenovo XClarity Administrator のファイアウォールおよびプロキシ・サーバーについての詳細は、[ファイアウォールおよびプロキシ・サーバー](#)を参照してください。
- このプロセスには数分かかることがあります。
- Lenovo ThinkServer サーバーでは、この機能はサポートされていません。
- インベントリー・データをダウンロードするには:
 1. 「Export (エクスポート)」をクリックします。
 2. 「このファイルを開く方法」ウィンドウが表示されたら、Save (保存) をクリックします。インベントリー・データはローカル・ファイルに保存されます。

アラートの管理

このセクションでは、「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページでサーバーのアラートをダウンロードする方法について説明します。

手順

- ステップ 1. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページにログインします。21 ページの「[「Lenovo Server \(Lenovo サーバー\)」ページへのログイン](#)」を参照してください。
- ステップ 2. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページで、左側のナビゲーション・ペインの「Alerts (アラート)」をクリックします。
「Alerts (アラート)」ペインが表示されます。
- ステップ 3. 「Alerts (アラート)」ペインで、以下の操作を 1 つ以上実行できます。
- アラートの詳細を表示するには:
 1. アラート・リストからアラートを選択します。このアラートの情報がリストの下に表示されます。
 2. 以下の操作を 1 つ以上実行できます。
 - プロパティ情報を表示するには、「**Properties (プロパティ)**」タブをクリックします。
 - このアラートの説明と解決策を表示するには、「**Details (詳細)**」タブをクリックします。
 - アラート・データをダウンロードするには:
 1. 「**Export (エクスポート)**」をクリックします。
 2. 「このファイルを開く方法」ウィンドウが表示されたら、**Save (保存)** をクリックします。アラート・データはローカル・ファイルに保存されます。
 - 「Alerts (アラート)」リストに他の列を表示するには:
 1. 「**Customize Columns (列のカスタマイズ)**」アイコンをクリックします。右側に「**Customize Alerts Columns (アラート列のカスタマイズ)**」ペインが表示されます。
 2. 1 つ以上のターゲット列を選択します。
 3. 「Alerts (アラート)」ペインに戻ります。選択した列の情報が表示されます。

イベント・ログの管理

このセクションでは、「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページでサーバーのイベント・ログをダウンロードする方法について説明します。

手順

- ステップ 1. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページにログインします。21 ページの「[「Lenovo Server \(Lenovo サーバー\)」ページへのログイン](#)」を参照してください。
- ステップ 2. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページで、左側のナビゲーション・ペインの「Event Log (イベント・ログ)」をクリックします。
「Event Log (イベント・ログ)」ペインが表示されます。
- ステップ 3. 「Event Log (イベント・ログ)」ペインで、以下の操作を 1 つ以上実行できます。
- イベント・ログの詳細を表示するには:
 1. 「Event Log (イベント・ログ)」リストからイベント・ログを選択します。このイベント・ログの情報がリストの下に表示されます。
 2. 以下の操作を 1 つ以上実行できます。
 - プロパティ情報を表示するには、「**Properties (プロパティ)**」タブをクリックします。
 - このイベント・ログの説明と解決策を表示するには、「**Details (詳細)**」タブをクリックします。
 - イベント・ログをダウンロードするには:
 1. 「**Export (エクスポート)**」をクリックします。
 2. 「このファイルを開く方法」ウィンドウが表示されたら、**Save (保存)** をクリックします。イベント・ログはローカル・ファイルに保存されます。

- 「Event Log (イベント・ログ)」リストに他の列を表示するには:
 1. 「Customize Columns (列のカスタマイズ)」アイコンをクリックします。右側に「Customize EventLog Columns (イベント・ログ列のカスタマイズ)」ペインが表示されます。
 2. 1つ以上のターゲット列を選択します。
 3. 「Event Log (イベント・ログ)」ペインに戻ります。選択した列の情報が表示されます。

監査ログの管理

このセクションでは、「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページでサーバーの監査ログをダウンロードする方法について説明します。

手順



- ステップ 1. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページにログインします。21 ページの「[「Lenovo Server \(Lenovo サーバー\)」ページへのログイン](#)」を参照してください。
- ステップ 2. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページで、左側のナビゲーション・ペインの「Audit Log (監査ログ)」をクリックします。
「Audit Log (監査ログ)」ペインが表示されます。
- ステップ 3. 「Audit Log (監査ログ)」ペインで、以下の操作を1つ以上実行できます。
- 監査ログの詳細を表示するには:
 1. 「Audit Log (監査ログ)」リストから監査ログを選択します。この監査ログの情報がリストの下に表示されます。
 2. 以下の操作を1つ以上実行できます。
 - プロパティ情報を表示するには、「Properties (プロパティ)」タブをクリックします。
 - この監査ログの説明と解決策を表示するには、「Details (詳細)」タブをクリックします。
 - 監査ログをダウンロードするには:
 1. 「Export (エクスポート)」をクリックします。
 2. 「このファイルを開く方法」ウィンドウが表示されたら、Save (保存) をクリックします。監査ログはローカル・ファイルに保存されます。
 - 「Audit Log (監査ログ)」リストに他の列を表示するには:
 1. 「Customize Columns (列のカスタマイズ)」アイコンをクリックします。右側に「Customize AuditLog Columns (音声ログ列のカスタマイズ)」ペインが表示されます。
 2. 1つ以上のターゲット列を選択します。
 3. 「Audit Log (監査ログ)」ペインに戻ります。選択した列の情報が表示されます。

電力消費量および温度の表示

このセクションでは、「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページでサーバーの電力消費量および温度を表示する方法について説明します。

手順

- ステップ 1. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページにログインします。21 ページの「[「Lenovo Server \(Lenovo サーバー\)」ページへのログイン](#)」を参照してください。
- ステップ 2. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページで、左側のナビゲーション・ペインにある「Power Consumption and Temperature (電力消費量および温度)」をクリックします。
「Power Consumption and Temperature (電力消費量および温度)」ペインが表示されます。
- ステップ 3. 「Power Consumption and Temperature (電力消費量および温度)」ペインで、以下の操作を1つ以上実行できます。
- このペインに表示されているサーバーのシステム電力消費量、システム温度(インレット)、CPU 電力消費量、およびメモリー電力消費量の情報を表示します。

- 摂氏と華氏の温度表示を切り替えるには、右上隅にある「Temperature (温度)」ボタン  または  をクリックします。

Feature on Demand キーの表示

このセクションでは、「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページでサーバーの FoD キーを表示する方法について説明します。

手順

- ステップ 1. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページにログインします。21 ページの「[「Lenovo Server \(Lenovo サーバー\)」ページへのログイン](#)」を参照してください。
- ステップ 2. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページでは、以下の操作を 1 つ以上実行できます。
 - サーバーにインストールされたすべての FoD キーの情報を表示するには、左側のナビゲーション・ペインで、「**Feature on Demand Keys (Feature on Demand キー)**」をクリックします。
 - FoD キーの情報をダウンロードするには:
 1. 「**Export (エクスポート)**」をクリックします。
 2. 「このファイルを開く方法」ウィンドウが表示されたら、**Save (保存)** をクリックします。FoD キーはローカル・ファイルに保存されます。

サーバーのサービス・データの管理

このセクションでは、「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページでサーバーのサービス・データを管理する方法について説明します。

手順

- ステップ 1. 「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページにログインします。21 ページの「[「Lenovo Server \(Lenovo サーバー\)」ページへのログイン](#)」を参照してください。
- ステップ 2. 左側のナビゲーション・ペインで、「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」ページで「**Service Data (サービス・データ)**」をクリックします。
「**Service Data (サービス・データ)**」ペインが表示されます。
- ステップ 3. 「**Service Data (サービス・データ)**」ペインで、以下の操作を 1 つ以上実行できます。
 - サービス・データ・ファイルを収集するには、「**Collect Service Data (サービス・データの収集)**」をクリックします。

注：このプロセスには数分かかることがあります。

- サービス・データファイルをダウンロードするには、「**Download Files (ファイルのダウンロード)**」をクリックします。
- サービス・データ・ファイルを削除するには、サービス・データ・ファイルを 1 つ以上選択し、「**Delete (削除)**」をクリックします。
- サービス・データ・ファイルをエクスポートするには、サービス・データ・ファイルを 1 つ以上選択し、「**Export Logs (ログのエクスポート)**」をクリックします。

第 5 章 Server Manager を使用したサーバーの管理

ユーザーは、Server Manager ソリューションで Lenovo XClarity Integrator を使用できます。この章では、Server Manager での Lenovo XClarity Integrator を使用したサーバーの管理方法について説明します。

Server Manager での Lenovo XClarity Integrator への接続

Server Manager でサーバーを管理する前に、ユーザーは Server Manager で Lenovo XClarity Integrator に接続する必要があります。

手順


ステップ 1. Windows Admin Center にログインします。

ステップ 2. 左上隅で、「Windows Admin Center」の右側にあるドロップダウン・リストの矢印  をクリックします。

ステップ 3. 「Server Manager (サーバー・マネージャー)」をクリックします。
「Server connections (サーバー接続)」ページが表示されます。

ステップ 4. 「Server connections (サーバー接続)」ページで、以下の操作を行います。

- ターゲット・サーバーを選択します。
- 「Specify your credentials (資格情報の指定)」ペインが表示されている場合は、既存のアカウントを選択するか、新しいアカウントを入力します。
- 「Continue (続行)」をクリックします。サーバー・ページが表示されます。

ステップ 5. サーバー・ページの左のナビゲーション・ペインで、「Lenovo XClarity Integrator」または  をクリックします。

注：管理対象サーバーが Lenovo サーバーではない場合、Lenovo XClarity Integrator は左側のナビゲーション・バーに表示されません。

Lenovo XClarity Administrator を使用したサーバーの管理

Server Manager の「Lenovo XClarity Integrator」ページに入った後、サーバーが現在管理サーバーによって管理されていないことを示すメッセージが表示される場合があります。このセクションでは、Server Manager で Lenovo XClarity Administrator を使用してサーバーを管理する方法について説明します。

注：サーバーのステータスが「不明」、「保留中」、または「オフライン」ではなく、このサーバーを管理する Lenovo XClarity Administrator が接続されている場合、この Web ページは表示されません。

手順

ステップ 1. Server Manager で Lenovo XClarity Integrator に接続します。33 ページの「Server Manager での Lenovo XClarity Integrator への接続」を参照してください。

ステップ 2. 「Lenovo XClarity Administrator」を選択します。

ステップ 3. 以下の操作を 1 つ以上実行できます。

- 現在登録済みの Lenovo XClarity Administrator に接続するには:
 - 「Connect to a registered XClarity Administrator management server (登録済みの XClarity Administrator 管理サーバーに接続する)」を選択します。
 - 登録済みの Lenovo XClarity Administrator の IP アドレスをドロップダウン・リストから選択します。
 - 「Connect (接続)」をクリックします。

右側に「**Connect to Lenovo XClarity Administrator** (Lenovo XClarity Administrator に接続)」ペインが表示されます。

4. ユーザー名およびパスワードを入力します。指定されたユーザーにユーザー権限があり、役割要件を満たし、必要な操作を実行するための十分なアクセス許可があることを確認します。
5. 「**Submit** (送信)」をクリックします。

注：1 つ以上の Lenovo XClarity Administrators が接続されている場合、ユーザーは1つの Lenovo XClarity Administrator を選択してサーバーを管理できます。

- 接続済みの Lenovo XClarity Administrator を使用してサーバーを管理するには:
 1. 「**Add this server to a connected XClarity Administrator management server** (接続された XClarity Administrator 管理サーバーにこのサーバーを追加する)」を選択します。
 2. 接続済みの Lenovo XClarity Administrator の IP アドレスをドロップダウン・リストから選択します。
 3. 「**Add to** (追加先)」をクリックします。

右側に「**Manage Lenovo Rack or Tower Servers** (Lenovo ラックまたはタワー・サーバーの管理)」ペインが表示されます。

4. BMC IP アドレス、ユーザー名、およびパスワードを入力します。
5. 「**Manage** (管理)」をクリックします。

- 新しい Lenovo XClarity Administrator に接続するには:
 1. 「**Connect to a new XClarity Administrator management server** (新しい XClarity Administrator 管理サーバーへの接続)」を選択します。
 2. 「**Add** (追加)」をクリックします。

右側に「**Connect to Lenovo XClarity Administrator** (Lenovo XClarity Administrator に接続)」ペインが表示されます。

3. IP アドレス、ユーザー名、およびパスワードを入力します。指定されたユーザーにユーザー権限があり、役割要件を満たし、必要な操作を実行するための十分なアクセス許可があることを確認します。
4. 「**Submit** (送信)」をクリックします。

- 接続済みの Lenovo XClarity Administrator を切り離すには:
 1. 「**Disconnect a connected XClarity Administrator management server** (接続済みの XClarity Administrator 管理サーバーとの接続を切断する)」を選択します。
 2. 登録済みの Lenovo XClarity Administrator の IP アドレスをドロップダウン・リストから選択します。
 3. 「**Disconnect** (切り離す)」をクリックします。
操作を確認するためにユーザーに警告ウィンドウが表示されます。
 4. 「**Yes** (はい)」をクリックします。

Lenovo XClarity Administrator を使用しないサーバーの管理

Server Manager の「Lenovo XClarity Integrator」ページに入った後、サーバーが現在管理サーバーによって管理されていないことを示すメッセージが表示される場合があります。このセクションでは、Server Manager でネイティブ OS 管理である Lenovo XClarity Administrator を使用しないでサーバーを管理する方法について説明します。

ネイティブ OS 管理は、Lenovo XClarity Administrator が利用できない場合にハードウェアを管理する方法です。この機能を使用するには、XCC Web GUI にログインし、IPMI over KCS アクセス、Ethernet Over USB、REST/CIM Over HTTPS を有効にしてください。

注：サーバーのステータスが「不明」、「保留中」、または「オフライン」ではなく、このサーバーを管理する Lenovo XClarity Administrator が接続されている場合、この Web ページは表示されません。

手順

ステップ 1. Server Manager で Lenovo XClarity Integrator に接続します。33 ページの「[Server Manager での Lenovo XClarity Integrator への接続](#)」を参照してください。

ステップ 2. 「Native OS Management (ネイティブ OS 管理)」を選択します。

ステップ 3. 「Take Me There (移動します)」をクリックします。
「To enable Native OS Management (ネイティブ OS 管理を有効にするには)」ダイアログが表示されます。

ステップ 4. 続行するには、「OK」をクリックします。

「Initializing applet (アプレットの初期化)」ダイアログが表示されます初期のネイティブ OS 管理の詳細情報を取得するために数分かかります。

ステップ 5. 初期化の後、管理対象サーバーの「Summary (要約)」ページが自動的に表示されます。

ステップ 6. サーバー名の「Data Source (データ・ソース)」フィールドは「Native OS Management (ネイティブ OS 管理)」と表示されます。ユーザーは、「Switch to Lenovo XClarity Administrator (Lenovo XClarity Administrator に切り替える)」リンクをクリックしてサーバーのホーム・ページに戻り、Lenovo XClarity Administrator を追加してこのサーバーを管理できます。

注：

- ネイティブ OS 管理のビューは LXCA 管理対象サーバーのビューと同じですが、アラートの詳細など、一部の詳細情報を使用できない場合があります。使用できない情報については、Lenovo XClarity Administrator の使用を検討してください。
- ネイティブ OS 管理は ThinkServer および ThinkSystem SR635/SR655 サーバーには適用できません。デフォルトでは、Storage Spaces Direct が有効になっているサーバーに対して、ネイティブ OS 管理は無効になっています。Storage Spaces Direct を使用して有効になっているサーバーのネイティブ OS 管理を有効にするには、12 ページの「[ネイティブ OS 管理の構成](#)」を参照してください。

管理対象サーバーの詳細の表示

Server Manager で Lenovo XClarity Integrator に接続すると、ユーザーは管理対象サーバーの詳細を表示できます。詳しくは、21 ページの「[サーバーの管理](#)」を参照してください。

サーバーのファームウェア/ドライバーの更新

「Updates (更新)」ペインには、ファームウェアとドライバーの最良レシピ、最新の更新、およびログの更新が表示されます。

「Updates (更新)」ペインでは、以下の機能がサポートされています。

- 「Best Recipes (Recommended) (最良レシピ (推奨))」

Best Recipe (最良レシピ) はコンプライアンス・ポリシーでもありますが、ファームウェアおよびドライバーの更新も含まれます。この方式では、ユーザーは更新を目的として、レシピからコンポーネントの一部を選択できません。レシピのすべてのコンポーネントが、クラスター内のすべてのサーバーに対して更新されます。

この機能は、特定のサーバー・モデルでのみサポートされています。[特定のサーバー・モデルでサポートされる機能](#)を参照してください。

Best Recipe (最良レシピ) に関する詳細については、[ThinkAgile MX Certified Node Best Recipe \(ThinkAgile MX 認定ノードの最良レシピ\)](#)を参照してください。

- 「Compliance Policies (コンプライアンス・ポリシー)」

コンプライアンス・ポリシーを使用する場合も、ユーザーは、クラスター内の特定のサーバーまたはすべてのサーバーについて、ポリシー内で更新するコンポーネントを判別できます。サーバーが Lenovo XClarity Administrator によって管理されている場合にのみ使用できます。

- 「Latest Updates (最新の更新)」

この方式ではポリシーは使用されません。ユーザーは、更新するコンポーネントごとにターゲット・バージョンを選択する必要があります。ターゲット・バージョンは、現行のインストール済みバージョンより新しいものである必要があります。

- 「Update Logs (ログの更新)」

「Update Logs (ログの更新)」 ペインでは、現在のクラスター・ノードまたはサーバーの更新ジョブの削除、キャンセル、再試行がサポートされています。


手順

ステップ 1. Server Manager で Lenovo XClarity Integrator に接続します。33 ページの「[Server Manager での Lenovo XClarity Integrator への接続](#)」を参照してください。


ステップ 2. 次のいずれかを行います。

- ターゲット・サーバーが管理されていることを確認します。「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」 ページの「Menu (メニュー)」 ペインで、「Update (更新)」 をクリックします。

注：

- ユーザーは 33 ページの「[Lenovo XClarity Administrator を使用したサーバーの管理](#)」または 34 ページの「[Lenovo XClarity Administrator を使用しないサーバーの管理](#)」を参照できます。
- 「Compliance Policies (コンプライアンス・ポリシー)」機能は、Lenovo XClarity Administrator を使用してサーバーを管理している場合にのみサポートされます。
- サーバー・ページの左のナビゲーション・ペインで、「Lenovo XClarity Integrator — Compliance and Updates (Lenovo XClarity Integrator — コンプライアンスおよび更新)」または  をクリックします。


ステップ 3. 「Updates (更新)」 ペインで、以下の更新方式のいずれかを選択します。

- ファームウェア/ドライバー更新に Best Recipe (最良レシピ) を割り当てるには:
 1. 「Best Recipes (Recommended) (最良レシピ (推奨))」 をクリックします。
 2. ドロップダウン・リストから最良レシピを選択し、以下のいずれかを行います。
 - Best Recipe (最良レシピ) のファームウェア/ドライバー更新を表示するには、「Show Best Recipe Definition (最良レシピの定義の表示)」 をクリックします。
 - レシピを最新の情報に更新するには、「Refresh Best Recipe (最良レシピを最新の情報に更新)」 をクリックします。
 - 該当するファームウェア/ドライバーの更新を表示するには、デバイスの前面の  をクリックします。

注：

- コンポーネントの「Compliance (コンプライアンス)」が「Compliant (適合)」の場合、インストール済みバージョンは既にポリシー内のターゲット更新バージョンと同じかそれより上になっています。そのため、「Compliance (コンプライアンス)」が「Not Compliant (非適合)」のコンポーネントを更新することをお勧めします。
- この表では、最良の方法で定義されたコンポーネントのみが示されています。
- 3. 「Install Updates (更新のインストール)」 をクリックします。
- ファームウェア更新のためにコンプライアンス・ポリシーを割り当てるには:
 1. 「Compliance Policies (コンプライアンス・ポリシー)」 をクリックします。
 2. ドロップダウン・リストからポリシーを選択します。

注：

- 「Show Compliance Policy Definition (コンプライアンス・ポリシーの定義の表示)」 をクリックして、ポリシーのファームウェア更新を表示できます。
- デバイスの前面の  をクリックして、ポリシーに該当するファームウェア更新を表示できます。コンポーネントの「Compliance (コンプライアンス)」が



「Compliant (適合)」の場合、インストール済みバージョンは既にポリシー内のターゲット更新バージョンと同じかそれより上になっています。そのため、「Compliance (コンプライアンス)」が「Not Compliant (非適合)」のコンポーネントを更新することをお勧めします。

3. 「Install Updates (更新のインストール)」をクリックします。
- 更新する各コンポーネントのターゲット・バージョンを選択するには:
 1. 「Latest Updates (最新の更新)」をクリックします。
 2. 次のいずれかを行います。
 - 最新のファームウェアおよびドライバ更新を表示するには、「Reload local repository (ローカル・リポジトリの再ロード)」をクリックします。
 - ファームウェアおよびドライバ更新を実行するには、ターゲット・カタログまたはターゲット更新パッケージを選択し、「Install Updates (更新のインストール)」をクリックします。
 - ローカル・リポジトリを管理するには、「Manage local repository (ローカル・リポジトリの管理)」をクリックして、以下のいずれかを行います。
 - カatalogを最新の情報に更新するには、1つ以上のターゲット・カタログを選択し、「Refresh Catalog (カタログを最新の情報に更新)」をクリックします。
 - 更新パッケージをダウンロードするには、1つ以上のターゲット・カタログまたは更新パッケージを選択して、「Download (ダウンロード)」をクリックします。
 - 更新パッケージを削除するには、1つ以上のターゲット・マシン・タイプまたは更新パッケージを選択して、「Delete (削除)」をクリックします。
 - ファームウェア更新またはドライバ更新のみをフィルタリングするには、「Firmware & Driver (ファームウェアとドライバ)」をクリックし、「Firmware (ファームウェア)」または「Driver (ドライバ)」を選択します。
 - Windows または Linux の更新のみをフィルタリングするには、「Windows & Linux (Windows と Linux)」をクリックして、「Windows」または「Linux」を選択します。
- 現在のクラスター・ノードまたはサーバーの更新ジョブを削除、キャンセル、または再試行するには、以下を行います。
 1. 「Update Logs (ログの更新)」をクリックします。
 2. 次のいずれかを行います。
 - 更新ジョブを削除するには、1つ以上の更新ジョブを選択し、「Delete (削除)」をクリックします。
 - 更新ジョブをキャンセルするには、1つ以上のスケジュールされた更新ジョブを選択して、「Cancel (キャンセル)」をクリックします。
 - 更新ジョブを再試行するには、「Failed (失敗)」ステータス、「Stopped (停止)」ステータス、または「Cancelled (キャンセル済み)」ステータスで更新ジョブを選択し、「Retry (再試行)」をクリックします。

ステップ 4. 「Update Selection (更新の選択)」タブで、更新するコンポーネントを選択または選択解除します。

- a. 「Select Items (項目の選択)」ペインで、更新するコンポーネントを選択または選択解除します。

注：

- Select Items (項目の選択) ペインの右上隅で  をクリックして、Preview (プレビュー) ペインを展開するか、 をクリックして、コンポーネントを削除できます。
 - 「Select Items (項目の選択)」ペインおよび「Preview (プレビュー)」ペインの操作がリアルタイムで同期されます。
- b. (オプション) インストール済みバージョンの更新がすでに最新のものであるか、ターゲット・バージョン以降である場合でも、選択したコンポーネントのファームウェア/ドライバを更新するには、「Forced update (強制更新)」を有効にします。

注：

- 以前のバージョンのファームウェアやドライバーは、デバイス・オプション、アダプター、またはディスク・ドライブに適用できません。
- 強制更新は、**Compliance Policy (コンプライアンス・ポリシー)** が使用されている場合にのみ使用できます。

c. 「Next (次へ)」をクリックします。

ステップ 5. 「**Update Download (更新のダウンロード)**」タブで、必要に応じて更新パッケージをダウンロードまたはインポートし、「Next (次へ)」をクリックします。

ステップ 6. **Clustered Roles Migration (クラスター化されたロールの移行)** タブで、Next (次へ) をクリックします。

注意: クラスターが1つのサーバー・ノードのみで構成されている場合は、クラスターの役割を移行できません。移行すると、クラスター化された役割で実行中のものはすべて、クラスター仮想マシンと非クラスター仮想マシンを含め、サーバー・ノードの再起動時に切断されます。

注: 「クラスター化されたロールの移行」は、クラスター内のすべてのサーバーで自動的に有効になります。

「クラスター化されたロールの移行」では、以下のタスクが実行されます。

1. クラスター・ノードを1つ保守モードにし、クラスター・ロールをノードから移動します。
2. システム更新をインストールします。
3. 再起動を実行します。
4. ノードを保守モードから外し、ノードのクラスター・ロールを復元します。
5. 次のクラスター・ノードに移動します。

ステップ 7. **OS Credential (OS 資格情報)** タブで **Credential Needed (資格情報が必要です)** をクリックし、Windows 管理者アカウントのアカウント、ユーザー名、およびパスワードを入力した後、Next (次へ) をクリックします。

注:

- クラスター・ノードの場合、アカウントは、ローカル Administrators グループに含まれる Active Directory ドメイン・アカウントである必要があります。
- 非クラスター・サーバーの場合、アカウントは、ローカル Administrators グループに含まれる Active Directory ドメイン・アカウント、または組み込み管理者アカウントである必要があります。
- 以下の操作が1つ以上必要な場合は、OS 資格情報が必要です。
 - ネイティブ OS 管理モードでのファームウェア/ドライバーの更新
 - クラスター化されたロールの移行

ステップ 8. 「**Options (オプション)**」タブで、更新ジョブに名前を付け、スケジュールします。その後、「Next (次へ)」をクリックします。

ステップ 9. 更新するコンポーネント、ジョブ名、スケジュール、および割り当てられたポリシーがある場合は、「**Summary (要約)**」タブで、更新ジョブに関する情報を確認します。

ステップ 10. 「**Submit (送信)**」をクリックします。

次に、システムは「**Persistent Job (永続的なジョブ)**」ページにナビゲートし、ユーザーは更新ジョブのステータスを確認できます。

注:

- 「**Persistent Job (永続的なジョブ)**」ページ、または更新ウィザードが閉じると、更新ウィザードが開く前にシステムが元のページにナビゲートします。
- いずれかの拡張機能から更新履歴を表示するには、[27 ページの「永続的なジョブの表示」](#)を参照してください。

システム更新リポジトリの管理

このセクションでは、ターゲット・サーバーでのシステム更新リポジトリの管理方法について説明します。

システム更新をダウンロード、バックアップ、または復元するには、[69 ページの第 8 章「システム更新リポジトリの管理」](#)を参照してください。

第 6 章 Cluster Manager を使用したサーバーの管理

ユーザーは、Cluster Manager ソリューションで Lenovo XClarity Integrator を使用できます。この章では、Cluster Manager での Lenovo XClarity Integrator を使用したサーバーの管理方法について説明します。

注：

- Windows Admin Center 1904.1 では、Lenovo XClarity Integrator は Hyper-Converged Cluster Manager と Failover Cluster Manager の両方をサポートしています。
- Windows Admin Center 1910 では、Hyper-Converged Cluster Manager と Failover Cluster Manager が組み合わされているため、Lenovo XClarity Integrator は Cluster Manager をサポートしています。ただし、クラスターで Storage Spaces Direct が有効になっているかどうかによって、機能はやや異なります。

Cluster Manager での Lenovo XClarity Integrator への接続

Cluster Manager でサーバーを管理する前に、Cluster Manager で Lenovo XClarity Integrator に接続する必要があります。

手順


ステップ 1. Windows Admin Center にログインします。

ステップ 2. 左上隅で、「Windows Admin Center」の右側にあるドロップダウン・リストの矢印  をクリックします。

ステップ 3. 「Cluster Manager」をクリックします。
「Cluster connections (クラスター接続)」ページが表示されます。

ステップ 4. 「Cluster connections (クラスター接続)」ページで次の手順を実行します。

- a. クラスターを選択します。
- b. 「Specify your credentials (資格情報の指定)」ペインが表示されている場合は、既存のアカウントを選択するか、新しいアカウントを入力します。
- c. 「Continue (続行)」をクリックします。クラスター・ページが表示されます。

ステップ 5. クラスター・ページの左のナビゲーション・ペインで、「Lenovo XClarity Integrator」または  をクリックします。

注：

- 接続されている Lenovo XClarity Administrators によってすべての管理対象のクラスター・ノードが検出された場合は、Lenovo XClarity Integrator ダッシュボードが表示されます。
- 接続されている Lenovo XClarity Administrator の管理対象ではないクラスター・ノードが検出された場合、Lenovo XClarity Integrator により、Lenovo XClarity Administrator (41 ページの「Lenovo XClarity Administrator を使用したクラスター・ノードの管理」を参照) またはネイティブ OS 管理 (43 ページの「Lenovo XClarity Administrator を使用しないクラスター・ノードの管理」を参照) を使用して管理アプローチを選択するようプロンプトが出されます。

Lenovo XClarity Administrator を使用したクラスター・ノードの管理

Cluster Manager の「Lenovo XClarity Integrator」ページに入った後、1つ以上のサーバーが現在管理サーバーによって管理されていないことを示すメッセージが表示される場合があります。このセクションでは、Cluster Manager で Lenovo XClarity Administrator を使用してクラスター・ノードを管理する方法について説明します。

注：これらのサーバーを管理しているすべての Lenovo XClarity Administrators が接続されている場合、このページは表示されません。

手順


ステップ 1. Cluster Manager で Lenovo XClarity Integrator に接続します。41 ページの「[Cluster Manager での Lenovo XClarity Integrator への接続](#)」を参照してください。

ステップ 2. 「Lenovo XClarity Administrator」を選択します。

ステップ 3. 以下の操作を 1 つ以上実行できます。

- 現在登録済みの Lenovo XClarity Administrator に接続するには:
 1. 「**Connect to a registered XClarity Administrator management server** (登録済みの XClarity Administrator 管理サーバーに接続する)」を選択します。
 2. 登録済みの Lenovo XClarity Administrator の IP アドレスをドロップダウン・リストから選択します。
 3. 「**Connect (接続)**」をクリックします。
右側に「**Connect to Lenovo XClarity Administrator** (Lenovo XClarity Administrator に接続)」ペインが表示されます。
 4. ユーザー名およびパスワードを入力します。指定されたユーザーにユーザー権限があり、役割要件を満たし、必要な操作を実行するための十分なアクセス許可があることを確認します。
 5. 「**Submit (送信)**」をクリックします。

注：1 つ以上の Lenovo XClarity Administrators が接続されている場合、ユーザーは 1 つの Lenovo XClarity Administrator を選択してサーバーを管理できます。

- 接続済みの Lenovo XClarity Administrator を使用してノードを管理するには:
 1. 「**Add nodes to a connected XClarity Administrator management server** (接続された XClarity Administrator 管理サーバーにノードを追加する)」を選択します。
 2. 接続済みの Lenovo XClarity Administrator の IP アドレスをドロップダウン・リストから選択します。
 3. 「**Add to (追加先)**」をクリックします。
右側に「**Manage Lenovo Rack or Tower Servers** (Lenovo ラックまたはタワー・サーバーの管理)」ペインが表示されます。
 4. BMC IP アドレスを入力してから、「追加」アイコン  をクリックし、別の BMC IP アドレスを入力します。すべてのラック・サーバーまたはタワー・サーバーが追加されるまで、このステップを繰り返します。その後、ユーザー名およびパスワードを入力します。

注：すべてのクラスター・ノードを同じ Lenovo XClarity Administrator で管理することをお勧めします。

5. 「**Manage (管理)**」をクリックします。
- 新しい Lenovo XClarity Administrator に接続するには:
 1. 「**Connect to a new XClarity Administrator management server** (新しい XClarity Administrator 管理サーバーへの接続)」を選択します。
 2. 「**Add (追加)**」をクリックします。
右側に「**Connect to Lenovo XClarity Administrator** (Lenovo XClarity Administrator に接続)」ペインが表示されます。
 3. IP アドレス、ユーザー名、およびパスワードを入力します。指定されたユーザーにユーザー権限があり、役割要件を満たし、必要な操作を実行するための十分なアクセス許可があることを確認します。
 4. 「**Submit (送信)**」をクリックします。
 - 接続済みの Lenovo XClarity Administrator を切り離すには:
 1. 「**Disconnect a connected XClarity Administrator management server** (接続済みの XClarity Administrator 管理サーバーとの接続を切断する)」を選択します。

2. 登録済みの Lenovo XClarity Administrator の IP アドレスをドロップダウン・リストから選択します。
3. 「Disconnect (切り離す)」をクリックします。
操作を確認するためにユーザーに警告ウィンドウが表示されます。
4. 「Yes (はい)」をクリックします。

Lenovo XClarity Administrator を使用しないクラスター・ノードの管理

Cluster Manager の「Lenovo XClarity Integrator」ページに入った後、1つ以上のサーバーが現在管理サーバーによって管理されていないことを示すメッセージが表示される場合があります。このセクションでは、Cluster Manager でネイティブ OS 管理である Lenovo XClarity Administrator を使用しないでクラスター・ノードを管理する方法について説明します。

ネイティブ OS 管理は、Lenovo XClarity Administrator が利用できない場合にハードウェアを管理する方法です。この機能を使用するには、XCC Web GUI にログインし、IPMI over KCS アクセス、Ethernet Over USB、REST/CIM Over HTTPS を有効にしてください。

注：これらのサーバーを管理しているすべての Lenovo XClarity Administrators が接続されている場合、このページは表示されません。

手順

- ステップ 1. Cluster Manager で Lenovo XClarity Integrator に接続します。41 ページの「Cluster Manager での Lenovo XClarity Integrator への接続」を参照してください。
- ステップ 2. 「Native OS Management (ネイティブ OS 管理)」を選択します。
- ステップ 3. 「Take Me There (移動します)」をクリックします。
「To enable Native OS Management (ネイティブ OS 管理を有効にするには)」ダイアログが表示されます。
- ステップ 4. 続行するには、「OK」をクリックします。

「Initializing applet (アプレットの初期化)」ダイアログが表示されます初期のネイティブ OS 管理の詳細情報を取得するために数分かかります。

- ステップ 5. 初期化の後、管理対象サーバーの「Dashboard (ダッシュボード)」ページが自動的に表示されます。

注：

- ネイティブ OS 管理のビューは LXCA 管理対象サーバーのビューと同じですが、アラートの詳細など、一部の詳細情報を使用できない場合があります。使用できない情報については、Lenovo XClarity Administrator の使用を検討してください。
- ネイティブ OS 管理は ThinkServer および ThinkSystem SR635/SR655 サーバーには適用できません。デフォルトでは、Storage Spaces Direct が有効になっているサーバーに対して、ネイティブ OS 管理は無効になっています。Storage Spaces Direct を使用して有効になっているサーバーのネイティブ OS 管理を有効にするには、12 ページの「ネイティブ OS 管理の構成」を参照してください。

Disk Manager のクラスター・ノードによって使用されるドライブの管理

このセクションでは、Disk Manager のクラスター・ノードが使用するドライブを管理する方法について説明します。この機能は、特定のサーバー・モデルでのみサポートされています。特定のサーバー・モデルでサポートされる機能を参照してください。

このセクションでは、以下の1つ以上を実行します。

- クラスターのプール、ドライブ、およびサーバーの全体情報を表示する。44 ページの「クラスターのプール、ドライブ、およびサーバーの全体情報の表示」を参照してください。

- サーバーのロケーションLEDをオンまたはオフにする。45 ページの「サーバーのロケーションLEDのオン/オフ」を参照してください。
- ドライブのロケーションLEDをオンまたはオフにする。45 ページの「ドライブのロケーションLEDのオン/オフ」を参照してください。
- ストレージ・プールのドライブを交換する。46 ページの「ストレージ・プールのドライブの交換」を参照してください。
- サーバーからドライブを取り外す。46 ページの「サーバーからのドライブの取り外し」を参照してください。
- プールされていないドライブをストレージ・プールに追加する。47 ページの「ストレージ・プールへのドライブの追加」を参照してください。

「Disk Manager (ディスク・マネージャー)」 ページへのログイン

クラスター内のサーバーで使用されるドライブを管理する前に、ユーザーはまず「Disk Manager (ディスク・マネージャー)」 ページにログインする必要があります。このセクションでは、クラスターの「Disk Server (ディスク・サーバー)」 ページにログインする方法について説明します。

手順

- ステップ 1. Cluster Manager で Lenovo XClarity Integrator に接続します。41 ページの「Cluster Manager での Lenovo XClarity Integrator への接続」を参照してください。
- ステップ 2. Cluster Manager で Lenovo XClarity Administrator に接続します。41 ページの「Lenovo XClarity Administrator を使用したクラスター・ノードの管理」を参照してください。
- ステップ 3. メニューで、「Disk Manager (ディスク・マネージャー)」をクリックします。
「Disk Manager (ディスク・マネージャー)」 ページが表示されます。

「Disk Manager (ディスク・マネージャー)」 ページは、3つのメイン・パネルで構成されます。

- ディスク・リスト: クラスター内のサーバーが使用するすべてのドライブをリストします。ドライブはストレージ・プールによって分類されます。リストから、ドライブのサーバー名、メディア・タイプ、バス・タイプ、ステータス、および容量を照会できます。
- 情報パネル: 選択したドライブ、サーバー、プールに関する詳細を表示します。「Light On (ライト・オン)」、「Light Off (ライト・オフ)」、「Replace (交換)」、「Remove (取り外し)」、「Add to Pool (プールに追加)」などのドライブまたはサーバーに対する操作は、情報パネルでサポートされています。
- グラフィック表示: クラスター内のサーバーの前面図および背面図を表示します。

クラスターのプール、ドライブ、およびサーバーの全体情報の表示

このセクションでは、「Disk Manager (ディスク・マネージャー)」 ページでクラスターのプール、ドライブ、およびサーバーの全体情報を表示する方法について説明します。

手順

- ステップ 1. 「Disk Manager (ディスク・マネージャー)」 ページにログインします。44 ページの「「Disk Manager (ディスク・マネージャー)」 ページへのログイン」を参照してください。
- ステップ 2. 「Disk Manager (ディスク・マネージャー)」 ページでは、以下の操作を1つ以上実行できます。
 - ストレージ・プールの情報を表示するには、プールの名前をクリックします。プールの詳細が左下のパネルに表示されます。

注: 「Non-pooled Drives (プールされていないドライブ)」 をクリックした場合の情報は表示されません。

- ドライブの情報を表示するには、名前をクリックします。ドライブの詳細が左下パネルに表示され、選択したドライブが「Graphical View (グラフィカル・ビュー)」 パネルに強調表示され、ドライブが属するサーバー上の実際の場所を示します。

注：「Graphical View (グラフィック表示)」パネルで特定のドライブ・スロットをクリックすると、ドライブの詳細が左下のパネルに同時に表示され、ユーザーがディスク・リストでドライブを見つけるのに役立ちます。

- サーバーの情報を表示するには、「Graphical View (グラフィック表示)」パネルで、右か左のラッチ、またはサーバーの空のスロットをクリックします。サーバーの詳細が左下のパネルに表示されます。
- サーバーの前面ビューと背面ビューの間で切り替えるには、グラフィカルな表示の右上隅で **=** をクリックします。

サーバーのロケーション LED のオン/オフ

このセクションでは、サーバーを視覚的に見つけるために、「Disk Manager (ディスク・マネージャー)」ページのサーバーのロケーション LED をオンまたはオフにする方法について説明します。

手順

- ステップ 1. 「Disk Manager (ディスク・マネージャー)」ページにログインします。44 ページの「[「Disk Manager \(ディスク・マネージャー\)」ページへのログイン](#)」を参照してください。
- ステップ 2. 「Graphical View (グラフィック表示)」パネルで、ターゲット・サーバーの左か右のラッチ、または空のスロットをクリックします。
サーバーの詳細が左下のパネルに表示されます。
- ステップ 3. 左下のパネルで、「Light On (ライト・オン)」または「Light Off (ライト・オフ)」をクリックして、サーバーの右上隅にあるロケーション LED をオンまたはオフにします。
 - 「Light On (ライト・オン)」をクリックすると、「Graphical View (グラフィカル・ビュー)」パネルでサーバーのロケーション LED がリアルタイムで青色になります。
 - 「Light Off (ライト・オフ)」をクリックすると、「Graphical View (グラフィカル・ビュー)」パネルでサーバーのロケーション LED がリアルタイムで消えます。
 - ロケーション LED のステータスの変更は、リアルタイムに物理サーバーと同期され、サーバーを視覚的に見つけるために役立ちます。

ドライブのロケーション LED のオン/オフ

このセクションでは、ドライブを視覚的に見つけるために、「Disk Manager (ディスク・マネージャー)」ページのドライブのロケーション LED をオンまたはオフにする方法について説明します。


手順

- ステップ 1. 「Disk Manager (ディスク・マネージャー)」ページにログインします。44 ページの「[「Disk Manager \(ディスク・マネージャー\)」ページへのログイン](#)」を参照してください。
- ステップ 2. 左側のディスク・リストで、ターゲット・ドライブの名前をクリックします。
ドライブの詳細が左下のパネルに表示されます。
- ステップ 3. 左下のパネルで、「Light On (ライト・オン)」または「Light Off (ライト・オフ)」をクリックして、ドライブの左下隅にあるロケーション LED のステータスを変更します。
 - 「Light On (ライト・オン)」をクリックすると、「Graphical View (グラフィカル・ビュー)」パネルでドライブのロケーション LED がリアルタイムで黄色に点滅します。
 - 「Light Off (ライト・オフ)」をクリックすると、「Graphical View (グラフィカル・ビュー)」パネルでドライブのロケーション LED がリアルタイムで消えます。
 - ロケーション LED のステータスの変更は、リアルタイムに物理ドライブと同期され、ドライブを視覚的に見つけるために役立ちます。
 - 現在、NVMe ドライブは Disk Manager によるロケーション LED のステータス切り替えをサポートしていません。

ストレージ・プールのドライブの交換


このセクションでは、「Disk Manager (ディスク・マネージャー)」ページで、ストレージ・プールのドライブを交換する方法について説明します。

手順

- ステップ 1. 「Disk Manager (ディスク・マネージャー)」ページにログインします。44 ページの「[「Disk Manager \(ディスク・マネージャー\)」ページへのログイン](#)」を参照してください。
- ステップ 2. 左側のディスク・リストで、ストレージ・プールの下の交換するドライブの名前をクリックします。
ドライブの詳細が左下のパネルに表示されます。
- ステップ 3. 左下のパネルで、「**Replace (交換)**」をクリックします。
「Replace Drive (ドライブの交換)」ウィザードが表示されます。
- ステップ 4. ストレージ・プールから交換するドライブをリタイアします。
 - a. 「**Retire from Storage Pool (ストレージ・プールからのリタイア)**」タブで、グラフィック表示の下の確認ダイアログで「**Yes (はい)**」をクリックします。
ドライブがリタイアされ、プールから取り外されます。完了には時間がかかる場合があります。
 - b. ドライブがストレージ・プールから正常に取り外されたことを示すメッセージが表示された場合は、「**Next (次へ)**」をクリックします。
- ステップ 5. 交換するドライブを引き出し、新しいドライブを挿入します。
 - a. (オプション) 「**Pull Out and Insert (引き出しと挿入)**」タブで、 をクリックして、サーバーまたはディスクのロケーション LED をオンにし、交換するドライブを視覚的に見つけて確認します。
 - b. 交換するドライブをサーバーから取り外し、新しいドライブを挿入します。
 - c. 「**Pull Out and Insert (引き出しと挿入)**」タブに戻り、「**Server Location LED (サーバー・ロケーション LED)**」および「**Disk Location LED (ディスク・ロケーション LED)**」の下にある確認ダイアログで「**Yes (はい)**」をクリックします。

注：処理が完了するまでにしばらく時間がかかる場合があります。ドライブの交換に成功すると、新しいドライブに関する情報が表示されます。

 - d. ドライブが正常に交換されたことを示すメッセージが表示された場合は、「**Next (次へ)**」をクリックします。

新しいドライブがストレージ・プールに自動的に追加されました。
- ステップ 6. **More Operations (その他の操作)** タブで  をクリックして、必要に応じて、すぐにプールのリバランスを開始します。その後、「**Next (次へ)**」をクリックします。
- ステップ 7. 「**Summary (要約)**」タブで、操作の結果を表示します。必要な操作が完了したら、「**Finish (完了)**」をクリックします。

ドライブは正常に新しいドライブと交換されました。


サーバーからのドライブの取り外し

このセクションでは、「Disk Manager (ディスク・、マネージャー)」ページのサーバーからドライブを取り外す方法について説明します。

手順

- ステップ 1. 「Disk Manager (ディスク・マネージャー)」ページにログインします。44 ページの「[「Disk Manager \(ディスク・マネージャー\)」ページへのログイン](#)」を参照してください。

- ステップ2. 左側のディスク・リストで、取り外すドライブの名前をクリックします。
ドライブの詳細が左下のパネルに表示されます。
- ステップ3. 左下のパネルで、「Remove (取り外し)」をクリックします。
「Remove Drive (ドライブの取り外し)」ウィザードが表示されます。
- ステップ4. 次のいずれかを行います。
- 取り外すドライブがストレージ・プール内にはない場合は、「Next (次へ)」を直接クリックして、[47 ページのステップ5](#)に進みます。
 - 取り外すドライブがストレージ・プール内にある場合は、以下の手順に進みます。
 - a. 「Retire from Storage Pool (ストレージ・プールからのリタイア)」タブで、グラフィック表示の下の確認ダイアログで「Yes (はい)」をクリックします。


ドライブがリタイアされ、プールから取り外されます。完了には時間がかかる場合があります。
 - b. ドライブがストレージ・プールから正常に取り外されたことを示すメッセージが表示された場合は、「Next (次へ)」をクリックします。
- ステップ5. ドライブをサーバーから引き出します。
- a. (オプション)「Pull Out (引き出し)」タブで、 をクリックして、サーバーまたはディスクのロケーションLEDをオンにし、取り外すドライブを視覚的に見つけて確認します。
 - b. サーバーからドライブを取り外します。
 - c. 「Pull Out (引き出し)」タブに戻り、「Next (次へ)」をクリックします。
- ステップ6. 「Summary (要約)」タブで、操作の結果を表示します。必要な操作が完了したら、「Finish (完了)」をクリックします。

ドライブがサーバーから正常に取り外されました。

ストレージ・プールへのドライブの追加

このセクションでは、「Disk Manager (ディスク・マネージャー)」ページで、プールされていないドライブをストレージ・プールに追加する方法について説明します。

手順

- ステップ1. 「Disk Manager (ディスク・マネージャー)」ページにログインします。[44 ページの「Disk Manager \(ディスク・マネージャー\) ページへのログイン」](#)を参照してください。
- ステップ2. 左側のディスク・リストで、ストレージ・プールに追加するドライブの名前をクリックします。
ドライブの詳細が左下のパネルに表示されます。
- ステップ3. 左下のパネルで、「Add to Pool (プールに追加)」をクリックします。
「Add Drive to Pool (ドライブをプールに追加)」ウィザードが表示されます。
- ステップ4. ターゲットのプールを選択します。
- a. 「Select a pool (プールの選択)」ドロップダウン・リストからターゲットのプールを選択して、「Add (追加)」をクリックします。
 - b. ドライブがストレージ・プールに正常に追加されたことを示すメッセージが表示された場合は、「Next (次へ)」をクリックします。
- ステップ5. **More operation (その他の操作)** タブで をクリックして、必要に応じて、すぐにプールのリバランスを開始します。その後、「Next (次へ)」をクリックします。
- ステップ6. 「Summary (要約)」タブで、操作の結果を表示します。必要な操作が完了したら、「Finish (完了)」をクリックします。

ドライブがストレージ・プールに正常に追加されました。

Lenovo Cluster Dashboard の操作

Lenovo XClarity Integrator に接続すると、ユーザーは、Lenovo Cluster Dashboard から、すべての管理対象 Lenovo サーバー、パワー・サプライ、ファン、ファームウェアの整合性、最新のアクティブ・アラート、およびクラスター・ノードの電力消費量と温度の状態を表示できます。

「Dashboard (ダッシュボード)」ページには、以下の領域が表示されます。

- **Servers (サーバー):** 48 ページの「[クラスター・ノードの管理](#)」を参照してください。
- **Alerts (アラート):** 48 ページの「[アラートの管理](#)」を参照してください。
- **Firmware Consistency (ファームウェアの整合性):** 49 ページの「[ファームウェアの整合性の管理](#)」を参照してください。
- **Cluster Power Consumption (クラスターの電力消費量):** 49 ページの「[クラスターの電力消費量の管理](#)」を参照してください。
- **System Temperature (Inlet) (システム温度 (入口)):** 49 ページの「[システム温度の管理](#)」を参照してください。
- **Power Supplies (電源機構):** 49 ページの「[パワー・サプライの管理](#)」を参照してください。
- **Processor Cores (プロセッサ・コア):** 63 ページの「[プロセッサ・コアの管理](#)」を参照してください。
- **Fans (ファン):** 50 ページの「[ファンの管理](#)」を参照してください。

クラスター・ノードの管理

「Servers (サーバー)」領域には、すべてのクラスター・ノードの全体ステータスが表示されます。

以下の操作を 1 つ以上実行できます。

- 「重大」、「警告」、「正常」、または「不明」ステータスのクラスター・ノードを表示するには、「Status (ステータス)」列の番号をクリックします。
- すべてのクラスター・ノードの全体ステータスを表示、またはクラスター・ノードを管理するには。
 1. 「VIEW ALL (すべて表示)」をクリックします。「Servers (サーバー)」ページが表示されます。
 2. 「Servers (サーバー)」ページで、以下の操作を 1 つ以上実行できます。
 - クラスター・ノードのリモート制御を起動するには、クラスター・ノードを選択し、「Launch Remote Control (リモート制御の起動)」をクリックします。

注：このアクションは、ネイティブ OS 管理モードではサポートされていません。

- クラスター・ノードのアラートを表示するには、このクラスター・ノードの正常性ステータスをクリックします。
- クラスター・ノードの全体情報を表示するには、このクラスター・ノードの BMC ホスト名をクリックします。
- クラスター・ノードの詳細を表示するには、「Servers (サーバー)」ページで「Customize Columns (列のカスタマイズ)」をクリックし、ターゲット列を 1 つ以上選択して、「Servers (サーバー)」ページに戻ります。

アラートの管理

「Alerts (アラート)」領域には、すべてのクラスター・ノードの最新の 3 つのアラートが表示されます。

以下の操作を 1 つ以上実行できます。

- 最新のアラートを表示するには、イベント ID (メッセージ ID) のリンクをクリックします。
- クラスター・ノードのすべてのアラートを表示するには：
 1. 「VIEW ALL (すべて表示)」をクリックします。「Alerts (アラート)」ページが表示されます。
 2. 「Alerts (アラート)」ページで、以下の 1 つ以上の操作を行うことができます。
 - アラートの詳細を表示するには、このアラートをクリックします。
 - CSV ファイルとしてアラート情報をエクスポートするには、Export (エクスポート) をクリックします。

- アラートの詳細を表示するには、「Alerts (アラート)」ページで「Customize Columns (列のカスタマイズ)」をクリックし、ターゲット列を1つ以上選択して、「Alerts (アラート)」ページに戻ります。

ファームウェアの整合性の管理

「Firmware Consistency (ファームウェアの整合性)」領域がファームウェアのバージョンが同じであることを示します。

ファームウェアの整合性レポートを表示するには、「VIEW DETAILS (詳細の表示)」をクリックします。

注：

- すべてのクラスター・ノードで、同じハードウェア・コンポーネント・コントローラー内の、同じバージョンのファームウェアを使用することをお勧めします。
- ファームウェアの整合性レポートには、Hyper-Converged Cluster の一貫性インジケータである BMC、UEFI、HBA、および Storage NIC のファームウェア・バージョンが表示されます。BMC および UEFI のファームウェア・バージョンは、Failover Cluster の一貫性インジケータです。ターゲット・クラスター・ノードで BMC、UEFI、HBA、および Storage NIC が構成されていない場合、またはファームウェアのバージョンが該当しないか使用できない場合、クラスター・ノード間でファームウェアのバージョンは一致していません。
- 各ハードウェア・コンポーネント・コントローラーのデフォルトのベースライン・ファームウェア・バージョンが最も重要なバージョンです。ユーザーは、いずれかをベースラインとして選択できます。

クラスター・ノードのファームウェアを更新するには、50 ページの「[クラスター・ノードのファームウェア/ドライバの更新](#)」を参照してください。

クラスターの電力消費量の管理

「Cluster Power Consumption (クラスターの電力消費量)」領域には、クラスター・ノードの平均電力消費量が表示されます。

ユーザーは、「Cluster Power Consumption (クラスターの電力消費量)」タブをクリックして、クラスター・ノードの平均電力消費量を表示できます。

システム温度の管理

「System Temperature (Inlet) (システム温度 (入口))」領域には、クラスター・ノードの平均温度が表示されます。

以下の操作を1つ以上実行できます。

- クラスター・ノードの平均温度を表示するには、「System Temperature (Inlet) (システム温度 (入口))」タブをクリックします。
- 摂氏と華氏の表示を切り替えるには、「System Temperature (Inlet) (システム温度 (入口))」タブをク

リックし、右上隅の温度ボタン  °C または  °F をクリックします。

パワー・サプライの管理

「Power Supplies (電源機構)」領域には、すべてのクラスター・ノードのパワー・サプライの全体ステータスが表示されます。

以下の操作を1つ以上実行できます。

- 「重大」、「警告」、「正常」、または「不明」ステータスのパワー・サプライを表示するには、「Status (ステータス)」列の番号をクリックします。
- すべてのパワー・サプライの全体ステータスを表示するには:

1. 「VIEW ALL (すべて表示)」をクリックします。「Power Supplies (電源機構)」ページが表示されます。
2. 「Power Supplies (電源機構)」ページでは、以下の1つ以上の操作を行うことができます:
 - クラスタ・ノードの全体情報を表示するには、このクラスタ・ノードのBMCホスト名をクリックします。
 - クラスタ・ノードのパワー・サプライの正常性ステータスを表示するには、このクラスタ・ノードのステータスをクリックします。
 - パワー・サプライの詳細を表示するには、「Power Supplies (電源機構)」ページで「Customize Columns (列のカスタマイズ)」をクリックし、ターゲット列を1つ以上選択して、「Power Supplies (電源機構)」ページに戻ります。

ファンの管理

「Fans (ファン)」領域には、クラスタ・ノードのすべてのファンの全体ステータスが表示されます。

以下の操作を1つ以上実行できます。

- 「重大」、「警告」、「正常」、または「不明」ステータスのファンを表示するには、「Status (ステータス)」列の番号をクリックします。
- すべてのクラスタ・ノードのファンの全体ステータスを表示するには:
 1. 「VIEW ALL (すべて表示)」をクリックします。「Fans (ファン)」ページが表示されます。
 2. 「Fans (ファン)」ページで、以下の1つ以上を実行することができます。
 - クラスタ・ノードの全体情報を表示するには、このクラスタ・ノードのBMCホスト名をクリックします。
 - クラスタ・ノードのファンの正常性ステータスを表示するには、このクラスタ・ノードのステータスをクリックします。
 - ファンの詳細を表示するには、「Fans (ファン)」ページで、「Customize Columns (列のカスタマイズ)」をクリックし、ターゲット列を1つ以上選択して、「Fans (ファン)」ページに戻ります。

クラスタ・ノードのファームウェア/ドライバーの更新

Windows Admin Center 1910 では、Hyper-Converged Cluster Manager と Failover Cluster Manager は、Cluster Manager ソリューションに組み合わされています。このセクションでは、「Best Recipes (Recommended) (最良レシピ (推奨))」、「Compliance Policies (コンプライアンス・ポリシー)」、または「Latest Updates (最新の更新)」を使用して Cluster Manager でクラスタ・ノードのファームウェア/ドライバーを更新する方法を説明します。「Updates (更新)」ペインには、ファームウェアとドライバーの最良レシピ、最新の更新、クラスタの整合性、およびログの更新が表示されます。

「Updates (更新)」ペインでは、以下の機能がサポートされています。

- 「Best Recipes (Recommended) (最良レシピ (推奨))」

Best Recipe (最良レシピ) はコンプライアンス・ポリシーでもありますが、ファームウェアおよびドライバーの更新も含まれます。この方式では、ユーザーは更新を目的として、レシピからコンポーネントの一部を選択できません。レシピのすべてのコンポーネントが、クラスタ内のすべてのサーバーに対して更新されます。

この機能は、特定のサーバー・モデルでのみサポートされています。[特定のサーバー・モデルでサポートされる機能](#)を参照してください。

Best Recipe (最良レシピ) に関する詳細については、[ThinkAgile MX Certified Node Best Recipe \(ThinkAgile MX 認定ノードの最良レシピ\)](#)を参照してください。

- 「Compliance Policies (コンプライアンス・ポリシー)」

コンプライアンス・ポリシーを使用する場合も、ユーザーは、クラスタ内の特定のサーバーまたはすべてのサーバーについて、ポリシー内で更新するコンポーネントを判別できます。サーバーが Lenovo XClarity Administrator によって管理されている場合にのみ使用できます。

- 「Latest Updates (最新の更新)」

この方式ではポリシーは使用されません。ユーザーは、更新するコンポーネントごとにターゲット・バージョンを選択する必要があります。ターゲット・バージョンは、現行のインストール済みバージョンより新しいものである必要があります。

- 「Cluster Consistency (クラスタの整合性)」

「Cluster Consistency (クラスタの整合性)」 ペインでは、クラスタ・ノード全体でファームウェア・バージョンの整合性を検査できます。

- 「Update Logs (ログの更新)」

「Update Logs (ログの更新)」 ペインでは、現在のクラスタ・ノードまたはサーバーの更新ジョブの削除、キャンセル、再試行がサポートされています。

手順

ステップ 1. Cluster Manager で Lenovo XClarity Integrator に接続します。41 ページの「Cluster Manager での Lenovo XClarity Integrator への接続」を参照してください。

ステップ 2. 次のいずれかを行います。

- ターゲット・サーバーが管理されていることを確認します。「Lenovo Server (Lenovo サーバー)」 ページの「Menu (メニュー)」 ペインで、「Update (更新)」 をクリックします。

注：

- ユーザーは 41 ページの「Lenovo XClarity Administrator を使用したクラスタ・ノードの管理」 および 43 ページの「Lenovo XClarity Administrator を使用しないクラスタ・ノードの管理」を参照できます。
- 「Compliance Policies (コンプライアンス・ポリシー)」機能は、Lenovo XClarity Administrator を使用してサーバーを管理している場合にのみサポートされます。
- サーバー・ページの左のナビゲーション・ペインで、「Lenovo XClarity Integrator — Compliance and Updates (Lenovo XClarity Integrator — コンプライアンスおよび更新)」または **XC** をクリックします。

ステップ 3. 「Updates (更新)」 ペインで、以下の更新方式のいずれかを選択します。


- ファームウェア/ドライバ更新に Best Recipe (最良レシピ) を割り当てるには:
 1. 「Best Recipes (Recommended) (最良レシピ (推奨))」 をクリックします。
 2. ドロップダウン・リストから最良レシピを選択し、以下のいずれかを行います。
 - Best Recipe (最良レシピ) のファームウェア/ドライバ更新を表示するには、「Show Best Recipe Definition (最良レシピの定義の表示)」 をクリックします。
 - レシピを最新の情報に更新するには、「Refresh Best Recipe (最良レシピを最新の情報に更新)」 をクリックします。
 - 該当するファームウェア/ドライバの更新を表示するには、デバイスの前面の **>** をクリックします。

注：

- コンポーネントの「Compliance (コンプライアンス)」が「Compliant (適合)」の場合、インストール済みバージョンは既にポリシー内のターゲット更新バージョンと同じかそれより上になっています。そのため、「Compliance (コンプライアンス)」が「Not Compliant (非適合)」のコンポーネントを更新することをお勧めします。
 - この表では、最良の方法で定義されたコンポーネントのみが示されています。
- 3. 「Install Updates (更新のインストール)」 をクリックします。
- ファームウェア更新のためにコンプライアンス・ポリシーを割り当てるには:
 1. 「Compliance Policies (コンプライアンス・ポリシー)」 をクリックします。
 2. ドロップダウン・リストからポリシーを選択します。

注：



- 「Show Compliance Policy Definition (コンプライアンス・ポリシーの定義の表示)」 をクリックして、ポリシーのファームウェア更新を表示できます。

- デバイスの前面の  をクリックして、ポリシーに該当するファームウェア更新を表示できます。コンポーネントの「**Compliance (コンプライアンス)**」が「**Compliant (適合)**」の場合、インストール済みバージョンは既にポリシー内のターゲット更新バージョンと同じかそれより上になっています。そのため、「**Compliance (コンプライアンス)**」が「**Not Compliant (非適合)**」のコンポーネントを更新することをお勧めします。
- 3. 「**Install Updates (更新のインストール)**」をクリックします。
- 更新する各コンポーネントのターゲット・バージョンを選択するには:
 1. 「**Latest Updates (最新の更新)**」をクリックします。
 2. 次のいずれかを行います。
 - 最新のファームウェアおよびドライバー更新を表示するには、「**Reload local repository (ローカル・リポジトリの再ロード)**」をクリックします。
 - ファームウェアおよびドライバー更新を実行するには、ターゲット・カタログまたはターゲット更新パッケージを選択し、「**Install Updates (更新のインストール)**」をクリックします。
 - ローカル・リポジトリを管理するには、「**Manage local repository (ローカル・リポジトリの管理)**」をクリックして、以下のいずれかを行います。
 - カatalogを最新の情報に更新するには、1つ以上のターゲット・カタログを選択し、「**Refresh Catalog (カタログを最新の情報に更新)**」をクリックします。
 - 更新パッケージをダウンロードするには、1つ以上のターゲット・カタログまたは更新パッケージを選択して、「**Download (ダウンロード)**」をクリックします。
 - 更新パッケージを削除するには、1つ以上のターゲット・マシン・タイプまたは更新パッケージを選択して、「**Delete (削除)**」をクリックします。
 - ファームウェア更新またはドライバー更新のみをフィルタリングするには、「**Firmware & Driver (ファームウェアとドライバー)**」をクリックし、「**Firmware (ファームウェア)**」または「**Driver (ドライバー)**」を選択します。
 - Windows または Linux の更新のみをフィルタリングするには、「**Windows & Linux (Windows と Linux)**」をクリックして、「**Windows**」または「**Linux**」を選択します。
- クラスター・ノード間のファームウェア・バージョンの整合性を確認するには、「**Cluster Consistency (クラスターの整合性)**」をクリックし、BMC と UEFI のベースを選択してファームウェア・バージョンの整合性を確認します。
- 現在のクラスター・ノードまたはサーバーの更新ジョブを削除、キャンセル、または再試行するには、以下を行います。
 1. 「**Update Logs (ログの更新)**」をクリックします。
 2. 次のいずれかを行います。
 - 更新ジョブを削除するには、1つ以上の更新ジョブを選択し、「**Delete (削除)**」をクリックします。
 - 更新ジョブをキャンセルするには、1つ以上のスケジュールされた更新ジョブを選択して、「**Cancel (キャンセル)**」をクリックします。
 - 更新ジョブを再試行するには、「**Failed (失敗)**」ステータス、「**Stopped (停止)**」ステータス、または「**Cancelled (キャンセル済み)**」ステータスで更新ジョブを選択し、「**Retry (再試行)**」をクリックします。

ステップ 4. 「**Update Selection (更新の選択)**」タブで、更新するコンポーネントを選択または選択解除します。

- a. 「**Select Items (項目の選択)**」ペインで、更新するコンポーネントを選択または選択解除します。

注：

- **Select Items (項目の選択)** ペインの右上隅で  をクリックして、**Preview (プレビュー)** ペインを展開するか、 をクリックして、コンポーネントを削除できます。
- 「**Select Items (項目の選択)**」ペインおよび「**Preview (プレビュー)**」ペインの操作がリアルタイムで同期されます。

- b. (オプション) インストール済みバージョンの更新がすでに最新のものであるか、ターゲット・バージョン以降である場合でも、選択したコンポーネントのファームウェア/ドライバーを更新するには、「**Forced update (強制更新)**」を有効にします。

注：

- 以前のバージョンのファームウェアやドライバーは、デバイス・オプション、アダプター、またはディスク・ドライブに適用できません。
- 強制更新は、**Compliance Policy (コンプライアンス・ポリシー)** が使用されている場合にのみ使用できます。

- c. 「**Next (次へ)**」をクリックします。

ステップ 5. 「**Update Download (更新のダウンロード)**」タブで、必要に応じて更新パッケージをダウンロードまたはインポートし、「**Next (次へ)**」をクリックします。

ステップ 6. **Clustered Roles Migration (クラスター化されたロールの移行)** タブで、**Next (次へ)** をクリックします。

注意：クラスターが1つのサーバー・ノードのみで構成されている場合は、クラスターの役割を移行できません。移行すると、クラスター化された役割で実行中のものはすべて、クラスター仮想マシンと非クラスター仮想マシンを含め、サーバー・ノードの再起動時に切断されます。

注：「クラスター化されたロールの移行」は、クラスター内のすべてのサーバーで自動的に有効になります。

「クラスター化されたロールの移行」では、以下のタスクが実行されます。

1. クラスター・ノードを1つ保守モードにし、クラスター・ロールをノードから移動します。
2. システム更新をインストールします。
3. 再起動を実行します。
4. ノードを保守モードから外し、ノードのクラスター・ロールを復元します。
5. 次のクラスター・ノードに移動します。

ステップ 7. **OS Credential (OS 資格情報)** タブで **Credential Needed (資格情報が必要です)** をクリックし、Windows 管理者アカウントのアカウント、ユーザー名、およびパスワードを入力した後、**Next (次へ)** をクリックします。

注：

- クラスター・ノードの場合、アカウントは、ローカル Administrators グループに含まれる Active Directory ドメイン・アカウントである必要があります。
- 非クラスター・サーバーの場合、アカウントは、ローカル Administrators グループに含まれる Active Directory ドメイン・アカウント、または組み込み管理者アカウントである必要があります。
- 以下の操作が1つ以上必要な場合は、OS 資格情報が必要です。
 - ネイティブ OS 管理モードでのファームウェア/ドライバーの更新
 - クラスター化されたロールの移行

ステップ 8. 「**Options (オプション)**」タブで、更新ジョブに名前を付け、スケジュールします。その後、「**Next (次へ)**」をクリックします。

ステップ 9. 更新するコンポーネント、ジョブ名、スケジュール、および割り当てられたポリシーがある場合は、「**Summary (要約)**」タブで、更新ジョブに関する情報を確認します。

ステップ 10. 「**Submit (送信)**」をクリックします。

次に、システムは「**Persistent Job (永続的なジョブ)**」ページにナビゲートし、ユーザーは更新ジョブのステータスを確認できます。

注：

- 「Persistent Job (永続的なジョブ)」 ページ、または更新ウィザードが閉じると、更新ウィザードが開く前にシステムが元のページにナビゲートします。
- いずれかの拡張機能から更新履歴を表示するには、[27 ページの「永続的なジョブの表示」](#)を参照してください。

Azure Stack HCI クラスタを作成する場合のファームウェア/ドライバーの更新

Lenovo XClarity Integrator は、Microsoft の Azure Stack HCI ソリューションに統合し、ドライバーおよびファームウェア更新のためのスナップインを提供しています。Windows Admin Center で Azure Stack HCI クラスタを作成すると、クラスタ・ノードのファームウェアとドライバーを更新できます。

Azure Stack HCI クラスタ・ノードのファームウェア/ドライバーを更新するには、以下の操作を行います。

1. Lenovo が提供する「Install hardware updates (ハードウェア更新のインストール)」 ページにログインします。[54 ページの「「Install hardware updates \(ハードウェア更新のインストール\)」 ページへのログイン」](#)を参照してください。
2. 必要に応じて、管理方法を選択します。[55 ページの「Lenovo XClarity Administrator を使用した Azure Stack HCI クラスタ・ノードの管理」](#)または[56 ページの「Lenovo XClarity Administrator を使用しない Azure Stack HCI クラスタ・ノードの管理」](#)を参照してください。
3. クラスタ・ノード上でファームウェア/ドライバーの更新を実行します。[56 ページの「Azure Stack HCI クラスタ・ノードのファームウェア/ドライバーの更新」](#)を参照してください。

「Install hardware updates (ハードウェア更新のインストール)」 ページへのログイン

Windows Admin Center で Azure Stack HCI クラスタを作成する場合にクラスタ・ノードのファームウェアとドライバーを更新するには、まず「Install hardware updates (ハードウェア更新のインストール)」 ページにログインします。

手順

- ステップ 1. Windows Admin Center にログインします。
- ステップ 2. 「All Connections (すべての接続)」 ページで「Add (追加)」をクリックします。
「Add or create resources (リソースの追加または作成)」 ページが表示されます。
- ステップ 3. 「Sever clusters (サーバー・クラスタ)」 ペインで、「Create new (新規作成)」をクリックします。
- ステップ 4. 「Azure Stack HCI」 をクリックします。
「Deploy an Azure Stack HCI cluster (Azure Stack HCI クラスタのデプロイ)」 ページが表示されます。
- ステップ 5. 必要に応じて、「1.1 Check the prerequisites (1.1 前提条件の確認)」 タブ、「1.2 Add servers (1.2 サーバーの追加)」 タブ、「1.3 Join a domain (1.3 ドメインに参加)」 タブ、「1.4 Install features (1.4 機能の追加)」 タブ、および「1.5 Install updates (1.5 更新をインストールします。)」 タブの操作を完了します。
「1.6 Install hardware updates (1.6 ハードウェア更新のインストール)」 タブが表示されます。
- ステップ 6. 「1.6 Install hardware updates (1.6 ハードウェア更新のインストール)」 タブで、「Get updates (更新の取得)」 をクリックします。

ユーザーは、必要な管理方法を選択するか、クラスタ・ノードでファームウェア/ドライバーの更新を実行することができます。[55 ページの「Lenovo XClarity Administrator を使用した Azure Stack HCI クラスタ・ノードの管理」](#)または[56 ページの「Lenovo XClarity Administrator を使用しない Azure Stack HCI クラスタ・ノードの管理」](#)を参照してください。

Lenovo XClarity Administrator を使用した Azure Stack HCI クラスタースター・ノードの管理

Windows Admin Center の「Solution updates (ソリューションの更新)」ページに入ると、1つ以上のサーバーが現在管理サーバーによって管理されていないことを示すメッセージが表示される場合があります。このセクションでは、Azure Stack HCI クラスタースターを作成するときに、Lenovo XClarity Administrator を使用して Azure Stack HCI クラスタースターを管理する方法について説明します。

これらのサーバーを管理しているすべての Lenovo XClarity Administrators が接続されている場合、このページは表示されません。

手順


ステップ 1. 「Solution updates (ソリューションの更新)」ページにログインします。54 ページの「[「Install hardware updates \(ハードウェア更新のインストール\)」ページへのログイン](#)」を参照してください。

ステップ 2. 「Lenovo XClarity Administrator」を選択します。

ステップ 3. 以下の操作を 1 つ以上実行できます。

- 現在登録済みの Lenovo XClarity Administrator に接続するには:
 1. 「Connect to a registered XClarity Administrator management server (登録済みの XClarity Administrator 管理サーバーに接続する)」を選択します。
 2. 登録済みの Lenovo XClarity Administrator の IP アドレスをドロップダウン・リストから選択します。
 3. 「Connect (接続)」をクリックします。
右側に「Connect to Lenovo XClarity Administrator (Lenovo XClarity Administrator に接続)」ペインが表示されます。
 4. ユーザー名およびパスワードを入力します。指定されたユーザーにユーザー権限があり、役割要件を満たし、必要な操作を実行するための十分なアクセス許可があることを確認します。
 5. 「Submit (送信)」をクリックします。

注：1 つ以上の Lenovo XClarity Administrators が接続されている場合、ユーザーは 1 つの Lenovo XClarity Administrator を選択してサーバーを管理できます。

- 接続済みの Lenovo XClarity Administrator を使用してノードを管理するには:
 1. 「Add nodes to a connected XClarity Administrator management server (接続された XClarity Administrator 管理サーバーにノードを追加する)」を選択します。
 2. 接続済みの Lenovo XClarity Administrator の IP アドレスをドロップダウン・リストから選択します。
 3. 「Add to (追加先)」をクリックします。
右側に「Manage Lenovo Rack or Tower Servers (Lenovo ラックまたはタワー・サーバーの管理)」ペインが表示されます。
 4. BMC IP アドレスを入力してから、「追加」アイコン  をクリックし、別の BMC IP アドレスを入力します。すべてのラック・サーバーまたはタワー・サーバーが追加されるまで、このステップを繰り返します。その後、ユーザー名およびパスワードを入力します。

注：すべてのクラスタースター・ノードを同じ Lenovo XClarity Administrator で管理することをお勧めします。

- 新しい Lenovo XClarity Administrator に接続するには:
 1. 「Connect to a new XClarity Administrator management server (新しい XClarity Administrator 管理サーバーへの接続)」を選択します。
 2. 「Add (追加)」をクリックします。
右側に「Connect to Lenovo XClarity Administrator (Lenovo XClarity Administrator に接続)」ペインが表示されます。

3. IP アドレス、ユーザー名、およびパスワードを入力します。指定されたユーザーにユーザー権限があり、役割要件を満たし、必要な操作を実行するための十分なアクセス許可があることを確認します。
4. 「**Submit** (送信)」をクリックします。
- 接続済みの Lenovo XClarity Administrator を切り離すには:
 1. 「**Disconnect a connected XClarity Administrator management server** (接続済みの XClarity Administrator 管理サーバーとの接続を切断する)」を選択します。
 2. 登録済みの Lenovo XClarity Administrator の IP アドレスをドロップダウン・リストから選択します。
 3. 「**Disconnect** (切り離す)」をクリックします。
操作を確認するためにユーザーに警告ウィンドウが表示されます。
 4. 「**Yes** (はい)」をクリックします。

Lenovo XClarity Administrator を使用しない Azure Stack HCI クラスタースタック・ノードの管理

Windows Admin Center の「Solution updates (ソリューションの更新)」ページに入ると、1つ以上のサーバーが現在管理サーバーによって管理されていないことを示すメッセージが表示される場合があります。このセクションでは、Azure Stack HCI クラスタースタックを作成するときに、Lenovo XClarity Administrator、つまりネイティブ OS を管理を使用しないで Azure Stack HCI クラスタースタックを管理する方法について説明します。

ネイティブ OS 管理は、Lenovo XClarity Administrator が利用できない場合にハードウェアを管理する方法です。この機能を使用するには、XCC Web GUI にログインし、IPMI over KCS アクセス、Ethernet Over USB、REST/CIM Over HTTPS を有効にしてください。

注：これらのサーバーを管理しているすべての Lenovo XClarity Administrators が接続されている場合、このページは表示されません。

手順

- ステップ 1. 「Solution updates (ソリューションの更新)」ページにログインします。54 ページの「[「Install hardware updates \(ハードウェア更新のインストール\)」ページへのログイン](#)」を参照してください。
- ステップ 2. 「Native OS Management (ネイティブ OS 管理)」を選択します。
- ステップ 3. 「Take Me There (移動します)」をクリックします。
「To enable Native OS Management (ネイティブ OS 管理を有効にするには)」ダイアログが表示されます。
- ステップ 4. 続行するには、「OK」をクリックします。

「Initializing applet (アプレットの初期化)」ダイアログが表示されます初期のネイティブ OS 管理の詳細情報を取得するために数分かかります。

- ステップ 5. 初期化が完了すると、「System Update (システム更新)」ページが表示され、クラスタースタック・ノードに対してファームウェア/ドライバ更新を実行することができます。

注：ネイティブ OS 管理は ThinkServer および ThinkSystem SR635/SR655 サーバーには適用できません。デフォルトでは、Storage Spaces Direct が有効になっているサーバーに対して、ネイティブ OS 管理は無効になっています。Storage Spaces Direct を使用して有効になっているサーバーのネイティブ OS 管理を有効にするには、12 ページの「[ネイティブ OS 管理の構成](#)」を参照してください。

Azure Stack HCI クラスタースタック・ノードのファームウェア/ドライバの更新

Windows Admin Center で Azure Stack HCI クラスタースタックを作成する場合、ユーザーは「Best Recipes (Recommended) (最良レシピ (推奨))」、「Compliance Policies (コンプライアンス・ポリシー)」

または「Latest Updates (最新の更新)」を使用してクラスター・ノードのファームウェアおよびドライバを更新できます。

「Updates (更新)」ペインでは、以下の機能がサポートされています。

- 「Best Recipes (Recommended) (最良レシピ (推奨))」

Best Recipe (最良レシピ) はコンプライアンス・ポリシーでもありますが、ファームウェアおよびドライバの更新も含まれます。この方式では、ユーザーは更新を目的として、レシピからコンポーネントの一部を選択できません。レシピのすべてのコンポーネントが、クラスター内のすべてのサーバーに対して更新されます。

この機能は、特定のサーバー・モデルでのみサポートされています。特定のサーバー・モデルでサポートされる機能を参照してください。

Best Recipe (最良レシピ) に関する詳細については、[ThinkAgile MX Certified Node Best Recipe](#) (ThinkAgile MX 認定ノードの最良レシピ) を参照してください。

- 「Compliance Policies (コンプライアンス・ポリシー)」

コンプライアンス・ポリシーを使用する場合も、ユーザーは、クラスター内の特定のサーバーまたはすべてのサーバーについて、ポリシー内で更新するコンポーネントを判別できます。サーバーが Lenovo XClarity Administrator によって管理されている場合にのみ使用できます。

- 「Latest Updates (最新の更新)」

この方式ではポリシーは使用されません。ユーザーは、更新するコンポーネントごとにターゲット・バージョンを選択する必要があります。ターゲット・バージョンは、現行のインストール済みバージョンより新しいものである必要があります。


- 「Update Logs (ログの更新)」

「Update Logs (ログの更新)」ペインでは、現在のクラスター・ノードまたはサーバーの更新ジョブの削除、キャンセル、再試行がサポートされています。

手順

ステップ 1. 「Solution updates (ソリューションの更新)」 ページにログインします。54 ページの「[Install hardware updates \(ハードウェア更新のインストール\)](#)」 ページへのログイン」 を参照してください。

ステップ 2. すべてのクラスター・ノードが管理されていることを確認します。55 ページの「[Lenovo XClarity Administrator を使用した Azure Stack HCI クラスター・ノードの管理](#)」 または 56 ページの「[Lenovo XClarity Administrator を使用しない Azure Stack HCI クラスター・ノードの管理](#)」 を参照してください。
システム更新ウィザードが表示されます。

注：システム更新ウィザードで、右上隅の  をクリックして、インベントリを同期できます。この機能は、22 ページの「[サーバーのインベントリの同期](#)」 と同じです。


ステップ 3. 以下のいずれかの更新方法を選択してください。

- ファームウェア/ドライバ更新に Best Recipe (最良レシピ) を割り当てるには:
 1. 「Best Recipes (Recommended) (最良レシピ (推奨))」 をクリックします。
 2. ドロップダウン・リストから最良レシピを選択し、以下のいずれかを行います。
 - Best Recipe (最良レシピ) のファームウェア/ドライバ更新を表示するには、「Show Best Recipe Definition (最良レシピの定義の表示)」 をクリックします。
 - レシピを最新の情報に更新するには、「Refresh Best Recipe (最良レシピを最新の情報に更新)」 をクリックします。
 - 該当するファームウェア/ドライバの更新を表示するには、デバイスの前面の > をクリックします。

注：

- コンポーネントの「**Compliance (コンプライアンス)**」が「**Compliant (適合)**」の場合、インストール済みバージョンは既にポリシー内のターゲット更新バージョンと同じかそれより上になっています。そのため、「**Compliance (コンプライアンス)**」が「**Not Compliant (非適合)**」のコンポーネントを更新することをお勧めします。
- この表では、最良の方法で定義されたコンポーネントのみが示されています。
- 3. 「**Install Updates (更新のインストール)**」をクリックします。
- ファームウェア更新のためにコンプライアンス・ポリシーを割り当てるには:
 1. 「**Compliance Policies (コンプライアンス・ポリシー)**」をクリックします。
 2. ドロップダウン・リストからポリシーを選択します。



注:

- 「**Show Compliance Policy Definition (コンプライアンス・ポリシーの定義の表示)**」をクリックして、ポリシーのファームウェア更新を表示できます。
- デバイスの前面の  をクリックして、ポリシーに該当するファームウェア更新を表示できます。コンポーネントの「**Compliance (コンプライアンス)**」が「**Compliant (適合)**」の場合、インストール済みバージョンは既にポリシー内のターゲット更新バージョンと同じかそれより上になっています。そのため、「**Compliance (コンプライアンス)**」が「**Not Compliant (非適合)**」のコンポーネントを更新することをお勧めします。
- 3. 「**Install Updates (更新のインストール)**」をクリックします。
- 更新する各コンポーネントのターゲット・バージョンを選択するには:
 1. 「**Latest Updates (最新の更新)**」をクリックします。
 2. 次のいずれかを行います。
 - 最新のファームウェアおよびドライバ更新を表示するには、「**Reload local repository (ローカル・リポジトリの再ロード)**」をクリックします。
 - ファームウェアおよびドライバ更新を実行するには、ターゲット・カタログまたはターゲット更新パッケージを選択し、「**Install Updates (更新のインストール)**」をクリックします。
 - ローカル・リポジトリを管理するには、「**Manage local repository (ローカル・リポジトリの管理)**」をクリックして、以下のいずれかを行います。
 - カatalogを最新の情報に更新するには、1つ以上のターゲット・カタログを選択し、「**Refresh Catalog (カタログを最新の情報に更新)**」をクリックします。
 - 更新パッケージをダウンロードするには、1つ以上のターゲット・カタログまたは更新パッケージを選択して、「**Download (ダウンロード)**」をクリックします。
 - 更新パッケージを削除するには、1つ以上のターゲット・マシン・タイプまたは更新パッケージを選択して、「**Delete (削除)**」をクリックします。
 - ファームウェア更新またはドライバ更新のみをフィルタリングするには、「**Firmware & Driver (ファームウェアとドライバ)**」をクリックし、「**Firmware (ファームウェア)**」または「**Driver (ドライバ)**」を選択します。
 - Windows または Linux の更新のみをフィルタリングするには、「**Windows & Linux (Windows と Linux)**」をクリックして、「**Windows**」または「**Linux**」を選択します。

ステップ 4. 「**Update Selection (更新の選択)**」タブで、更新するコンポーネントを選択または選択解除します。

- a. 「**Select Items (項目の選択)**」ペインで、更新するコンポーネントを選択または選択解除します。

注:

- **Select Items (項目の選択)** ペインの右上隅で  をクリックして、**Preview (プレビュー)** ペインを展開するか、 をクリックして、コンポーネントを削除できます。
- 「**Select Items (項目の選択)**」ペインおよび「**Preview (プレビュー)**」ペインの操作がリアルタイムで同期されます。

- b. (オプション) インストール済みバージョンの更新がすでに最新のものであるか、ターゲット・バージョン以降である場合でも、選択したコンポーネントのファームウェア/ドライバーを更新するには、「**Forced update (強制更新)**」を有効にします。

注：

- 以前のバージョンのファームウェアやドライバーは、デバイス・オプション、アダプター、またはディスク・ドライブに適用できません。
- 強制更新は、**Compliance Policy (コンプライアンス・ポリシー)** が使用されている場合にのみ使用できます。

- c. 「**Next (次へ)**」をクリックします。

ステップ 5. 「**Update Download (更新のダウンロード)**」タブで、必要に応じて更新パッケージをダウンロードまたはインポートし、「**Next (次へ)**」をクリックします。

ステップ 6. **Clustered Roles Migration (クラスター化されたロールの移行)** タブで、**Next (次へ)** をクリックします。

注意：クラスターが1つのサーバー・ノードのみで構成されている場合は、クラスターの役割を移行できません。移行すると、クラスター化された役割で実行中のものはすべて、クラスター仮想マシンと非クラスター仮想マシンを含め、サーバー・ノードの再起動時に切断されます。

注：「クラスター化されたロールの移行」は、クラスター内のすべてのサーバーで自動的に有効になります。

「クラスター化されたロールの移行」では、以下のタスクが実行されます。

1. クラスター・ノードを1つ保守モードにし、クラスター・ロールをノードから移動します。
2. システム更新をインストールします。
3. 再起動を実行します。
4. ノードを保守モードから外し、ノードのクラスター・ロールを復元します。
5. 次のクラスター・ノードに移動します。

ステップ 7. **OS Credential (OS 資格情報)** タブで **Credential Needed (資格情報が必要です)** をクリックし、Windows 管理者アカウントのアカウント、ユーザー名、およびパスワードを入力した後、**Next (次へ)** をクリックします。

注：

- クラスター・ノードの場合、アカウントは、ローカル Administrators グループに含まれる Active Directory ドメイン・アカウントである必要があります。
- 非クラスター・サーバーの場合、アカウントは、ローカル Administrators グループに含まれる Active Directory ドメイン・アカウント、または組み込み管理者アカウントである必要があります。
- 以下の操作が1つ以上必要な場合は、OS 資格情報が必要です。
 - ネイティブ OS 管理モードでのファームウェア/ドライバーの更新
 - クラスター化されたロールの移行

ステップ 8. 更新するコンポーネント、ジョブ名、スケジュール、および割り当てられたポリシーがある場合は、「**Summary (要約)**」タブで、更新ジョブに関する情報を確認します。

ステップ 9. 「**Submit (送信)**」をクリックします。

Windows Admin Center のプロンプトに従って、引き続き Azure Stack HCI クラスターの作成を完了できます。

Cluster Manager でのクラスター対応更新ツールを使用したファームウェア/ドライバーの更新

Lenovo XClarity Integrator は、Microsoft のクラスター対応更新 (CAU) ツールに統合されており、ドライバーおよびファームウェア更新のためのスナップインを提供します。このスナップインを使用すると、Cluster Manager で CAU を使用する場合に、クラスター・ノードのファームウェアとドライバーを更新できます。この CAU を使用してファームウェア/ドライブを更新する方法は、SE350 サーバー、SR630 V2 サーバー、SR650 サーバー、および SR650 V2 サーバーの SR スタック HCI でのみ使用できます。他のサーバーの場合、Lenovo XClarity Integrator スナップインは、CAU ツールでは使用できません。

注：CAU は、可用性を維持しながら、クラスター化されたサーバー上のソフトウェア更新プロセスを自動化する機能です。

Cluster Manager のクラスター対応更新ツールを使用してファームウェア/ドライバーを更新するには、以下の手順を実行します。

1. CAU ツールの「Hardware updates (ハードウェア更新)」ページにログインします。60 ページの「[「Hardware updates \(ハードウェア更新\)」ページへのログイン](#)」を参照してください。
2. 必要に応じて、管理方法を選択します。41 ページの「[Lenovo XClarity Administrator を使用したクラスター・ノードの管理](#)」または 43 ページの「[Lenovo XClarity Administrator を使用しないクラスター・ノードの管理](#)」を参照してください。

注：デフォルトでは、Microsoft Storage Spaces Direct が有効になっている ThinkAgile MX サーバーでは、ネイティブ OS 管理は無効になっています。この機能を有効にするには、表示されたリンクをクリックします。12 ページの「[ネイティブ OS 管理の構成](#)」を参照してください。

3. クラスター・ノード上でファームウェア/ドライバーの更新を実行します。61 ページの「[クラスター対応更新ツールを使用したクラスター・ノード用ファームウェア/ドライバーの更新](#)」を参照してください。

「Hardware updates (ハードウェア更新)」ページへのログイン

Cluster Manager で CAU ツールを使用してファームウェア/ドライバーを更新するには、まず「Hardware updates (ハードウェア更新)」ページにログインします。

手順

- ステップ 1. Windows Admin Center にログインします。
- ステップ 2. 「All Connections (すべての接続)」ページで、接続されているクラスターの名前をクリックして、Cluster Manager のクラスター・ページに入ります。

注：使用可能なクラスターがない場合は、「Add (追加)」をクリックし、「Sever clusters (サーバー・クラスター)」ペインを見つけて、「Add (追加)」をクリックします。次に、クラスター名を入力し、クラスターを追加するユーザー資格情報を指定します。

- ステップ 3. クラスター・ページの左側のナビゲーション・ペインで、「Updates (更新)」をクリックします。
- ステップ 4. 「Updates (更新)」ページで、1 つ以上のターゲット品質更新を選択し、「Install (インストール)」をクリックします。

注：使用可能な品質の更新がない場合、ハードウェア更新は CAU ツールにインストールできません。

- ステップ 5. 「Hardware Updates (ハードウェア更新)」を選択し、「Get Updates (更新の取得)」をクリックします。

注：

- 接続されている Lenovo XClarity Administrators によってすべての管理対象のクラスター・ノードが検出された場合は、Lenovo XClarity Integrator ダッシュボードが表示されます。
- 接続されている Lenovo XClarity Administrator の管理対象ではないクラスター・ノードが検出された場合、Lenovo XClarity Integrator により、Lenovo XClarity Administrator (41 ページの「[Lenovo XClarity Administrator を使用したクラスター・ノードの管理](#)」を参照) またはネイティブ OS 管理 (43 ページの「[Lenovo XClarity Administrator を使用しないクラスター・ノードの管理](#)」を参照) を使用して管理アプローチを選択するようプロンプトが出されます。
- 更新を確認して「Updates (更新)」ページをロードするには、時間がかかる場合があります。

クラスター対応更新ツールを使用したクラスター・ノード用ファームウェア/ドライバーの更新

Cluster Manager の CAU ツールを使用する場合、「**Best Recipes (Recommended) (最良レシピ (推奨))**」、「**Compliance Policies (コンプライアンス・ポリシー)**」、または「**Latest Updates (最新の更新)**」を使用してクラスター・ノードのファームウェアおよびドライバーを更新できます。

「Updates (更新)」ペインでは、以下の機能がサポートされています。

- 「**Best Recipes (Recommended) (最良レシピ (推奨))**」

Best Recipe (最良レシピ) はコンプライアンス・ポリシーでもありますが、ファームウェアおよびドライバーの更新も含まれます。この方式では、ユーザーは更新を目的として、レシピからコンポーネントの一部を選択できません。レシピのすべてのコンポーネントが、クラスター内のすべてのサーバーに対して更新されます。

この機能は、特定のサーバー・モデルでのみサポートされています。[特定のサーバー・モデルでサポートされる機能](#)を参照してください。

Best Recipe (最良レシピ) に関する詳細については、[ThinkAgile MX Certified Node Best Recipe \(ThinkAgile MX 認定ノードの最良レシピ\)](#)を参照してください。

- 「**Compliance Policies (コンプライアンス・ポリシー)**」

コンプライアンス・ポリシーを使用する場合も、ユーザーは、クラスター内の特定のサーバーまたはすべてのサーバーについて、ポリシー内で更新するコンポーネントを判別できます。サーバーが Lenovo XClarity Administrator によって管理されている場合にのみ使用できます。


- 「**Latest Updates (最新の更新)**」

この方式ではポリシーは使用されません。ユーザーは、更新するコンポーネントごとにターゲット・バージョンを選択する必要があります。ターゲット・バージョンは、現行のインストール済みバージョンより新しいものである必要があります。

手順

ステップ 1. 「Hardware updates (ハードウェア更新)」ページにログインします。60 ページの「[「Hardware updates \(ハードウェア更新\)」ページへのログイン](#)」を参照してください。

ステップ 2. すべてのクラスター・ノードが管理されていることを確認します。41 ページの「[Lenovo XClarity Administrator を使用したクラスター・ノードの管理](#)」または 43 ページの「[Lenovo XClarity Administrator を使用しないクラスター・ノードの管理](#)」を参照してください。システム更新ウィザードが表示されます。

注：システム更新ウィザードで、右上隅の  をクリックして、インベントリを同期できます。この機能は、22 ページの「[サーバーのインベントリの同期](#)」と同じです。

ステップ 3. 以下のいずれかの更新方法を選択してください。

- 「**Best Recipes (Recommended) (最良レシピ (推奨))**」

Best Recipe (最良レシピ) はコンプライアンス・ポリシーでもありますが、ファームウェアおよびドライバーの更新も含まれます。この方式では、ユーザーは更新を目的として、レシ

ピからコンポーネントの一部を選択できません。レシピのすべてのコンポーネントが、クラスター内のすべてのサーバーに対して更新されます。

この機能は、特定のサーバー・モデルでのみサポートされています。特定のサーバー・モデルでサポートされる機能を参照してください。

Best Recipe (最良レシピ) に関する詳細については、[ThinkAgile MX Certified Node Best Recipe](#) (ThinkAgile MX 認定ノードの最良レシピ) を参照してください。

- 「**Compliance Policies (コンプライアンス・ポリシー)**」

コンプライアンス・ポリシーを使用する場合も、ユーザーは、クラスター内の特定のサーバーまたはすべてのサーバーについて、ポリシー内で更新するコンポーネントを判別できます。サーバーが Lenovo XClarity Administrator によって管理されている場合にのみ使用できます。



- 「**Latest Updates (最新の更新)**」

この方式ではポリシーは使用されません。ユーザーは、更新するコンポーネントごとにターゲット・バージョンを選択する必要があります。ターゲット・バージョンは、現行のインストール済みバージョンより新しいものである必要があります。

ステップ 4. 「**Update Selection (更新の選択)**」 タブで、更新するコンポーネントを選択または選択解除します。

- a. 「**Select Items (項目の選択)**」 ペインで、更新するコンポーネントを選択または選択解除します。

注：

- **Select Items (項目の選択)** ペインの右上隅で  をクリックして、**Preview (プレビュー)** ペインを展開するか、 をクリックして、コンポーネントを削除できます。
- 「**Select Items (項目の選択)**」 ペインおよび「**Preview (プレビュー)**」 ペインの操作がリアルタイムで同期されます。

- b. (オプション) インストール済みバージョンの更新がすでに最新のものであるか、ターゲット・バージョン以降である場合でも、選択したコンポーネントのファームウェア/ドライバーを更新するには、「**Forced update (強制更新)**」を有効にします。

注：

- 以前のバージョンのファームウェアやドライバーは、デバイス・オプション、アダプター、またはディスク・ドライブに適用できません。
- 強制更新は、**Compliance Policy (コンプライアンス・ポリシー)** が使用されている場合にのみ使用できます。

- c. 「**Next (次へ)**」をクリックします。

ステップ 5. 「**Update Download (更新のダウンロード)**」 タブで、必要に応じて更新パッケージをダウンロードまたはインポートし、「**Next (次へ)**」をクリックします。

ステップ 6. 「**Update Storage (ストレージの更新)**」 タブで、以下の更新を保存する方法のいずれかを選択します。

- **Copy to cluster nodes (クラスター・ノードへコピー)**: 選択した更新および前提条件をすべてのクラスター・ノードにコピーします。
- **Specify a predefined share folder (定義済みの共有フォルダーを指定する)**: 選択した更新および前提条件を指定した共有フォルダーに転送します。クラスター・ノードと同じドメイン内の共有サーバーが推奨されます。

注：CAU クラスター・ロールと使用する Windows アカウントに適切なアクセス権があることを確認します。

- **Create a share folder automatically (共有フォルダーを自動的に作成する)**: Windows Admin Center サービスを実行しているシステムで自動的に共有フォルダーを作成します。

ステップ7. 「OS Credential (OS 資格情報)」タブで「Credential Needed (資格情報が必要です)」をクリックし、Windows 管理者アカウントのアカウント、ユーザー名、およびパスワードを入力した後、「Next (次へ)」をクリックします。

注：

- このアカウントは、ローカル Administrators グループに含まれる Active Directory ドメイン・アカウントである必要があります。
- 以下の操作が1つ以上必要な場合は、OS 資格情報が必要です。
 - ネイティブ OS 管理モードでのファームウェア/ドライバーの更新
 - クラスター化されたロールの移行

ステップ8. 更新するコンポーネント、ジョブ名、スケジュール、および割り当てられたポリシーがある場合は、「Summary (要約)」タブで、更新ジョブに関する情報を確認します。

ステップ9. 「Submit (送信)」をクリックします。

注：選択した更新オプションを変更するには、「Back (戻る)」をクリックします。変更後、「Resubmit (再送信)」をクリックして更新を再送信します。

ステップ10. 「Next: Install (次へ: インストール)」をクリックします。

選択した更新の概要が表示され、「Type (タイプ)」が「Solution updates (ソリューションの更新)」中と表示されます。Windows Admin Center のプロンプトに従って、引き続き更新のインストールを完了できます。

システム更新リポジトリの管理

このセクションでは、ターゲット・サーバーでのシステム更新リポジトリの管理方法について説明します。

システム更新をダウンロード、バックアップ、または復元するには、[69 ページの第8章「システム更新リポジトリの管理」](#)を参照してください。

プロセッサ・コアの管理

「Processor Cores (プロセッサ・コア)」ページでは、プロセッサ・コアの全体情報を表示したり、ターゲット・クラスター下の1つ以上のサーバーで有効になっているプロセッサ・コアを設定することができます。

注：この機能は、ネイティブ OS 管理モードでのみサポートされます。


手順


ステップ1. Cluster Manager で Lenovo XClarity Integrator に接続します。[41 ページの「Cluster Manager での Lenovo XClarity Integrator への接続」](#)を参照してください。

ステップ2. 「サーバー」ページの左側の「ナビゲーション」ペインで、Processor Cores (プロセッサ・コア) をクリックします。

ステップ3. 次のいずれかを行います。

- コア、プロセッサとサーバーの数、有効なコアとスタンバイ・コアの数とパーセンテージ、およびサーバーごとに有効になっているプロセッサ・コアのリストを表示します。
- 「サーバーごとに有効になっているプロセッサ・コア」エリアで、以下のいずれかを行います。
 - リスト内のすべてのサーバーの最大コアを有効にするには、Enable All (すべて有効にする) をクリックします。
 - リスト内のすべてのサーバーで同じ数のコアを有効にするには、Select Enabled Cores (有効になっているコアの選択) をクリックし、ドロップダウン・リストから番号を選択します。

- ターゲット・サーバーに対して有効になっているプロセッサ・コアを変更するには、ターゲット・サーバーを見つけ、編集アイコン **Enabled Cores per Processor (プロセッサごとの有効コア)** 列で  をクリックし、コアの数を入力するか、ドロップダウン・リストからコアの数を選択します。

注：変更をキャンセルするには、 をクリックします。

ステップ 4. 次のいずれかを行います。

- 変更をキャンセルするには、**Reset (リセット)** をクリックします。
- 変更を適用するには、「**Apply Changes (変更の適用)**」をクリックして、「**Set Processor Cores (プロセッサ・コアの設定)**」ページに入ります。

注：

- この機能は、ThinkAgile MX アプライアンスおよび認定ノード (Azure Stack HCI または Windows Server クラスタがインストールされている場合) にのみ適用できます。
- この機能がサポートされていない場合、XCC および UEFI ファームウェアのバージョンが古く、コアの数が正しくない可能性があります。正確なプロセッサ情報を表示する、または有効になっているプロセッサ・コアの数を設定するには、最新の XCC および UEFI ファームウェアをインストールする必要があります。詳しくは、[50 ページの「クラスタ・ノードのファームウェア/ドライバの更新」](#)を参照してください。

- a. **Clustered Roles Migration (クラスタ化されたロールの移行)** タブで、**Next (次へ)** をクリックします。

注意：クラスタが1つのサーバー・ノードのみで構成されている場合は、クラスタの役割を移行できません。移行すると、クラスタ化された役割で実行中のものはすべて、クラスタ仮想マシンと非クラスタ仮想マシンを含め、サーバー・ノードの再起動時に切断されます。

注：「クラスタ化されたロールの移行」は、クラスタ内のすべてのサーバーで自動的に有効になります。

「クラスタ化されたロールの移行」では、以下のタスクが実行されます。

1. クラスタ・ノードを1つ保守モードにし、クラスタ・ロールをノードから移動します。
2. 有効になっているコアを設定します。
3. 再起動を実行します。
4. ノードを保守モードから外し、ノードのクラスタ・ロールを復元します。
5. 次のクラスタ・ノードに移動します。

- b. **OS Credential (OS 資格情報)** タブで **Credential Needed (資格情報が必要です)** をクリックし、Windows 管理者アカウントのアカウント、ユーザー名、およびパスワードを入力した後、**Next (次へ)** をクリックします。

注：

- このアカウントは、ローカル Administrators グループに含まれる Active Directory ドメイン・アカウントである必要があります。
- 以下の操作が1つ以上必要な場合は、OS 資格情報が必要です。
 - クラスタ化されたロールの移行
 - 有効になっているプロセッサの設定

- c. 「**Options (オプション)**」タブで、更新ジョブに名前を付け、スケジュールします。その後、「**Next (次へ)**」をクリックします。
- d. 更新するコンポーネント、ジョブ名、スケジュール、および割り当てられたポリシーがある場合は、「**Summary (要約)**」タブで、更新ジョブに関する情報を確認します。
- e. 「**Submit (送信)**」をクリックします。

次に、システムは「Persistent Job (永続的なジョブ)」ページにナビゲートし、ユーザーは更新ジョブのステータスを確認できます。

注：

- 「Persistent Job (永続的なジョブ)」ページ、または更新ウィザードが閉じると、更新ウィザードが開く前にシステムが元のページにナビゲートします。
- いずれかの拡張機能から更新履歴を表示するには、[27 ページの「永続的なジョブの表示」](#)を参照してください。

第 7 章 Lenovo サーバーのファームウェア/ドライバーの更新

このセクションでは、さまざまなインターフェース、ツール、および拡張機能を使用して Lenovo サーバーのファームウェア/ドライバーを更新する方法を説明します。実際のシナリオに基づいて、以下の方法を 1 つ以上選択できます。

Lenovo XClarity Integrator を使用したサーバーとシャーシの管理

ターゲット・サーバーが OS なしでインストールされている場合は、Lenovo XClarity Integrator を使用してサーバーを管理することをお勧めします。以下の操作を 1 つ以上実行します。

- クラスタ・ノードのファームウェアを更新するには、[22 ページの「サーバーのファームウェア更新」](#)を参照してください。
- 複数のサーバーのファームウェアを更新するには、[24 ページの「複数のサーバーのファームウェア更新」](#)を参照してください。
- Lenovo XClarity Integrator を使用してシステム更新リポジトリを管理するには、[69 ページの第 8 章「システム更新リポジトリの管理」](#)を参照してください。

Server Manager を使用したサーバーの管理

ターゲット・サーバーに OS が既にインストールされててクラスタ・ノードではない場合は、Server Manager を使用してサーバーを管理することをお勧めします。以下の操作を 1 つ以上実行します。

- Server Manager を使用してサーバーのファームウェア/ドライバーを更新するには、[35 ページの「サーバーのファームウェア/ドライバーの更新」](#)を参照してください。
- Server Manager を使用してシステム更新リポジトリを管理するには、[39 ページの「システム更新リポジトリの管理」](#)を参照してください。

Cluster Manager を使用したサーバーの管理

ターゲット・サーバーに OS が既にインストールされててクラスタ・ノードではない場合は、Cluster Manager を使用してサーバーを管理することをお勧めします。必要に応じて、以下の方法を 1 つ以上実行します。

- クラスタ・マネージャーを使用してクラスタ・ノードのファームウェア/ドライバーを更新するには、[50 ページの「クラスタ・ノードのファームウェア/ドライバーの更新」](#)を参照してください。
- Azure Stack HCI クラスタを作成する場合にファームウェア/ドライバーを更新するには、[54 ページの「Azure Stack HCI クラスタを作成する場合のファームウェア/ドライバーの更新」](#)を参照してください。
- Cluster Manager でのクラスタ対応更新ツールを使用してファームウェア/ドライバーを更新するには、[60 ページの「Cluster Manager でのクラスタ対応更新ツールを使用したファームウェア/ドライバーの更新」](#)を参照してください。
- Cluster Manager を使用してシステム更新リポジトリを管理するには、[63 ページの「システム更新リポジトリの管理」](#)を参照してください。

第 8 章 システム更新リポジトリの管理

この章では、ターゲット・サーバーでのシステム更新リポジトリの管理方法について説明します。



この章では、以下の 1 つ以上を実行します。

- 69 ページの「システム更新のダウンロード」
- 70 ページの「システム更新のバックアップ」
- 70 ページの「システム更新の復元」
- 71 ページの「システム更新の削除」
- 71 ページの「システム更新のフィルタリング」

「System Updates Repository (システム更新リポジトリ)」を開く

ターゲット・サーバーのシステム更新リポジトリを管理する前に、まずリポジトリを開く必要があります。このセクションでは、システム更新リポジトリを開く方法について説明します。

手順

ステップ 1. Lenovo のいずれかの拡張機能で、右上隅の「リポジトリ」アイコン  をクリックします。または、右上隅で「その他」アイコン  をクリックしてから、メニューから「System Updates Repository (システム更新リポジトリ)」をクリックします。「System Updates Repository (システム更新リポジトリ)」ページが表示されます。

「System Updates Repository (システム更新リポジトリ)」ページは、以下の情報を含みます。

- **Current repository path** (現在のリポジトリ・パス): ファームウェア/ドライバーの更新パッケージが保存されているディレクトリについて説明します。パスを変更するには、アクション・バーから「...(More icon) (...その他アイコン)」 → 「Set Path (パスの設定)」の順に選択し、記述された条件を満たすパスを指定します。
- **Repository Usage** (リポジトリの使用状況): 更新リポジトリの合計スペースと占有スペースについて説明します。
- **Product Catalog** (製品カタログ): 現在管理されているサーバーのすべてのマシン・タイプと、使用可能なファームウェアとドライバーの更新がリストされます。特定のファームウェアまたはドライバーの更新を表示するには、以下の 1 つ以上を実行できます。
 - **Firmware & Driver** (ファームウェアとドライバー): ファームウェア更新またはドライバー更新のみをフィルタリングします。
 - **Any OS (任意の OS)**: 任意の OS、Windows または Linux でのみ更新をフィルタリングします。
 - **Any time (任意の時間)**: 6 か月以内、1 年内、2 年以内、またはユーザーが設定したカスタム期間内に、いつでもリリースされた更新をフィルタリングします。
 - **All Types (すべてのタイプ)**: 個別の更新、最良レシピ、および UXSP 更新をフィルタリングします。
 - **Select Machine Types** (マシン・タイプを選択してください): ファームウェアおよび使用可能なドライバー更新を確認するのに必要なマシン・タイプを選択できます。
- **Search box** (検索ボックス): 特定のマシン・タイプと使用可能なファームウェアおよびドライバー更新を、キーワードを使用して検索できます。


システム更新のダウンロード

このセクションでは、特定のファームウェアおよびドライバー更新をダウンロードする方法について説明します。

手順

ステップ 1. 「System Updates Repository (システム更新リポジトリ)」ページを開きます。69 ページの「System Updates Repository (システム更新リポジトリ)」を開く」を参照してください。

ステップ2. ターゲット・マシン・タイプを選択し、製品カタログの上にある「**Refresh Catalog** (カタログを最新の情報に更新)」をクリックして、マシン・タイプの最新の更新を取得します。

ステップ3. 目的のマシン・タイプおよび目的のコンポーネントの前の  をクリックして、ターゲット・ファームウェアおよびドライバーの更新を選択します。

注：より具体的な選択については、製品カタログ上の **Firmware & Driver** (ファームウェアおよびドライバー)、**Windows & Linux** (Windows および Linux)、および **All time** (常時) フィルターを使用して、ターゲット更新をフィルタリングします。

ステップ4. 「**Download** (ダウンロード)」をクリックします。

システム更新のバックアップ

このセクションでは、特定のファームウェアおよびドライバーの更新、またはすべてのマシン・タイプのすべての更新をバックアップする方法について説明します。


手順

ステップ1. 「System Updates Repository (システム更新リポジトリ)」ページを開きます。[69 ページの「System Updates Repository \(システム更新リポジトリ\)」を開く](#) を参照してください。

ステップ2. 「System Updates Repository (システム更新リポジトリ)」ページで、以下のいずれかを実行します。

- 使用可能なすべてのファームウェアおよびドライバーの更新をバックアップするには:
 1. 「**...(More icon) ...(その他アイコン)**」 → 「**Backup** (バックアップ)」 → 「**Backup All** (すべてバックアップ)」の順に選択します。

「Backup Updates (バックアップの更新)」ページが表示されます。

2. バックアップ、ユーザー名、およびパスワードのパスを指定します。
 3. 「**Backup** (バックアップ)」をクリックします。
- 選択したファームウェアおよびドライバーの更新をバックアップするには:
 1. ターゲット・マシン・タイプとコンポーネントの前にある  をクリックして、ターゲット・ファームウェアとドライバー更新を選択します。

注：より具体的な選択については、製品カタログ上の「**Firmware & Driver** (ファームウェアおよびドライバー)」、「**Windows & Linux** (Windows および Linux)」、および「**All time** (常時) フィルターを使用して、ターゲット更新をフィルタリングします。

2. 「**...(More icon) (...その他アイコン)**」 → 「**Backup** (バックアップ)」 → 「**Backup Selection** (バックアップの選択)」の順に選択します。

「Backup Updates (バックアップの更新)」ページが表示されます。

3. バックアップ、ユーザー名、およびパスワードのパスを指定します。
4. 「**Backup** (バックアップ)」をクリックします。

システム更新の復元


このセクションでは、特定のファームウェアおよびドライバーの更新、またはすべてのマシン・タイプのすべての更新を復元する方法について説明します。

手順

ステップ1. 「System Updates Repository (システム更新リポジトリ)」ページを開きます。[69 ページの「System Updates Repository \(システム更新リポジトリ\)」を開く](#) を参照してください。

ステップ2. 「System Updates Repository (システム更新リポジトリ)」ページで、以下のいずれかを実行します。

- 使用可能なすべてのファームウェアおよびドライバーの更新を復元するには:


1. 「...(More icon) (...その他アイコン)」 → 「Restore (復元)」 → 「Restore All (すべて復元)」の順に選択します。
「Restore Updates (更新の復元)」ページが表示されます。
 2. 復元、ユーザー名、およびパスワードのパスを指定します。
 3. 「Restore (復元)」をクリックします。
- 選択したファームウェアおよびドライバーの更新を復元するには:
 1. ターゲット・マシン・タイプとコンポーネントの前にある  をクリックして、ターゲット・ファームウェアとドライバー更新を選択します。

注：より具体的な選択については、製品カタログ上の「Firmware & Driver (ファームウェアおよびドライバー)」、「Windows&Linux (Windows および Linux)」、および「All time (常時)」フィルターを使用して、ターゲット更新をフィルタリングします。
 - 2. 「...(More icon) (...その他アイコン)」 → 「Restore (復元)」 → 「Restore Selection (選択した項目を復元)」の順に選択します。
「Restore Updates (更新の復元)」ページが表示されます。
 - 3. 復元、ユーザー名、およびパスワードのパスを指定します。
 - 4. 「Restore (復元)」をクリックします。

システム更新の削除

このセクションでは、特定のファームウェアおよびドライバー更新を削除する方法について説明します。

手順

- ステップ 1. 「System Updates Repository (システム更新リポジトリ)」ページを開きます。69 ページの「[System Updates Repository \(システム更新リポジトリ\) を開く](#)」を参照してください。
- ステップ 2. 以下の操作を1つ以上実行します。
 - マシン・タイプのすべてのファームウェア/ドライバー更新を削除するには、1つ以上のターゲット・マシン・タイプを選択して「Delete (削除)」をクリックします。
 - マシン・タイプの1つ以上のファームウェア/ドライバー更新を削除するには、ターゲット・マシン・タイプの前で  をクリックし、1つ以上のターゲット・ファームウェア/ドライバー更新を選択して「Delete (削除)」をクリックします。
 - 他の更新パッケージの前提条件である更新パッケージを削除するには、「Force Delete (強制削除)」を有効にして「Delete (削除)」をクリックします。

システム更新のフィルタリング

このセクションでは、特定のファームウェアおよびドライバー更新をフィルタリングする方法について説明します。

手順

- ステップ 1. 「System Updates Repository (システム更新リポジトリ)」ページを開きます。69 ページの「[System Updates Repository \(システム更新リポジトリ\) を開く](#)」を参照してください。
- ステップ 2. 以下の操作を1つ以上実行します。
 - ファームウェア更新またはドライバー更新のみをフィルタリングするには、「Firmware & Driver (ファームウェアとドライバー)」ドロップダウン・リストをクリックし、「Firmware (ファームウェア)」または「Driver (ドライバー)」を選択します。
 - Windows または Linux の更新のみをフィルタリングするには、「Windows & Linux (Windows と Linux)」ドロップダウン・リストをクリックして、「Windows」または「Linux」を選択します。

第 9 章 Lenovo への問題の報告

この章では、Lenovo に問題を報告し、コール・ホーム連絡先とサービス・チケットを管理する方法について説明します。

この章では、以下の 1 つ以上を実行します。



- 73 ページの「コール・ホーム連絡先の管理」
- 73 ページの「問題の報告」
- 75 ページの「サービス・チケットの管理」
- 76 ページの「問題の自動報告の設定」

コール・ホーム連絡先の管理

このセクションでは、連絡先の追加、削除、および編集、プライマリー連絡先の設定、連絡先の詳細情報の確認方法について説明します。

手順

ステップ 1. Lenovo のいずれかの拡張機能で、以下のいずれかを実行して「Call Home Contact (コール・ホーム連絡先)」ページに入ります。

- 右上隅にある「詳細」アイコン  をクリックして、メニューから「Call Home (コール・ホーム)」 → 「Contacts (連絡先)」をクリックします。
- 右上隅にある「問題の報告」アイコン  をクリックして、メニューから「Contacts (連絡先)」をクリックします。

ステップ 2. 「Call Home Contact (コール・ホーム連絡先)」ページで、以下の 1 つ以上を実行します。

- 連絡先を追加するには:
 1. 「Add (追加)」をクリックします。
 2. 「Add Call Home Contact (コール・ホーム連絡先の追加)」ページで有効な情報を入力して、「Apply (適用)」をクリックします。
- 1 つ以上の連絡先を削除するには、1 つ以上のターゲット連絡先を選択して **Delete (削除)** をクリックします。
- 連絡先情報を編集するには:
 1. ターゲット連絡先を選択し、**Edit (編集)** をクリックします。
 2. 「Edit Call Home Contact (コール・ホーム連絡先の編集)」ページで必要な情報を入力して、「Apply (適用)」をクリックします。
- プライマリー連絡先を設定するには、ターゲット連絡先を選択し、**Set Primary (プライマリーの設定)** をクリックします。
- 連絡先の詳細を確認するには、リストでターゲット連絡先をクリックします。

注：詳細領域を非表示するには、「詳細」領域の右上隅で  をクリックします。

- リストをアルファベットまたは数字でソートするには、ターゲットの列名をクリックします。

問題の報告

このセクションでは、Lenovo に問題を報告する方法について説明します。



注：

- この機能は、ネイティブ OS 管理モードまたは LXCA を使用してサーバーまたはクラスターを接続する場合にのみサポートされます。

- LXCI は必要なログとデータを自動的に収集し、サーバーのサービス・データ、クラスター診断データ、Windows Admin Center ログ、Lenovo XClarity Integrator ログなどを Lenovo にアップロードします。ログまたはデータ収集に失敗した場合、LXCI は自動的に再試行します。

手順

ステップ 1. 以下のいずれかを実行して「Report Problem (問題の報告)」ページに入ります。

- Cluster Manager または Server Manager 拡張機能の場合:
 - 右上隅にある「問題の報告」アイコンをクリックします。
 - 右上隅にある「詳細」アイコンをクリックしてから、メニューから Call Home (コール・ホーム) → Report Problem (問題の報告) をクリックします。
- Lenovo のいずれかの拡張機能で、アラート・バーの「Report Problem (問題の報告)」をクリックします。

注：アラートは、問題の自動報告機能が有効になった後でのみ表示されます。詳しくは、76 ページの「問題の自動報告の設定」を参照してください。

ステップ 2. Call Home User Agreement (コール・ホーム・ユーザー契約書) ウィンドウで、Accept (同意する) をクリックします。

注：「Decline (拒否)」をクリックして、「Service Tickets (サービス・チケット)」ページにスキップすることもできます。

ステップ 3. 「Report Problem (問題の報告)」ページで、必要な情報を入力します。

注：

- ThinkAgile MX シリーズ以外のサーバーの場合、「Lenovo XClarity Integrator features (Lenovo XClarity Integrator の機能)」を選択すると、お客様番号 (XClarity Pro ライセンス・キー) が必要になります。ユーザーは、ドロップダウン・リストから既存のお客様番号を選択するか、新しいお客様番号を追加できます。
- 「Functional Area (機能している領域)」フィールドで、「Cluster — Storage (クラスター - ストレージ)」、「Cluster — Performance (クラスター - パフォーマンス)」、または「Cluster — Network (クラスター - ネットワーク)」以外のオプションが選択されている場合、クラスター診断データはアップロードされません。ユーザーは、Lenovo サポートから通知を受け取った後、手動でデータをアップロードできます。詳しくは、75 ページの「サービス・チケットの管理」を参照してください。
- 「Title (タイトル)」フィールドのテキストは 128 文字以内になしてください。
- 「Description (説明)」フィールドと「Reproduction Steps (再現手順)」フィールドの両方のテキストは、4,096 文字以内でなければなりません。
- デフォルトのプライマリ連絡先を変更するには、ドロップダウン・リストから別のターゲットのプライマリ連絡先を選択します。
- このページに手動で追加されたプライマリおよびセカンダリーの連絡先は、「Call Home Contact (コール・ホーム連絡先)」ページの連絡先リストにも追加されますが、そのページのプライマリ連絡先として自動的に設定されることはありません。

ステップ 4. 「ファイルのアップロード」フィールドで、以下のいずれかを行ってファイルをアップロードします。

注：アップロードするファイルのサイズは、10MB 以内でなければなりません。

- Select a file (ファイルの選択) をクリックし、ターゲット・ファイルを選択およびアップロードします。
- ターゲット・ファイルを「ファイルのアップロード」フィールドにドラッグします。

ステップ 5. 「OS 資格情報」フィールドで、Lenovo にデータおよびログの取得を許可します。

- a. Credential Needed (資格情報が必要です) をクリックします。
- b. 「Specify your credentials (資格情報の指定)」ページで、以下のいずれかを実行します。

- 新しい資格情報を使用するには、「Use manually entered credentials (手動で入力した資格情報を使用)」を選択し、アカウントとパスワードを入力します。

注：

- クラスター・ノードの場合、アカウントは、ローカル Administrators グループに含まれる Active Directory ドメイン・アカウントである必要があります。
- 非クラスター・サーバーの場合、アカウントは、ローカル Administrators グループに含まれる Active Directory ドメイン・アカウント、または組み込み管理者アカウントである必要があります。
- この資格情報は、Credential (資格情報) ドロップダウン・リストには保存されません。

- 既存の資格情報を使用するには、Use stored credentials (保存された資格情報を使用) を選択し、ドロップダウン・リストからターゲット資格情報を選択します。

注：資格情報を追加、編集、または削除するには、Open credential manager (資格情報マネージャーを開く) をクリックします。詳しくは、13 ページの「資格情報の管理」を参照してください。

- c. 「Continue (続行)」をクリックして、「Report Problem (問題の報告)」ページに戻ります。


ステップ 6. 「Report Problem (問題の報告)」ページで、「Submit (送信)」をクリックします。

サービス・チケットの管理

このセクションでは、チケットの削除、エクスポート、最新表示、検索チケットの削除、ファイルとメモの添付、チケット・リストの列のカスタマイズ、チケットの詳細の確認方法について説明します。

手順

ステップ 1. Lenovo のいずれかの拡張機能で、以下のいずれかを実行して「Service Tickets (サービス・チケット)」ページに入ります。

- 右上隅にある「問題の報告」アイコン  をクリックして、メニューから「Service Tickets (サービス・チケット)」をクリックします。
- 右上隅にある「詳細」アイコン  をクリックして、メニューから「Call Home (コール・ホーム)」 → 「Service Tickets (サービス・チケット)」をクリックします。

ステップ 2. 「Service Tickets (サービス・チケット)」ページで、以下のいずれかを実行します。



- チケットを削除するには：
 1. 1 つ以上のターゲット・チケットを選択して、Delete (削除) をクリックします。
チケットを削除するかどうかを確認するポップアップ・ダイアログが表示されます。
 2. 「OK」をクリックします。

注：Resolved (解決済み)、Cancelled (キャンセル済み)、Unknown (不明)、Error (エラー)、Duplicate (重複)、または Rejected (拒否) のステータスのチケットのみを削除できます。


- ターゲット・チケットのファイルを添付するには：
 1. ターゲット・チケットを選択し、Attach File (ファイルの添付) をクリックします。
 2. 「Attach File (ファイルの添付)」ページで、ファイルをアップロードして「Apply (適用)」をクリックします。
- ターゲット・チケットのメモを添付するには：
 1. ターゲット・チケットを選択し、Attach Notes (メモの添付) をクリックします。
 2. 「Attach Notes (メモの添付)」ページで、タイトルと説明を入力して、「Apply (適用)」をクリックします。

ターゲット・チケットのメモ領域の情報が更新されます。

- 過去 30 日間にアップロードに失敗したデータまたはログを手動でアップロードするには、ターゲット・チケットを選択し、「Retry (再試行)」をクリックします。

- チケット・リストをエクスポートするには、**Export (エクスポート)** をクリックします。チケット・リストは CSV ファイルとしてエクスポートされます。
- チケット・リストの列をカスタマイズするには:
 1.  をクリックし、**Customize Columns (列のカスタマイズ)** を選択します。
 2. 「Customize Ticket Columns (チケット列のカスタマイズ)」ページで、「サービス・チケット (Service Tickets)」ページに表示する列を選択して、「**Apply (適用)**」をクリックします。
 ターゲット列がチケット・リストに表示されます。
- チケット・リストと詳細を最新表示するには、右上隅で「更新」アイコン  をクリックします。
- 特定のチケットを検索するには、検索フィールドにターゲット・チケットのチケット番号、ステータス、またはタイトルを入力します。ターゲット・チケットが表示されます。
- チケットの詳細を確認するには、リストでターゲット・チケットをクリックします。詳細領域が表示されます。

注：

- データまたはログをローカルにダウンロードするには、ターゲット・データまたはログの ZIP/EVTX ファイルをクリックします。
- 「**Cluster — Storage (クラスター-ストレージ)**」、「**Cluster — Performance (クラスター-パフォーマンス)**」、または「**Cluster — Network (クラスター-ネットワーク)**」以外のオプションが「**Report Problem (問題の報告)**」ページで選択されている場合、クラスター診断データはアップロードされません。ユーザーは、Lenovo サポートから通知を受け取った後、「**Upload (アップロード)**」をクリックして手動でデータをアップロードできます。
- 詳細領域を非表示するには、「詳細」領域の右上隅で  をクリックします。
- チケット・リストをアルファベットまたは数字でソートするには、**Ticket Number (チケット番号)**、**Status (ステータス)**、または **Title (タイトル)** 列をクリックします。



問題の自動報告の設定

このセクションでは、問題の自動報告機能を有効または無効にしたり、エンドポイントを追加、編集、または削除したり、問題を自動的に報告するためのルールを管理したりする方法について説明します。



注：このページの機能を有効にした後で、ターゲット・エンドポイントで問題が検出されると、有効なルールに関連付けられたアラートが表示され、対応するチケットが自動的に生成されます。ユーザーは、アラート・バーの「**Report Problem (問題の報告)**」をクリックして問題を報告できます。詳しくは、[73 ページの「問題の報告」](#)を参照してください。

手順

ステップ 1. Lenovo のいずれかの拡張機能で、以下のいずれかを実行して「**Settings (設定)**」ページに移動します。

- 右上隅にある「問題の報告」アイコン  をクリックし、メニューから「**Settings (設定)**」をクリックします。
- 右上隅にある「詳細」アイコン  をクリックして、メニューから「**Call Home (コール・ホーム)**」をクリックします。

ステップ 2. 「**Settings (設定)**」ページで、以下の 1 つ以上を実行します。

- 自動報告機能を有効または無効にするには、「**Automatically report to Lenovo Support (Lenovo サポートへ自動的に報告)**」フィールドで、 または  をクリックし、「**Enable (有効)**」または「**Disable (無効)**」を切り替えます。
- 監視対象のホストまたはクラスターを追加するには、次のようにします。

1. 「**Managed Endpoints** (管理対象のエンドポイント)」領域で、「**Add** (追加)」をクリックします。「**Add Host or Cluster** (ホストまたはクラスターの追加)」ページが表示されます。
2. ホスト名を入力します。
3. 次のいずれかを行います。
 - 新しい資格情報を使用するには、「**Use manually entered credentials** (手動で入力した資格情報を使用)」を選択し、アカウントとパスワードを入力します。

注：

- クラスター・ノードの場合、アカウントは、ローカル Administrators グループに含まれる Active Directory ドメイン・アカウントである必要があります。
- 非クラスター・サーバーの場合、アカウントは、ローカル Administrators グループに含まれる Active Directory ドメイン・アカウント、または組み込み管理者アカウントである必要があります。
- この資格情報は、**Credential** (資格情報) ドロップダウン・リストには保存されません。
- 既存の資格情報を使用するには、**Use stored credentials** (保存された資格情報を使用) を選択し、ドロップダウン・リストからターゲット資格情報を選択します。

注：資格情報を追加、編集、または削除するには、**Open credential manager** (資格情報マネージャーを開く) をクリックします。詳しくは、[13 ページの「資格情報の管理」](#)を参照してください。

4. 「**Apply** (適用)」をクリックします。

注：クラスターに属するホストを追加すると、対応するクラスターも追加されます。



- 監視対象のホストを編集するには、次のようにします。
 1. 「**Managed Endpoints** (管理対象のエンドポイント)」領域でターゲット・ホストを選択し、「**Edit** (編集)」をクリックします。「**Edit Cluster** (クラスターの編集)」ページが表示されます。
 2. 「**Edit Cluster** (クラスターの編集)」ページで、以下のいずれかを実行します。
 - 新しい資格情報を使用するには、「**Use manually entered credentials** (手動で入力した資格情報を使用)」を選択し、アカウントとパスワードを入力します。

注：

- クラスター・ノードの場合、アカウントは、ローカル Administrators グループに含まれる Active Directory ドメイン・アカウントである必要があります。
- 非クラスター・サーバーの場合、アカウントは、ローカル Administrators グループに含まれる Active Directory ドメイン・アカウント、または組み込み管理者アカウントである必要があります。
- この資格情報は、**Credential** (資格情報) ドロップダウン・リストには保存されません。
- 既存の資格情報を使用するには、**Use stored credentials** (保存された資格情報を使用) を選択し、ドロップダウン・リストからターゲット資格情報を選択します。

注：資格情報を追加、編集、または削除するには、**Open credential manager** (資格情報マネージャーを開く) をクリックします。詳しくは、[13 ページの「資格情報の管理」](#)を参照してください。

3. 「**Apply** (適用)」をクリックします。
- 監視対象のホストまたはクラスターを削除するには、次のようにします。
 1. 「**Managed Endpoints** (管理対象のエンドポイント)」領域で、1つ以上のターゲット・ホストまたはクラスターを選択します。
 2. 「**Remove** (削除)」をクリックします。「**Remove Endpoints** (エンドポイントの削除)」ウィンドウが表示されます。
 3. 「**Remove Endpoints** (エンドポイントの削除)」ウィンドウで、「**OK**」をクリックします。

- ホストまたはクラスターと資格情報の間のアクセシビリティをテストするには、次のようにします。
 1. **Managed Endpoints (管理対象のエンドポイント)** 領域で、1つ以上のターゲット・ホストまたはクラスターを選択します。
 2. 「**Test Accessibility (アクセシビリティのテスト)**」をクリックします。
- 問題の自動報告の1つ以上のルールを有効または無効にするには、「**Rules (ルール)**」領域で  または  をクリックし、ターゲット・ルールの「**Enable (有効)**」または「**Disable (無効)**」を切り替えます。

ステップ3. 「**Close (閉じる)**」をクリックして、設定を保存します。

付録 A 特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、Lenovo の営業担当員にお尋ねください。

本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、他の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、いかなる特許出願においても実施権を許諾することを意味するものではありません。お問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

*Lenovo (United States), Inc.
8001 Development Drive
Morrisville, NC 27560
U.S.A.
Attention: Lenovo Director of Licensing*

LENOVO は、本書を特定物として「現存するままの状態」で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書の内容は、Lenovo またはサード・パーティーの知的所有権のもとで明示または黙示のライセンスまたは損害補償として機能するものではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示されるものです。他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

商標

Lenovo、Lenovo ロゴ、Flex System、System x、および NeXtScale® System は、Lenovo の米国およびその他の国における商標です。

Intel および Intel Xeon は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Storage Spaces Direct、Internet Explorer、Microsoft、および Windows は、Microsoft グループの商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

重要事項

プロセッサの速度とは、マイクロプロセッサの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1,024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハードディスク・ドライブの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なります。

Lenovo は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、Lenovo ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があります、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

Lenovo